

令和5（2023）年度決算
主要施策等に関する報告

【一般会計】 2 款 総務費

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	政策推進事業			決算書 掲載ページ	114
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	総務課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	1,866	1,866	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	1,866	
目 的	多様化、高度化する行政課題に対して、的確に対応し政策の推進を図る。				
取組内容・実績	柏崎ショッピングモール及びじょんのび村の経営再建等について、政策コンサルティング業務の委託先である株式会社経営共創基盤と打合せを2回行い、専門家の知見を得た。				
成 果	本市の重要課題に対して専門家の知見を取り入れて、政策を推進することができた。また、打合せの場に担当課の職員を積極的に参加させ、職員の資質向上を図った。				
課題・今後の方向性	目まぐるしく変わる情勢に対応するため、今後も専門家の知見を取り入れながら、適切な政策推進を図っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

事務事業名	無料法律相談事業			決算書 掲載ページ	114
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	総務課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	1,056	1,056	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	1,056	
目 的	市民が法的なことで困ったときに、弁護士に相談ができる身近な窓口を設置した。				
取組内容・実績	毎月第1から第4までの水曜日の午後30分×4回の無料法律相談の機会を設け、市民186人が利用した。				
成 果	市内に事務所を持つ5人の弁護士に相談することができる身近な相談窓口として、家庭、地域社会、職場等における様々な法律問題の解決に寄与した。				
課題・今後の方向性	予約が集中することがあることから、予約の状況によっては、他の相談機関を紹介するなど、相談希望者が早めに相談できるように対応していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	職員採用・職員管理経費			決算書 掲載ページ	116
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人事課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	11,857	9,184	0	2,673	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	31	9,153	
目 的	業務量に見合った適正な組織を構築するため、公平公正な職員採用試験を行い、優秀な人材を確保する。				
取組内容・実績	対面5回、オンライン1回の合同企業説明会に参加し、203人の学生が参加した。 また、職員採用試験を4回実施し、計162人が受験した。 障がい者の雇用率向上のため、福祉事業所等から3人の職場実習生を受け入れた。				
成 果	公平公正な職員採用試験を実施し、42人の新採用職員を確保することができた。 また、障がい者雇用においては、職場実習終了後、2人を非常勤職員として任用した。				
課題・今後の方向性	より優秀な人材を確保するために、柏崎市職員として働くことの魅力を積極的にPRしていく必要がある。 また、障がい者雇用においては、全庁的な理解を深めるとともに、職場実習生の受け入れを積極的に行い、正式雇用につなげていく必要がある。				

事務事業名	職員研修費			決算書 掲載ページ	118
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人事課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	7,887	6,075	0	1,812	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	343	5,732	
目 的	社会経済情勢の変化に敏感に対応できるスキルを持った市職員の育成を図る。				
取組内容・実績	新任係長研修、カスタマーハラスメント対応研修、子育て支援・女性活躍推進研修等の内部研修を実施したほか、全ての職員に対しe-ラーニングを実施した。 また、外部研修では市町村総合事務組合等が開催する階層別研修のほか、より高度な知識を習得するための専門研修に参加した。				
成 果	研修の受講を通じて、事務の基礎的・専門的知識や職位別に求められるスキルを職員が習得することにつなげ、職員の意識向上や円滑な事務執行に資することができた。 また、社会情勢の変化への対応や、多様な働き方に対する意識の改革に役立っている。				
課題・今後の方向性	人材育成指針に掲げる目指す職員像「柏崎市民のため、将来にわたるまちの持続的発展のために、使命感、責任感及び先見性を持った行動力のある職員」を育成するためには、今後も適時適切な研修の受講による職員の資質向上が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

事務事業名	人材育成費			決算書 掲載ページ	120
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人事課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	1,205	776	0	429	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	776	
目 的	人事評価制度により、適切な人事管理と効果的な人材育成に努める。				
取組内容・実績	人事評価制度の円滑な運用及び定着を図り、効果的な人材育成を行うため、評価者（係長以上）・被評価者（一般職員）を対象に研修を行い、473人の職員が受講した。				
成 果	職員の能力、資質の向上を図るため、職員の育成に重点を置いた内容で研修を実施した。継続して研修を行うことにより、評価者の評価基準が平準化された。				
課題・今後の方向性	安定した人事評価制度運用のためには、制度に対する正しい理解に基づいた適切な職務目標の設定や、職務行動に対する均衡の取れた評価が不可欠である。安定した制度運用による人事管理及び人材育成を実現するため、計画的な研修の継続実施が必要である。				

事務事業名	帰国家族支援事業			決算書 掲載ページ	120
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同 参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	109	72	0	37	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	31	0	0	41	
目 的	拉致被害者関係市連絡会（柏崎市・佐渡市・福井県小浜市）を開催し、未帰国者の早期帰国の実現や拉致問題の風化防止に取り組む。				
取組内容・実績	5月11日に関係市連絡会を福井県福井市で開催した。2月16日に3市長が林内閣官房長官に拉致問題の早期解決を直接訴えた。あわせて、在日米国大使館でジョン・ナイリン政務担当公使と面会し、拉致問題の早期解決に向けた支援と理解についてバイデン大統領に宛てたメッセージを提出した。 また、関係市連絡会の各市小学校をオンラインで結び、拉致問題を考えるオンライン子ども会議を開催した。				
成 果	拉致被害者関係市連絡会の活動では、拉致問題の現実を訴えることができた。また、新たに実施した拉致問題を考えるオンライン子ども会議では、若年層への啓発と理解向上を進めることができた。				
課題・今後の方向性	拉致被害者及び御家族に残された時間には限りがある。関係市連絡会では、日朝首脳会談の早期実現に向けた政府への要望や、北朝鮮に影響力を持つ関係国への支援要請を継続するとともに、拉致問題の風化防止に取り組む必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	男女共同参画啓発事業			決算書 掲載ページ	120
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同 参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不用額	
	2,971	2,882	0	89	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	11	2,871	
目 的	男女が互いの人権を尊重して認め合い、性別に関わりなく、その個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。				
取組内容・実績	<p>かしわざき男女共同参画推進市民会議と連携し、講演会やセミナーの開催、機関紙の発行等による啓発活動を行った。</p> <p>また、家庭内の役割分担に関する気付きを促すため、事業所訪問時、各種イベント開催時等において家事シェアリーフレットの配布を行った。</p> <p>DV防止関連では、講演会を開催し、小中学校養護教諭35人が参加した。デートDV予防啓発講座を高校4校及び中学校1校で開催し、517人が参加した。</p>				
成 果	<p>講演会やセミナーの実施により、男性の育児・家事参加の重要性について理解を深めることができた。</p> <p>様々な機会を捉えて啓発を重ねたことにより、性別によらない家庭内の役割分担が生活の質的向上につながることへの気付きにつながった。</p> <p>高校生を対象に実施しているデートDV予防啓発講座は、様々な問題が低年齢化している状況を踏まえ、対象を中学生に拡大して実施している。</p>				
課題・今後の方向性	家事・育児等の無償労働の女性への偏りや長時間労働を前提とした労働慣行及び固定的な性別役割分担意識といった、生活や意識に根ざした問題を解決するため、関連事業を継続的に実施する必要がある。				

事務事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業			決算書 掲載ページ	122
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同 参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不用額	
	289	170	0	119	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	0	170	
目 的	市民一人一人が、やりがいや充実感を持って働き、仕事上の責任も果たしながら、同時に子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等に係る個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができるようワーク・ライフ・バランスの推進を図る。				
取組内容・実績	<p>事業所訪問や企業説明会の場を活用し、ワーク・ライフ・バランスの推進に資する制度の活用を働きかけた。</p> <p>ワーク・ライフ・バランス関連セミナーとして実施した「パパの育児応援セミナー」には事業所の管理担当者20人が、「働きやすい職場づくりセミナー」には事業所の女性従業員13人が参加した。</p> <p>ワーク・ライフ・バランスの取組を進めたい企業に対して、専門家が対応できるよう、アドバイザー派遣事業を創設した。</p>				
成 果	<p>ハッピー・パートナー企業の登録が7社増加し、働きやすい環境の職場が少しずつ増加している。</p> <p>育児応援セミナーの開催により、育児取得推進に向けた職場環境整備の必要性に対する理解の深まりや具体的な手続など、実務面での知識向上に寄与した。働きやすい職場づくりセミナーでは、本市の課題である若い女性の転出超過の現状を示すことで、若者や女性に選ばれる魅力ある職場づくりの必要性を感じてもらうことができた。</p>				
課題・今後の方向性	ワーク・ライフ・バランスに対する理解が深まり、働きやすい環境の整備が進むよう、各種制度の周知やセミナーの開催等、継続的な意識啓発活動を進めるとともに、企業の課題等を聞き取り、具体的な支援を行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-1 平和に関する意識啓発を進める

事務事業名	人権擁護事業			決算書 掲載ページ	122
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同 参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,791		1,275	0	516
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	623		0	0	652
目 的	柏崎市第二次人権教育・啓発推進計画に基づき、様々な分野における人権意識を向上させ、差別やいじめのない安心して暮らせるまちづくりを推進する。				
取組内容・実績	若年層に対する拉致問題啓発事業（中学生向け蓮池薫さんによる講演会）は6年目を迎え、市内中学校3校で実施し、生徒・職員の442人が参加した。部落解放同盟が推奨する人権映画「破戒」の上映会を開催し、297人が参加した。また、人権擁護委員協議会、保護司会等へ負担金を支出して、その活動を支援した。				
成 果	蓮池薫さんの講演会は、拉致問題の風化防止にとどまらず、人権意識向上の学習としても有意義なものとなっている。人権映画上映会の開催により、人権問題（部落差別問題）に対する理解が深まった。				
課題・今後の方向性	柏崎市第二次人権教育・啓発推進計画を周知し、人権尊重が当然のこととして受け入れられる地域社会の実現に向け、法務局や各種団体と連携して取組を推進する必要がある。				

事務事業名	核兵器廃絶平和推進事業			決算書 掲載ページ	122
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同 参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	855		533	0	322
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	533
目 的	核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨にのっとり、平和を愛する世界の人々と共に、未来を担う子どもたちと美しいふるさとのために、市民一人一人が平和の実現に向けて努力できるよう平和意識の醸成を図る。				
取組内容・実績	満州柏崎村の塔の前に献花台を設置し、8月5日から15日までの11日間に113人が献花した。柏崎市平和教育パンフレットを作成し、市内中学校2年生556人に配布した。瑞徳中学校、東中学校、北条中学校及び松浜中学校の4校を対象に被爆写真パネルを用いた巡回パネル展を開催した。高校生平和大使講演会を中心とした平和を考える会を開催し、29人が参加した。				
成 果	満州柏崎村の塔前に献花台を設置することにより、犠牲となった方々に対して、哀悼の意をささげるとともに、満州柏崎村の歴史を後世に伝えることができた。平和教育パンフレットを配布し、修学旅行先の事前学習の補足資料や社会科の学習資料として活用することや、高校生平和大使講演会を中心とした平和を考える会を開催することにより、平和に関する意識啓発を進めた。				
課題・今後の方向性	戦争体験者が高齢化し、戦争について語り合う・学び合う場や機会が少なくなっており、若い世代における戦争の悲惨さ、平和の尊さに対する認識が希薄になりつつある。戦争の恐ろしさ、平和の尊さについて考える機会を提供するなど、市民への意識啓発を継続して進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	市政協力費			決算書 掲載ページ	126
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	59,613		59,182	0	431
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	54,446		0	0	4,736
目 的	市が発行する広報紙、回覧・チラシ等を各世帯へ配布する業務を町内会に依頼することにより、効率的な配布を行う。				
取組内容・実績	市内304町内会に四半期ごとに支払った。支払基準は世帯数に応じた「世帯割」及び町内規模に応じた「平均割」を支払い基準とし、支払額を算出した。				
成 果	市政情報の適正な提供と、市政運営に関し協力を得ることができた。				
課題・今後の方向性	市政協理事務費支払額の見直しについては、令和6年度（2024年度）の完全実施に向け、各町内会から理解を得ている。				

事務事業名	広報発行費			決算書 掲載ページ	134
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	02	文書広報広聴費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	21,412		21,073	0	339
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	266		0	11	20,796
目 的	市の情報を定期的に発信することにより、広報かしわざきを制作して市民生活の安心感・利便性・充実感の向上を図る。 また、広報かしわざきをスマートフォンで読むことができる無料アプリを活用して、電子的な情報入手環境の充実を図る。				
取組内容・実績	広報誌（広報かしわざき）を毎月1回・計12回制作及び発行した。				
成 果	広報誌において、イベントや講座・教室、子育て、制度や手続の紹介及び施策の特集等世代のニーズに対応した行政情報を提供することにより、市民生活の安心感・利便性・充実感の向上につなげることができた。				
課題・今後の方向性	市民生活の安心感・利便性・充実感につながるような広報誌作成のため、内容の見直しを行う必要がある。 また、見やすく、必要な情報を探しやすい紙面作りに引き続き取り組む。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-3 公共施設を総合的かつ計画的に管理・運営する

事務事業名	PR戦略事業			決算書 掲載ページ	134
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	02	文書広報広聴費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,364		5,144	0	220
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	13	5,131
目 的	タイムリーな情報発信による市民生活の安全・安心の確保及び市政に対する関心や理解とシビックプライドの向上を目的に、ホームページやSNSを活用して行政からの情報入手環境の整備と充実を図り、積極的な情報発信を行う。 また、市勢要覧を活用し、出張・視察時等に配布することで、本市の認知度向上を図る。				
取組内容・実績	市政情報、子育てや医療等の暮らしの情報及び観光・イベント情報等について、アクセシビリティに配慮してホームページで発信した。 また、SNSでも、防災情報、イベント情報等を適時発信した。柏崎市LINE公式アカウントのPRに努め、令和5年度（2023年度）末の友だち数は前年比141%増の16,608件であった。				
成 果	インターネットによる情報提供の充実を図ることで、タイムリーな情報の提供、拡散により本市の認知度の向上等が図られた。				
課題・今後の方向性	情報入手手段が多様化する中、年代によって情報を入手する手段が異なる傾向があることから、それぞれの特性を踏まえ、全ての年代が必要な情報を入手できるよう、効果的な情報発信の手段を検討する必要がある。SNSでは特に市LINEの機能拡張と、市LINEを多くの方に知っていただけるようなPRを実施する。				

事務事業名	未利用地活用事業			決算書 掲載ページ	140
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	財政管理課	
目	05	財産管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	24,090		23,580	0	510
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	23,580
目 的	大規模未利用地の利活用を進める。				
取組内容・実績	未利用地・未利用施設の利活用に支障となる要因を除去するため、用地測量、不動産鑑定及び土壌汚染調査を実施した。				
成 果	令和6年度（2024年度）以降、未利用地・未利用施設の利活用を可能にした。				
課題・今後の方向性	施設の廃止・統廃合により増加する未利用地・未利用施設の利活用に向け、支障となる要因を排除する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-2 大学を活かし『柏崎らしさ』をはぐくむ
	⑤-2-1 地（知）の拠点を活かした取組を進める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-1 持続可能な公共交通ネットワークを構築する

事務事業名	大学との連携・協働事業			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,967		10,820	0	1,147
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5,412	5,408
目 的	市内2大学の魅力づくりや認知度の向上により、入学者の減少を抑制し、若者の活力によるまちづくりを目指す。				
取組内容・実績	市内2大学に対して、学生募集支援補助金として、合計5,000千円を交付した。また、新潟工科大学の産学交流会奨学金柏崎枠分として5,700千円の寄附を行った。				
成 果	入学者について、少子化により学生の確保が厳しい中、新潟産業大学は前年度から増加、新潟工科大学は横ばいの状況であるものの、定員数は依然として満たしていない。また、卒業後の市内に就職する割合も、低い水準が続いている。				
課題・今後の方向性	学生募集支援補助金を交付したものの、両大学とも定員を満たしていないことから、学生募集に係る効果的な取組について、両大学と引き続き意見交換していく必要がある。地元就職率は、依然として低い水準が続いており、人材確保及び移住定住の観点から対応策を検討する必要がある。				

事務事業名	路線バス等確保事業			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	162,628		152,569	0	10,059
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	14,579		0	738	137,252
目 的	交通事業者等へのバス運行経費の補助やバス等の利用を促進する取組により、公共交通を確保する。				
取組内容・実績	11月24日から新たな予約型乗合交通「柏崎市A I新交通あいくる」の運行を開始した。令和5年度（2023年度）の利用者数は7,026人となり、1日当たりの平均利用者数は当初の見込みを大きく上回る84人であった。				
成 果	交通空白地が新規発生しておらず、地域公共交通ネットワークが維持できている。また、「柏崎市A I新交通あいくる」の新規運行により、運行区域内の利便性の向上が図られた。				
課題・今後の方向性	「柏崎市A I新交通あいくる」の運行区域内においては、利便性が向上した一方で、郊外地域では、路線バスの廃線等の影響により、利便性が低下しており、格差が広がっている。また、公共交通の運転士不足が顕著になっており、路線バスのみならず、スクールバスや企業送迎バスの運行維持が難しい状況になっている。このことから、郊外地域における公共交通の利便性向上に係る施策の研究を進めていくとともに、運転士不足対策として、運行の更なる効率化等を検討するほか、運転士確保に向けた支援策について研究していく。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-1 持続可能な公共交通ネットワークを構築する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2 『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	鉄道等活性化事業			決算書 掲載ページ	146
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,403		1,445	0	958
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,445
目 的	鉄道事業者等への要望や、鉄道の魅力発信を行うことにより、鉄道の利便性向上を推進する。				
取組内容・実績	利便性の向上や、冬季間における安定運行等の実現のため、JR東日本新潟支社に対して、要望活動を実施した。利用者数が減少傾向にある信越本線及び越後線の利用促進及び高校生等の通学時における学校周辺の混雑緩和を図るため、高校生等鉄道定期券購入促進キャンペーンを実施し、延べ36人の応募があった。 また、信越本線の利用回復・利用促進を図るため、「歌舞伎（新橋演舞場でのスーパー歌舞伎鑑賞）と浜離宮恩賜庭園ガイド付き散策」を実施し、39人から参加いただいた。				
成 果	令和6年（2024年）3月のダイヤ改正により、上越新幹線東京発最終便と信越本線柏崎着最終便が接続されたことで、これまでよりも東京における滞在時間が延び、利便性が高まった。				
課題・今後の方向性	令和4年（2022年）3月に減便された優等列車の運行本数が回復されていないことから、利便性の向上を図るため、引き続き鉄道事業者などへの要望活動を実施していく。				

事務事業名	次世代エネルギー活用推進事業			決算書 掲載ページ	148
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	電源エネルギー戦略室	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,399		3,206	0	1,193
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2,211	995
目 的	柏崎市地域エネルギービジョンに基づき、再生可能エネルギー及び次世代エネルギーを活用した低炭素な地域社会づくりを推進する。				
取組内容・実績	再生可能エネルギー及び次世代エネルギーの活用に関する理解促進を図るため、以下の周知啓発活動を行った。 ・完成した鯨波・西長鳥太陽光発電所構内での見学会（延べ80人参加） ・再生可能エネルギーに係る市政策の理解促進講座（約100人参加） ・新潟日報の特集記事「だつたんそしろう」への本市脱炭素政策の掲載 ・本市の脱炭素政策等をまとめたリーフレット「脱炭素のまちを目指して」の作成及び地域懇談会等での配布				
成 果	周知啓発活動を通じ、再生可能エネルギー及び次世代エネルギーを活用することの意義や本市が地域エネルギー会社「柏崎あい・あーるエナジー株式会社」と連携して目指す脱炭素のまちの構想について、理解促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	脱炭素のまちの実現に向けて、再生可能エネルギーの導入拡大を促す施策の検討に加えて、再生可能エネルギー導入の意義や柏崎あい・あーるエナジー株式会社の役割等、市民に向けた周知啓発を推進する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	地域エネルギー会社連携事業			決算書 掲載ページ	148
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	電源エネルギー戦略室	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	48,518		37,124	9,215	2,179
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	9,775		0	20,785	6,564
目 的	柏崎あい・あーるエナジー株式会社と連携した事業展開の推進により、再生可能エネルギーや次世代エネルギーを活用した地域社会づくりの実現を目指す。				
取組内容・実績	市有未利用地を活用した再生可能エネルギーの導入実現可能性調査を実施し、柏崎あい・あーるエナジー株式会社との連携を踏まえた次年度の発電所建設の準備を進めた。また、市民の森（旧ぶどう村跡地）において、民間事業者が太陽光発電を行うための開発要件を整理する調査を実施した。				
成 果	市有未利用地の再生可能エネルギーの導入実現可能性調査により、柏崎あい・あーるエナジー株式会社の電源開発用地として、市有未利用地を利活用する方向性を導き出した。市民の森（旧ぶどう村跡地）で発電事業を行う際の課題等を整理することができた。				
課題・今後の方向性	地域への脱炭素エネルギーの安定供給を目指して、市有未利用地における太陽光発電設備や大容量蓄電池の設置に向けた調査を継続的に実施する。本年度の市民の森（旧ぶどう村跡地）の調査結果を踏まえ、発電事業者の意向等を踏まえた開発要件を整えるため、引き続き次年度に調査を実施する。				

事務事業名	再生可能エネルギー発電設備設置事業			決算書 掲載ページ	148
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	電源エネルギー戦略室	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	327,200		310,773	0	16,427
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	282,752		0	0	28,021
目 的	市が設置した再生可能エネルギー発電設備で発電した電力を、柏崎あい・あーるエナジー株式会社を通じて地域に供給することにより、エネルギーの地産地消を推進する。				
取組内容・実績	市所有の太陽光発電設備の設置工事を完了させた。設置完了後の当該設備の運用を柏崎あい・あーるエナジー株式会社が担い、発電した脱炭素電力を公共施設38施設に供給し、公共施設の電気料金削減に寄与した。				
成 果	公共施設に対する脱炭素電力の供給を開始し、施設の電気料金削減にも寄与できたことで、柏崎あい・あーるエナジー株式会社と連携した脱炭素電力の地域への供給拡大に向けて、順調なスタートを切ることができた。				
課題・今後の方向性	次年度以降は、市有未利用地において柏崎あい・あーるエナジー株式会社が所有する太陽光発電と大容量蓄電池の電源開発を進め、公共施設だけでなく市内事業者に対する脱炭素電力の供給拡大を図っていく。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

事務事業名	ふるさと応援事業			決算書 掲載ページ	148
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	328,157		273,869	0	54,288
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	273,869
目 的	柏崎出身者や縁のある人だけに限らず、ふるさと納税制度を通じた寄附者とのつながりをつくり「柏崎の応援者」を獲得する。 また、ふるさと納税の仕組みをいかし、柏崎市の資源を活用した商品開発や新たな地場産品の掘り起こしを行う。				
取組内容・実績	新たな寄附者層の獲得に向け、各種イベントで10月にリニューアルした返礼品パンフレット等を用いて積極的な周知を行った。 また、返礼品提供事業者の新規開拓及び新たな返礼品の掘り起こしを行い、登録事業者を9件、返礼品を184品増やし、ラインアップを強化した。その結果、多くの方から寄附をいただき、寄附件数は21,283件、寄附額は468,369,500円となった。				
成 果	ふるさと納税の寄附件数及び寄附金額がともに2年連続で過去最高となり、柏崎の資源を活用した返礼品を多くの方に届けることができ、本市と寄附者の「縁」を広げることができた。 また、リピーターの実数は前年度から836人増え、4,062人となり、繰り返し柏崎を応援していただける方を増やすことができた。				
課題・今後の方向性	返礼品は農産物が中心であるが、生産量が天候等に左右されやすいため、その影響を受けにくい工業製品等、ものづくり分野の返礼品開拓とその認知度を更に高めていくようなPR活動が必要である。そのため、産業振興部局等と連携し、情報を共有するとともに、柏崎の地域資源や地場産品を更にPRし、柏崎ブランドの確立につなげる。				

事務事業名	柏崎シティセールス推進事業			決算書 掲載ページ	150
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,567		534	0	1,033
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	534
目 的	柏崎ファンクラブを活用し、市内外に柏崎の魅力を発信しながら認知度の向上を推進する。 また、会員同士のネットワークを構築し、柏崎をキーワードとした“つながり”を創造することで、会員が柏崎との関係性をより深めていくことを目指す。				
取組内容・実績	ファンクラブ事務局としてホームページやSNS、メールマガジンを定期的に配信し、全国の会員に柏崎の「今」を伝えるとともに、会員が柏崎に触れる機会を広げるため「会員特典Premium」の周知を図った。 また、会員対象イベントを8回開催し、交流を図る場を設けた。				
成 果	柏崎ファンクラブには、新たに721人から入会いただき、令和5年度(2023年度)末現在、会員数は47都道府県に合わせて12,086人を有するに至った。				
課題・今後の方向性	柏崎の魅力をSNS等で広く発信するとともに、柏崎ファンクラブ会員が主体的かつ自主的に活動する機運を醸成するため、交流会の開催等、会員同士のネットワーク構築のきっかけを創出する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

事務事業名	U・Iターン促進事業			決算書 掲載ページ	150
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	43,444		34,056	0	9,388
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,756		0	13,599	18,701
目 的	移住を考えている方、学生及び若者に対し、移住・定住のための相談対応や支援を行い、一人でも多くの方が柏崎に定住することで人口減少の流れを緩やかにする。				
取組内容・実績	柏崎市U・Iターン情報ステーション、ふるさと回帰支援センター窓口及び各種イベント出展等を行い、移住を検討している方に寄り添った相談対応を合計で79件実施した。 また、柏崎に移住・定住した方に住宅家賃等に対する補助金・助成金を204件、18,727千円交付した。 市民、事業者及び行政が連携して移住・定住に取り組む「柏崎市移住・定住推進パートナーチーム」から提出された「施策提案書」に基づき、柏崎市公式の移住マッチングサイト「くじらと。」を10月に公開した。				
成 果	移住ガイドやオリジナル動画を活用するとともに、他課と連携することにより、移住相談者のニーズに合わせた対応を行うことができ、8世帯16人が相談対応を経て移住した。 また、U・Iターン関連補助金の交付により、学生や若者の移住・定住を促進した。 移住マッチングサイト「くじらと。」が公開から半年の期間で、5,881件の新規ユーザー及び20,562件のページビュー数を獲得した。				
課題・今後の方向性	移住支援制度、市内企業の採用情報、柏崎での暮らしの情報等を移住マッチングサイトで発信し、移住のきっかけを創出する。 また、若者の移住定住を促進するため、パートナーチームから提案された施策に官民が連携して取り組む。引き続き移住した若者等を支援することで定住促進を図る。				

事務事業名	首都圏からの移住・就業者支援事業			決算書 掲載ページ	150
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,033		9,000	0	33
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,750		0	0	2,250
目 的	首都圏からの移住者で交付条件を満たす方に対して補助金を交付することで、市内中小企業等の人手不足の解消や人口減少の抑制を図る。				
取組内容・実績	首都圏からの移住者で交付条件を満たす方に対する補助金を8件、9,000千円交付した。				
成 果	補助金の交付により、首都圏からの移住促進を図った。				
課題・今後の方向性	引き続き首都圏からの移住者で交付条件を満たす方を支援することで、首都圏からの移住促進を図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	IT戦略事業			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	7,574	7,197	0	377	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	0	7,197	
目 的	外部人材である情報政策官を登用し、庁内の業務改善、市民サービスの向上及び情報産業の振興を図る。				
取組内容・実績	地域ポイントシステム、AIオンデマンド交通システム等の構築に対して、情報政策官から技術的助言・支援を受けた。 また、情報政策官と市内情報産業事業者との意見交換を行った。				
成 果	庁内の情報システムの導入等に当たり、技術的助言を受けながら進めることで、適切に導入計画を進めることができた。 また、市内情報産業事業者との意見交換を実施し、経営課題等についてアドバイスをを行うことで、事業推進に寄与した。				
課題・今後の方向性	引き続き、庁内の情報システム環境の整備及び市内情報化関連企業の振興について、情報政策官の助言を受けながら進める。				

事務事業名	情報化関連業務総合委託事業			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	473,929	473,896	0	33	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	26,370	0	7,310	440,216	
目 的	包括的なアウトソーシングによるコスト削減及び業務効率化並びに情報政策の推進を図る。地図情報を市ホームページで公開し、利活用を促進する。				
取組内容・実績	地域ポイントシステムの調達支援、DX推進プロジェクト職員研修等の情報政策業務及び基幹系システム等の運用・保守・構築業務を実施した。				
成 果	システム調達・構築、導入及び運用保守を株式会社カシックスへアウトソーシングし、コスト削減・業務効率化を行いながら、情報政策を推進した。				
課題・今後の方向性	既存システムの運用・保守業務等に加えて、令和7年度（2025年度）移行完了を目標としている地方公共団体情報システムの標準化・共通化に向けた取組を進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	社会保障・税番号制度事業			決算書 掲載ページ	154
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	23,014		23,014	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	23,014
目 的	社会保障・税番号制度の円滑な運用とマイナンバーカードを利用したコンビニ交付により利活用の促進を図る。				
取組内容・実績	住民票の写し、印鑑登録証明書及び税関係証明書に加え、令和5年（2023年）8月から戸籍関係証明書のコンビニ交付を追加した。				
成 果	コンビニ交付で15,208件の証明書を交付し、夜間や休日に自宅近くのコンビニで証明書を取得できるなど、利便性が向上した。				
課題・今後の方向性	ホームページでの周知等、引き続きコンビニ交付の活用を推進する。				

事務事業名	辺地共聴施設整備事業			決算書 掲載ページ	154
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,622		8,622	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	8,622
目 的	地上デジタル放送に対応するための施設改修を行ってから10年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいる。故障した施設の撤去修繕等を行うため補助金を交付し、テレビ難視聴の改善と組合の負担軽減を図る。				
取組内容・実績	老朽化した共聴施設の撤去や修繕に係る費用について、7件の補助を行った。				
成 果	地上デジタル放送が良好に受信できない地域において、安定的にテレビを受信できる環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	組合員の減少に伴い、組合の維持が困難となることや、解散する組合が増えることが予想される。引き続き、安定したテレビ受信環境の維持に取り組む。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-2 多文化共生を進める

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	国際化に対応したまちづくり事業			決算書 掲載ページ	156
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	商業観光課	
目	09	国際交流費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,750		5,710	0	40
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,710
目 的	市民の国際理解を深め、市内在住外国人が安心して暮らせる多文化共生社会の構築を進めることで、柏崎地域の国際化を進めていく。				
取組内容・実績	公益財団法人柏崎地域国際化協会の運営に係る負担金を支出し、柏崎地域の国際化や多文化共生のまちづくりに係る事業を展開することにより、市内在住外国人への支援及び市民との交流を推進した。 また、特徴的な取組として、公益財団法人柏崎地域国際化協会と連携し、西山町地域で開催された水害対応防災訓練において、西山コミュニティセンターで災害時多言語支援センターの設置訓練を実施した。				
成 果	多文化理解講座等の開催により、外国人への理解が高まった。 また、日常生活における相談支援や、災害時における多言語支援センターの設置訓練等を通じ、外国人が住みやすい環境が整いつつある。				
課題・今後の方向性	市内在住外国人への支援体制が十分とは言えない状況にあることから、相談体制の確保並びに多文化及び言語を理解する人材の育成を進めていく必要がある。 また、多言語によるサービス提供には、物理的・経費的な限界があることから、「やさしい日本語」の普及・推進に取り組んでいくことも重要である。				

事務事業名	地域コミュニティ活動推進事業			決算書 掲載ページ	156
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	09	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	141,559		138,642	0	2,917
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	50,000		0	0	88,642
目 的	人件費の補助により財政基盤を確立させ、地域づくりの核となる組織づくりを支援する。 また、各地域のコミュニティ計画に基づく各種事業を支援し、地域活動の充実を図る。				
取組内容・実績	(コミュニティ管理運営事業補助金) 27のコミュニティセンターのセンター長に月額58,200円、8時間主事に月額179,200円、5時間主事に月額97,000円を交付した。 (地域コミュニティ活動推進事業補助金) 27のコミュニティ振興協議会の活動費として上限75万円を交付した。				
成 果	各振興協議会の健全な財政運営と住民主体の協働のまちづくりを推進することができた。				
課題・今後の方向性	協働によるまちづくりを推進するため、今後も継続することが必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	地域で支え合う除雪支援事業			決算書 掲載ページ	156
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	09	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,060		1,104	0	956
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,104
目 的	地域の除雪活動を支援し、助け合いと支え合いの仕組みづくりを推進する。 また、冬期間における安心、安全な生活を確保するとともに、雪に強い地域づくりを推進する。				
取組内容・実績	自力で除雪できない世帯へ町内会等が行う除雪作業に対し、69町内会へ総額1,086千円の補助金を交付した。				
成 果	豪雪により、山間部以外でも除雪が実施され、多くの除雪困世帯の安心、安全な生活を確保することにつながった。 また、住民同士が助け合う体制づくりに寄与した。				
課題・今後の方向性	各部署と連携し、状況に応じた除雪支援を通じ、地域で支え合う体制づくりの促進及び雪に強い地域づくりのため、本事業を継続する必要がある。				

事務事業名	消費者対策事業			決算書 掲載ページ	156
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	09	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,553		12,458	0	1,095
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	374		0	27	12,057
目 的	消費生活センターでは、消費者保護を目的とした相談体制及び啓発事業を充実させる。 また、消費者団体を支援することにより、消費生活やSDGsへの取組を活発にし、消費生活に関する教育や啓発事業への協力を得る。				
取組内容・実績	消費生活相談員による出前講座を23件487人に実施し、市民からの消費生活相談は、567件で前年度比22件の減少となった。 また、消費者安全確保地域協議会代表者会議を開催し、高齢者等の見守り体制について、構成員間で情報共有を図った。				
成 果	消費生活相談員が各種研修へ参加することにより、スキルアップに努めるとともに、出前講座への講師派遣によって市民に対し、消費者保護や消費者教育の推進と啓発を図ることができた。				
課題・今後の方向性	関係機関との連携を強化し、市民への継続的な教育・啓発活動を実施する必要がある。 特に高齢者被害防止のための見守りや成年年齢引下げに伴う若者向けの消費者教育の充実を図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	地域安全対策費			決算書 掲載ページ	156
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	09	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	33,972		22,921	0	11,051
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	50		0	11	22,860
目 的	市民の自主防犯意識の高揚を図ることにより、犯罪の温床となりにくい地域づくりを目指す。				
取組内容・実績	不審者情報等を適時に市民へ情報提供する安全防犯情報メールの登録者は4,485件、LINEの登録者は2,015件、合計では、6,500件で前年度比150件増加した。 また、地域で支える仕組みづくりを強化するため、防犯リーダー養成講座を開催し、31人の受講者（うち17人が新規受講者）があり、これまで190人の防犯リーダーを育成した。				
成 果	関係機関や各団体と連携し、防犯意識の啓発活動を行ったことにより、地域安全活動の推進と防犯意識の高揚が図られ、刑法犯認知件数が対前年比12件減少して220件となった。				
課題・今後の方向性	「ながらの目」による地域全体での見守り活動や安全防犯情報メールの登録者拡大を図り、犯罪の抑止に資することが必要である。防犯に関する広報啓発活動の充実や地域防犯活動を支える人材の育成等を関係団体と連携しながら実施する。				

事務事業名	コミュニティセンター整備事業			決算書 掲載ページ	160
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	09	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	90,801		89,947	0	854
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	14,748		16,200	0	58,999
目 的	コミュニティセンター施設の適切な整備により、安全性の確保や利便性の向上を図る。				
取組内容・実績	田尻コミュニティセンター雪止め設置工事、旧鶴川コミュニティセンター解体工事及び比角コミュニティセンター隣接の新潟県警旧比角待機舎跡地の取得を行った。				
成 果	コミュニティセンター施設の適切な整備により、安全性の確保や利便性の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も施設利用者の安全性の確保や利便性の向上を図る上で、コミュニティセンター施設の適切な整備を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	地域おこし協力隊活動経費			決算書 掲載ページ	160
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	09	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,079		12,250	0	1,829
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	28	12,222
目 的	地域等の主体的な取組を支援し、地域力の維持と向上を図る。 また、若者等の地方での意欲的なチャレンジを支援し、まちを支える人材を育成する。				
取組内容・実績	3地域・1団体で4人の隊員が活動を行った。 また、隊員が円滑に活動できるようサポート体制を構築し、関係者等と連携して支援を行った。				
成 果	3地域・1団体で4人の隊員が地域等の活性化・課題解決等のために活動に取組み、地域力の維持・向上につながった。				
課題・今後の方向性	新たに着任する隊員が地域で円滑に活動することができるよう、サポート体制の更なる構築と支援に取り組む必要がある。				

事務事業名	地域防災力向上支援事業			決算書 掲載ページ	162
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	09	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,676		6,031	0	645
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	719		0	3,080	2,232
目 的	防災士の養成とスキルアップのための支援、地域防災の専門家による知識の伝授や技術的な支援等を通じて、自主防災組織等の活動の充実や地域内で活躍できる防災士の育成を図り、地域防災力の向上を目指す。				
取組内容・実績	防災の知識を有する「防災士」を育成する防災士養成講座を開催し、45人が新たに資格を取得した。 また、防災士のスキル向上のためのフォローアップ研修会を6回開催し、延べ101人が参加した。 自主防災組織への活動支援として防災出前講座を全60回実施し、延べ1,496人が参加した。				
成 果	防災士養成講座の開催により、地域防災の中心的な役割を担うリーダーを育成することができた。 また、各事業において防災士の参加を促すことで、知識の習得や意識啓発だけでなく、地域防災力の向上に向けた体制づくりにつながった。				
課題・今後の方向性	防災士が地域内の担い手として活動できる体制づくりを進めるために、防災出前講座への参画を促すとともに、フォローアップ研修会における防災士同士の交流を通じ、多様な防災活動を展開していけるように取り組む必要がある。 また、防災に女性の目線を取り入れるために、防災士資格の取得や出前講座に女性の参加を促す必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

事務事業名	交通安全対策事業			決算書 掲載ページ	164
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	交通安全対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,142		10,160	0	982
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,662	8,498
目 的	市民参加の体験・実践型の交通安全活動を行うことにより、柏崎市交通安全計画の目標である「年間の交通事故発生件数を減少させることにより、交通事故による死者数ゼロ」を目指す。				
取組内容・実績	関係機関や関係団体と連携し、交通安全標語・川柳&ポスターコンテスト、交通安全フェア2023、飲食店への飲酒運転追放の呼びかけ等を実施した。 また、交通安全教室を園児対象に28園、卒園児対象に30園、自転車教室を小学校19校、中学校4校、歩行指導を小学校18校、高齢者対象を16回実施した。				
成 果	令和5年(2023年)の交通事故発生状況は、発生件数69件、死者数1人、負傷者数82人であり、前年と比較すると、それぞれ2件増、増減なし、6人増となった。				
課題・今後の方向性	高齢者の人口構成比が増加する中、安全サポート車の試乗や反射機能測定等を活用した体験会を通して、自ら気付く機会を提供する取組が必要である。関係機関等が連携して、継続的な交通安全教室・指導及び啓発活動を実施する。				

事務事業名	原子力広報等対策事業			決算書 掲載ページ	164
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	防災・原子力課	
目	11	原子力広報・安全等対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,470		10,324	0	146
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,222		0	0	102
目 的	原子力発電、放射線利用等に関する正しい知識の普及啓発を図ることで、地域社会の安全と安心に寄与する。				
取組内容・実績	原子力講座を2回、小・中学校向けのエネルギー・環境セミナーを13校で21回実施した。原子力発電や原子力防災に関する知識を分かりやすく伝える手段として、広報かしまぎ(アトム情報)に原子力防災に関する記事を掲載した。 また、原子力発電に関するこれまでの経過と概要をまとめた冊子の発行等を行った。				
成 果	放射線や原子力防災に関する知識を市民が自分事として捉えて行動することができる内容に見直して普及啓発を行うことができた。原子力発電所の安全性と透明性についてチェックし、市民がそれらに関する情報を得る機会を確保することができた。				
課題・今後の方向性	市民の放射線や原子力防災に関する知識の普及啓発については、全ての学校等へ児童・生徒及び教職員を対象とした講座開催の働きかけをしていく必要がある。 安全性の確保と情報公開による透明性の確保については、事業者に対しては徹底した取組を求め、国に対しては主体的に説明責任を果たすことを引き続き求めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	戸籍住民基本台帳費			決算書 掲載ページ	174
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	03	戸籍住民基本台帳費	担 当	市民課	
目	01	戸籍住民基本台帳費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	134,510		114,655	15,334	4,521
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	28,598		0	29,606	56,451
目 的	戸籍、住民票及び印鑑登録原票等の適正な管理を図る。 また、身分証明書としてマイナンバーカードの利用が図られるようにするとともに電子証明書によるサービス利用の普及拡大を図る。				
取組内容・実績	住民基本台帳事件数（住民基本台帳法による。）31,808件、戸籍事件数（当市受理及び他市町村からの送付分）3,596件、証明書交付手数料及び手数料事務103,375件、印鑑登録・廃印数4,177件、住民基本台帳ネットワーク・マイナンバーカード事務処理件数11,595件の処理を行った。				
成 果	戸籍、住民票、印鑑登録原票等の適正な管理により、住民サービスに貢献することができた。マイナンバーカードの申請サポート及び適切な交付によりマイナンバーカードの普及拡大を図ることができた。コンビニ交付では戸籍及び戸籍の附票を手数料を減額して追加し、更に利用拡大を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も引き続き、住民サービスに貢献できるように各届出や申請に基づき、戸籍、住民票、印鑑登録原票等の適正な管理を図る。マイナンバーカードについても引き続き、申請サポートや出張申請を行い、身分証明書としての利用のみならず、電子証明書によるサービス利用が図られるように普及拡大を図る。				

事務事業名	地籍調査事業			決算書 掲載ページ	184
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	05	統計調査費	担 当	財政管理課	
目	03	地籍調査費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	38,906		38,128	0	778
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	22,725		0	11	15,392
目 的	土地の所有者や地番、地図等の土地の情報を現状に合った内容にすることで、迅速な災害復旧や適正な土地取引等の円滑化を図る。				
取組内容・実績	第1計画区において地籍図及び地籍簿の作成、第2-1計画区において測量及び現地立会い、第2-2計画区において調査素図作成の業務委託契約を締結し実施した。 また、第2-2計画区の土地所有者調査や関係資料を確認し、地籍調査票及び調査素図の作成を行うとともに、土地所有者に対して文書による事前説明を実施し、令和6年度（2024年度）の境界立会い及び現地測量の準備を進めた。				
成 果	第1計画区では、土地所有者の閲覧を実施し、一筆ごとの土地について、所有者、地番、地目及び面積を明確にすることができた。第2-1計画区では、測量の工程が完了し、閲覧のための地籍図作成の基礎データを整えた。第2-2計画区では、現地測量に向けて所有者を確定し、文書での事前説明を行い、次年度の境界立会いの準備を進めることができた。				
課題・今後の方向性	長期間に及ぶ事業となるため、効率的な調査手法、実施体制及び財政負担を考慮しながら、「柏崎市地籍調査事業全体計画」に基づき、計画的、効率的に事業の推進を図る。				

3 款 民生費

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	民生委員費			決算書 掲載ページ	188
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,580		14,208	0	372
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4		0	0	14,204
目 的	民生委員・児童委員の地域における見守り、支え合い活動等を支援し、地域福祉の向上を図る。 また、民生委員法に基づく民生委員推薦会を設置し、民生委員・児童委員の推薦等を行う。				
取組内容・実績	活動費及び研修費補助金を交付した207人の民生委員・児童委員及び民生委員児童委員協議会が、延べ24,236日に及ぶ相談支援・実態把握活動を始めた地域福祉活動を展開した。				
成 果	生活上の様々な課題を抱える市民への相談支援や関係機関とのつなぎ役としての活動を実施し、地域福祉の向上に寄与した。				
課題・今後の方向性	委員の担い手不足解消に向け、民生委員協力員制度の導入による委員支援やイメージアップに資する広報活動に取り組む必要がある。				

事務事業名	成年後見制度利用支援事業			決算書 掲載ページ	190
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,436		12,163	0	273
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,231		0	0	6,932
目 的	判断能力が不十分な方の財産や権利の保護及び身上保護の支援を行うとともに、成年後見制度の普及啓発、相談業務及び申立支援を行う。 また、法人後見受任を安定的に行うために、市民後見支援員を養成する。				
取組内容・実績	経済的理由により制度の利用が困難な方を支援するために、9人の方に成年後見制度の利用に伴う後見人等の報酬費用を助成した。 また、地域内の権利擁護を支援する人材の育成や制度の普及促進のために、支援者向け研修会（35人参加）と市民向け研修会（34人参加）を各1回実施した。 成年後見制度の利用検討時に使用する支援者向けガイドラインを作成した。				
成 果	後見人等の報酬費用の助成を行うことにより、判断能力が不十分な方の財産や権利保護を行うことができた。市民後見人のスキルアップや市民向けの研修会を実施することで、安定的な法人後見受任や成年後見制度の周知啓発が図られた。 ガイドラインの作成により、判断能力が不十分な方の特性を整理する手法や成年後見制度利用検討の流れを支援者等に示すことができた。				
課題・今後の方向性	中核機関である柏崎市権利擁護センター（柏崎市社会福祉協議会に委託）の運営による市民向けの講座等の実施により、成年後見制度の理解促進に努める。 また、権利擁護センター運営協議会等を通じて権利擁護における支援者間の連携を強化する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	生活困窮者自立支援事業			決算書 掲載ページ	190
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	31,879		31,686	0	193
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	20,534		0	0	11,152
目 的	生活に困窮した方が困窮状態から早期に脱却できるよう、相談者の状態に応じた相談支援を行うことにより、自立の促進に取り組む。				
取組内容・実績	自立相談支援事業では、200人(新規111人)の相談に対応した。就労準備支援事業では、居場所支援として「フリースペースぶらっと」を24回開催(延べ参加者98人)したほか、相談者4人の就労準備を支援した。家計改善支援事業で、39人を支援し、16人が目標達成により支援を終了した。子どもの学習・生活支援事業では、訪問型学習支援を延べ559人、集合型学習支援を延べ145人(32回開催)が利用した。				
成 果	生活に困窮した方に対して、相談者の状態に応じた必要な支援を行うことにより、その自立を促進することができた。				
課題・今後の方向性	相談者が抱える課題は多岐にわたり、複雑なケースも多くなっている。関係機関との連携を強化し、今後も自立相談支援事業の相談支援を中心とするきめ細かい、そして切れ目のない支援を実施する。				

事務事業名	重層的支援体制移行準備事業			決算書 掲載ページ	192
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,570		12,223	0	347
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	9,158		0	29	3,036
目 的	分野ごとの個別支援では対応が難しい複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、関係する機関同士が連携した包括的な支援体制を整える。				
取組内容・実績	多機関協働事業と重層的支援会議の主催を柏崎市社会福祉協議会に委託することを前提に、関係課及び柏崎市社会福祉協議会と事業の本格実施に向けた支援体制の具体的な検討と協議を行った。				
成 果	令和6年度(2024年度)の本格実施に向け、多機関協働事業と重層的支援会議の主催を柏崎市社会福祉協議会へ委託することを始めとした相談支援体制を協議し、重層的支援体制として整備することができた。				
課題・今後の方向性	具体的なケースの検討や社会資源の把握と見える化等を通じて、重層的な支援体制を実効性あるものにしていく必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	原油価格・物価高騰等緊急対策事業			決算書掲載ページ	192
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	16,096		15,728	0	368
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	14,861		0	0	867
目 的	物価高騰の影響を受けながらも利用者負担の維持・軽減に努め、サービスの安定供給を図る介護・障害福祉事業者等の事業継続を支援する。				
取組内容・実績	市内の介護・障害福祉事業者等に事業を周知し、申請のあった事業者等に基準に基づいて補助金を交付した。 ・第1回 12法人35事業所 9,277,500円 ・第2回 13法人34事業所 6,450,000円				
成 果	障がい福祉サービス等を提供する市内事業者に対し、光熱費や食料品等の価格高騰分として補助金を交付することにより、その事業継続を支援することができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和5年度（2023年度）で事業を終了する。				

事務事業名	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業費			決算書掲載ページ	192
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,095,900		898,370	197,530	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	898,370		0	0	0
目 的	エネルギー・食料品等の価格高騰に伴い、特に家計への影響が大きい非課税世帯等の生活を支援するため、給付金を給付する。 また、価格高騰により特に深刻な影響を受ける低所得子育て世帯（住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯）を対象に18歳以下の児童1人当たり5万円を加算して給付する。				
取組内容・実績	令和5年（2023年）6月1日時点で住民税非課税である7,398世帯へ1世帯当たり3万円を給付した。 また、同年12月1日時点で住民税非課税である7,479世帯に1世帯当たり7万円を追加給付し、同日時点で住民税均等割のみ課税である1,271世帯に1世帯当たり10万円を給付した。 また、このうち18歳以下の児童を養育する301世帯、児童516人を対象に、一人当たり5万円を加算給付した。				
成 果	エネルギー・食料品等の価格高騰に伴い、特に家計への影響が大きい非課税世帯等の負担軽減が図られた。				
課題・今後の方向性	国の方針に基づき、令和6年度（2024年度）は「物価高騰対応重点支援給付金」として、令和6年度（2024年度）に新たに住民税が非課税となる世帯等に対して現金給付を実施する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護給付費			決算書 掲載ページ	196
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1, 227, 157		1, 222, 396	0	4, 761
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	794, 616		0	0	427, 780
目 的	障がいのある方が地域で安心して暮らすことができるよう、障がい福祉サービスを提供する。 また、サービスを利用するための費用を市が負担し、障がいのある方の経済的負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	障害福祉サービス受給者証を交付された方が、障害福祉サービスを利用し、その自己負担分を超える費用を市が給付した。月平均で、居宅介護81人、行動援護12人、同行援護11人、療養介護57人、短期入所15人、生活介護198人、施設入所支援108人のサービス利用に対する費用を給付した。				
成 果	障がいのある方の地域生活を支えるサービスを提供することにより、障がいのある方が地域で安心して暮らす環境を整えることができた。 また、サービスを利用するための費用を市が負担することで、障がいのある方の経済的負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	障がいのある方が必要としているサービスを相談支援事業所等と連携しながら的確に把握し、引き続き、サービス提供体制を確保する。				

事務事業名	訓練等給付費			決算書 掲載ページ	196
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	625, 384		608, 164	0	17, 220
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	391, 477		0	0	216, 687
目 的	障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、自立した日常生活に必要な訓練や就労のための障がい福祉サービスを提供する。 また、サービスを利用するための費用を給付し、障がいのある方の経済的負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	障害福祉サービス受給者証を交付された方が、障害福祉サービスを利用し、その自己負担分を超える費用を市が給付した。月平均で、自立訓練（機能訓練）3人、自立訓練（生活訓練）12人、宿泊型自立訓練5人、就労移行支援15人、就労継続支援A型15人、就労継続支援B型220人、就労定着支援11人、共同生活援助90人のサービス利用に対する費用を給付した。				
成 果	自立した日常生活に必要な訓練や就労のための支援等のサービス提供と、経済的な負担軽減を図ることにより、障がいのある方の住み慣れた地域における安心して自立した生活を支援することができた。				
課題・今後の方向性	共同生活援助（グループホーム）は、介護者の高齢化等により利用の増加が見込まれるため、障がい福祉サービス事業所や関係機関と情報共有を行い、利用枠の確保と拡充を検討する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	補装具給付費			決算書 掲載ページ	198
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	27,450		0	1,169	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	17,288		0	0	8,993
目 的	障がいのある方が自立した日常生活を送ることができるように、身体の欠損又は損なわれた身体機能を補完・代替する補装具の購入費用及び修理費用を給付する。				
取組内容・実績	申請に基づき、義肢、装具、補聴器、車椅子、電動車椅子等、補装具の購入費用として161件、修理費用として79件を給付した。				
成 果	補装具の購入費や修理費を給付することで、身体の欠損又は損なわれた身体機能の補完・代替と経済的負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	障がいのある方に必要な補装具の給付を継続し、障がいのある方の日常生活や社会生活の向上を図る。				

事務事業名	計画相談・地域相談支援給付費			決算書 掲載ページ	198
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	35,130		0	849	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	24,268		0	0	10,013
目 的	障がいのある方自らが望む生活を送るために必要なサービスを利用できるよう支援する。				
取組内容・実績	障がい福祉サービスの利用に必要な計画相談支援は623人に支給決定し、月平均162人が利用した。このうち、緊急時の訪問等の支援を行う地域定着支援は23人が利用した。				
成 果	障がいのある方の意向に沿った支援計画の作成、入所施設等からの地域への移行及び地域移行後の夜間等を含めた緊急時の連絡・相談を行うことで、障がいのある方が望む生活を送ることを支援するとともに、安心・安全な生活が確保された。				
課題・今後の方向性	障がいのある方が必要としているサービスの提供と本人の意向に沿った支援が行えるよう、柏崎羽羽地域障害者自立支援協議会の活動を中心に、相談支援事業所、関係機関等のネットワークを強化し、相談支援体制の充実に努める。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	日常生活用具給付事業			決算書 掲載ページ	200
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	25,976		24,698	0	1,278
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	9,160		0	32	15,506
目 的	在宅の障がい者等の日常生活の負担を軽減するため、障がい特性に応じた日常生活用具の購入費用を給付する。				
取組内容・実績	申請に基づき、電気式たん吸引器、パルスオキシメーター、視覚障害者用拡大読書器、情報・通信支援用具、時計、人工内耳用電池、特殊ベッド、移動用リフト、聴覚障害者用通信装置、ストーマ装具等1,922件を給付した。				
成 果	障がいのある方の自立や生活の質の向上、介助者の身体的負担軽減とともに、経済的負担を軽減することができた。				
課題・今後の方向性	日常生活用具の給付を継続することで、障がいのある方の日常生活や社会生活の向上を図る。 また、日常生活用具の給付種目の見直し及び拡充に努める。				

事務事業名	地域活動支援センター事業			決算書 掲載ページ	200
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	19,024		18,966	0	58
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	616		0	0	18,350
目 的	障がいのある方の地域活動支援センターへの通所により、創作的活動、生産的活動及び地域との交流の場を提供し、地域社会との交流を促進する。				
取組内容・実績	地域活動支援センターの利用者数は、Ⅲ型のうち、地域活動支援センター事業が24人、小規模作業所事業が7人となり、Ⅱ型（障害者デイサービス事業）の支給決定者数は28人であった。				
成 果	日中活動の場や機能訓練、入浴機会の提供に加え、利用者同士や地域住民との交流の場を提供することで、障がいのある方の自立した日常生活や社会参加に向けた支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、障がいのある方の創作的活動等の支援や社会との交流の促進を進めるとともに、地域活動支援センターの機能拡充等を含め体制充実に向けた取組を行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	日中一時支援事業			決算書 掲載ページ	200
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	35,310		32,770	0	2,540
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	13,452		0	0	19,318
目 的	障がいのある方に、日中一時的に活動する場を提供することにより、障がいのある方の介護者である家族が一時的に休息できるよう支援する。				
取組内容・実績	平均の利用者数は72人、年間で延べ6,904回の利用があった。				
成 果	日中一時支援サービスの提供により、家族の休息や就労のための時間を確保することができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、家族の休息や就労など多様なニーズに対応したサービスの提供体制の確保に努め、3つの類型（日中短期入所、学齢期障がい児支援、社会適応訓練）で事業を実施する。				

事務事業名	障害者相談支援事業			決算書 掲載ページ	202
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	29,681		29,681	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	29,681
目 的	障がいのある方やその家族等からの相談に対し、必要な情報提供等を行うとともに、障がいのある方が自立した日常生活を送れるよう支援する。				
取組内容・実績	相談支援を行う5事業所において、年間で延べ2,507件の相談対応を行った。				
成 果	障がいのある方やその家族等に、適切な地域資源の情報を提供することにより、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送るための支援をすることができた。				
課題・今後の方向性	住み慣れた地域で安心して自立した生活を継続することができるよう、引き続き、障がいのある方やその家族等への相談支援を実施する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	身体障害者等交通費助成事業			決算書 掲載ページ	204
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	10,999	10,899	0	100	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	10,899	
目 的	心身障害者の社会参加や通院・通所にかかる費用の負担軽減を図る。				
取組内容・実績	心身に障がいがある方にタクシー利用料金の助成又は自動車燃料費の助成を行った。 ・タクシー利用料金助成 617人 ・自動車燃料費助成 112人				
成 果	移動に要する交通費の助成を行うことで、適切な医療受診の継続、社会参加の促進及び経済的負担の軽減が図られた。				
課題・今後の方向性	障がいのある方の適切な医療受診の継続や家族を含めた社会参加の促進及び経済的負担の軽減を図る。				

事務事業名	福祉職員支援事業			決算書 掲載ページ	206
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	1,215	310	0	905	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	310	
目 的	市内の障がい福祉サービス事業所で障がい福祉業務に従事する職員の人材確保を図る。				
取組内容・実績	障がい者入所施設で新たに勤務する社会福祉士1人に補助金を交付した。				
成 果	補助金の交付により、障がい福祉業務に従事する職員の人材を確保し、安定したサービスの提供につなげることができた。				
課題・今後の方向性	安定したサービスを提供するため、福祉人材の確保は重要な課題である。市民や大学等に補助金制度の周知を行い、市内の障がい福祉施設への就職を促す。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	障害福祉従事者人材確保・育成支援事業			決算書 掲載ページ	206
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,039		678	0	361
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	678
目 的	障がい福祉施設で働く人材の確保及び職場への定着を図る。				
取組内容・実績	人材確保に向けた取組を実施した2法人に対し、合計で665千円の補助金を交付した。				
成 果	障がい福祉施設の人材確保及び職場定着により、安定した障がい福祉サービスの提供につながった。				
課題・今後の方向性	人材確保及び職場定着は安定したサービス提供につながることから、法人等と情報共有を行うとともに、制度を周知し、その利用促進を図る。				

事務事業名	障害児通所給付費			決算書 掲載ページ	206
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	92,506		90,268	0	2,238
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	63,818		0	0	26,450
目 的	子どもの成長発達を図るためのサービスを提供し、利用に係る費用の一部又は全部を市が負担することで、障がい児の成長発達を支援するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	通所受給者証を交付された障がい児が、障害児通所サービスを利用し、その自己負担分を超える費用を市が給付した。月平均で、児童発達支援99人、放課後等デイサービス54人、保育所等訪問支援1人の利用に対する費用を給付した。				
成 果	集団生活への適応訓練や生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、障がい児の成長発達を支援するとともに、保護者の経済的負担を軽減することができた。				
課題・今後の方向性	個々のニーズに応じてサービス提供場所を選択できるよう、引き続き、体制の整備に取り組む。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	障害児相談支援給付費			決算書 掲載ページ	208
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,080		9,596	0	484
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	7,197		0	0	2,399
目 的	障害児支援利用計画を作成することにより、障がい児の成長に沿った療育サービスの提供につなげ、一定期間ごとに支援等の利用状況の検証や計画の見直しを行うことで、適切なサービス利用を支援する。 また、サービス利用に係る費用の一部又は全額（生活保護世帯及び低所得者）を市町村が負担し、経済的な負担軽減を図る。				
取組内容・実績	障害児通所サービスの利用に必要な障害児計画相談支援は192人に支給決定し、月平均177人が利用した。				
成 果	障害児支援利用計画の作成により、障がいの程度や成長に応じたサービスの提供が行われた。				
課題・今後の方向性	障がい児に必要なサービスの提供と本人の意向に沿った支援を行うため、柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会を中心とした相談支援事業所、関係機関等のネットワークを強化し、地域の相談支援体制の充実に努める。				

事務事業名	障害者医療費			決算書 掲載ページ	208
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	75,388		73,015	0	2,373
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	53,242		0	0	19,773
目 的	一定の障がいがある方に対し、更生医療と育成医療の医療費補助を行うことで、本人の自立した日常生活、社会生活の支援を図る。 また、重度の障がいがあり、常時介護と医療を必要とする方に対し、療養介護の医療費補助を行うことで経済的な負担軽減を図る。				
取組内容・実績	更生医療（心臓・腎臓・肝臓等）は182人、育成医療（18歳未満の障害除去手術等）は18人、療養介護（主に筋ジストロフィー）は延べ684人に対し、医療費を補助した。				
成 果	継続的治療や障がい除去、長期の療養介護等に必要な医療費について経済的負担の軽減が図られた。				
課題・今後の方向性	引き続き、障がいのある方の経済的負担の軽減を図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	寝たきり高齢者等紙おむつ購入費助成事業			決算書 掲載ページ	210
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	39,933		38,464	0	1,469
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	162	38,302
目 的	在宅の寝たきり等で常に紙おむつを使用している高齢者に、紙おむつ購入費用の一部を助成し、在宅介護の経済的な負担軽減と在宅生活の継続を図る。				
取組内容・実績	1月当たり市民税所得割非課税世帯には3千円、市民税所得割課税世帯には2千円の助成券を6か月分まとめて、年2回1,429人に交付した。				
成 果	延べ38,381枚の紙おむつ券が使用され、在宅の寝たきり高齢者等を介護する方の経済的負担の軽減を図り、在宅介護を支援することができた。				
課題・今後の方向性	家庭における介護の負担軽減を図り、老後も住み慣れた地域で暮らしていけるよう、事業を継続して実施する。				

事務事業名	介護従事者人材確保・育成支援事業			決算書 掲載ページ	212
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	45,027		41,401	0	3,626
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	41,401
目 的	安定的な介護サービスを提供するため、介護事業所等に勤務する職員の職場定着と新たな介護人材の確保を支援する。				
取組内容・実績	介護資格取得支援補助金により、73事業所111人の資格取得を支援した。 介護夜勤対応者補助金を14法人40事業所に交付し、夜勤対応者は576人であった。 介護職員人材確保及び職場定着支援事業補助金では、1法人が人材確保・職場定着につながる事業に取り組んだ。 新たな介護人材確保に向けて、市内高校での出前授業やラジオ放送により、若い世代に介護職の魅力発信した。職場定着のため、市内の障がい分野・介護分野の社会福祉法人による意見交換会や、若手職員のワークショップを開催した。				
成 果	各種補助金の交付により介護職員のスキルアップや職場定着を図ることができた。 また、出前授業やラジオ放送で介護職の魅力発信を行うことにより介護職のイメージアップを図ることができた。 意見交換会やワークショップにより、法人の垣根を超えた交流ができた。				
課題・今後の方向性	介護ニーズの増大と生産年齢人口の急減が見込まれる中、若い世代に対して介護職の魅力発信することで、介護のイメージアップ・理解促進を図り、将来的な介護人材の確保につなげる必要がある。 また、職場定着のための取組も継続する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護職員就職支援事業			決算書 掲載ページ	214
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,400		4,100	0	1,300
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,100
目 的	市内の介護事業所又は病院で介護業務に従事する職員の人材確保を図る。				
取組内容・実績	介護福祉士14人、社会福祉士2人、初任者研修2人、実務者研修1人の計19人に補助金を交付し、人材確保を図った。				
成 果	補助金の交付により、19人の有資格者の人材確保につなげることができた。				
課題・今後の方向性	質の高い介護サービスを安定的に提供するため、介護人材の確保は最重要課題であり、市民や介護の専門学校等に補助金制度の周知を行い、市内の介護施設等への就職を促す人材確保策を強化する必要がある。				

事務事業名	原油価格・物価高騰等緊急対策事業			決算書 掲載ページ	214
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	94,501		87,088	0	7,413
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	70,576		0	0	16,512
目 的	新型コロナウイルス感染症の流行が長期化する中、物価高騰の影響を受けながらも利用者負担の維持・軽減に努め、サービスの安定供給を図る介護・障害福祉事業者等の事業継続を支援する。				
取組内容・実績	市内に介護サービス事業所のある41法人に対して、介護・障害福祉施設等物価高騰対策支援金を総額で87,088千円交付した。				
成 果	市内介護サービス事業所等の事業継続を支援するとともに、業務効率向上や業務負担軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和5年度(2023年度)で事業を終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1 『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	軽・中等度難聴者補聴器購入費助成事業			決算書 掲載ページ	214
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,456		3,790	0	3,666
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,790
目 的	補聴器購入費を一部助成することで、軽・中等度難聴者の社会参加を促すとともに、認知症、うつ病、ひきこもり等の予防を図る。				
取組内容・実績	95人に補聴器購入費の一部を補助をした(両耳18件、片耳77件)。				
成 果	補聴器購入が推進されたことで、購入者の社会参加と福祉に寄与し、疾病の予防につながった。				
課題・今後の方向性	補聴器を必要とする人が補助を受けられるよう事業周知を継続する。				

事務事業名	いきいき館施設整備費			決算書 掲載ページ	216
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	地域事務所	
目	04	社会福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	195,171		160,791	0	34,380
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		155,800	0	4,991
目 的	西山町いきいき館の施設整備を適正かつ計画的に進め、地域福祉活動の推進を図る。				
取組内容・実績	公共施設マネジメントに伴い、西山町いきいき館内にあったデイサービスセンター施設を診療所施設に改修する工事を行った。				
成 果	西山町いきいき館の施設整備を適正かつ計画的に進め、地域福祉活動の推進を図る。				
課題・今後の方向性	公共施設マネジメントによる施設複合化(これまでの西山コミュニティセンター及び柏崎市商工会入居並びに令和6年度(2024年度)の西山ふれあいクリニック入居)に併せて、施設維持管理を見直し経費の抑制を図りつつ、今後も施設の適正な管理を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	子どもの医療費助成事業			決算書 掲載ページ	220
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	福祉課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	228,691		226,216	0	2,475
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	61,594		0	0	164,622
目 的	保護者の経済的負担を軽減するとともに、子どもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、安心して子どもを育てることができる環境を作る。				
取組内容・実績	高校卒業（18歳到達年度末）までの子どもの医療費の一部を助成した。 ・助成件数120,517件 ・助成総額219,168,307円				
成 果	保護者の経済的負担を軽減するとともに、子どもの疾病の早期発見と早期治療に寄与した。				
課題・今後の方向性	高校卒業（18歳到達年度末）までの子どもが必要な医療サービスを受けられるよう、引き続き医療費助成を実施する。				

事務事業名	低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費（その他世帯）			決算書 掲載ページ	220
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	福祉課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	31,100		28,050	0	3,050
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	24,450		0	0	3,600
目 的	食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯の生活支援を行うため、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外の世帯（その他世帯分））を給付する。				
取組内容・実績	低所得の子育て世帯のうち、ひとり親世帯以外の世帯（その他世帯）259世帯、児童489人を対象として一人当たり50千円を給付した。				
成 果	給付金の給付により、低所得の子育て世帯のうち、ひとり親世帯以外の世帯（その他世帯）の生活支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和5年度（2023年度）で事業を終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	子どもの虐待防止事業			決算書 掲載ページ	222
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,303		11,864	0	439
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,435		0	54	6,375
目 的	<p>児童虐待の予防・早期発見・重度化防止のため、関係機関と連携し、迅速かつ適切に対応する。</p> <p>また、子どもの人権擁護と自立を目指し、適切な養育支援を行い、児童虐待防止に係る啓発を行うことで、地域の子どもの見守り意識の醸成に努める。</p>				
取組内容・実績	<p>家庭児童相談員が、家庭の養育環境等に支援が必要な相談者235人（延べ4,164人）に対し、園や学校等と連携して、来所や電話、訪問による相談を実施し、虐待防止に向けた支援につなげた。市民向け講演会（参加者125人）や、親支援講座としてNP講座（参加者7人、延べ人数37人）と親と子の上手なコミュニケーション講座（参加者9人）を開催し、育児不安の軽減と、親子の関係を育てる支援を実施した。</p>				
成 果	<p>子育ての不安解消や、虐待予防につなげることができた。</p> <p>また、市民・支援者向け講演会では、褒める言葉や叱る言葉を「認める言葉」に変えるポイントを学ぶなど、子どもとの接し方について振り返る機会となった。NP講座では、終了後のアンケートには「前向きな気持ちになった。」「気持ちが軽くなった。」などの意見があり、講座を受ける前後での気持ちの変容を確認することができた。</p>				
課題・今後の方向性	<p>虐待対応について、関係機関が緊急時に統一した対応を図るため、「子ども虐待対応フローチャート」、「手引書」及び「子どもの虐待にあった時のQ&A」を活用し、早期発見・早期対応に向けた取組を強化する必要がある。</p> <p>また、児童虐待防止の早期介入に向けた取組の強化のため、関係機関への意識啓発と連携した支援に継続して取り組む必要がある。</p>				

事務事業名	子育て世代包括支援センター利用者支援事業			決算書 掲載ページ	224
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,926		10,047	0	879
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	7,688		0	35	2,324
目 的	<p>妊娠期から子育て期（3歳までを重点的に）の母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、保健師、助産師等が専門的知見から助言し、切れ目のない子育て支援を行うことで、産後うつや児童虐待等を予防する。</p>				
取組内容・実績	<p>産婦健診における産後うつ質問票のハイスコア者やその他医療機関からの連絡により、支援が必要な方に対し、支援プランを58件作成した。</p> <p>また、8月から精神保健福祉士を配置し、困難事例の対応を行った。</p>				
成 果	<p>産科との連携により、必要な方に早期に支援を実施することができた。</p> <p>また、精神保健福祉士が加わったことで、メンタルに不調がある方への対応や精神科との連携が充実した。</p>				
課題・今後の方向性	<p>精神疾患の既往等、妊娠期から産後までの継続的多面的な支援を必要とする事例が増加傾向にある。助産師や保健師だけでなく、精神保健福祉士の専門性をいかし、多面的な支援を継続する必要がある。</p>				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

事務事業名	子育て応援券事業			決算書 掲載ページ	224
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	24,429		17,435	0	6,994
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	15,414		0	0	2,021
目 的	経済的負担の軽減や子育て世帯が安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図る。				
取組内容・実績	市内に住所を有する0歳から3歳までの子どもがいる世帯に対し、子ども1人当たり1万円の子育て応援券を交付した。令和6年(2024年)1月からは電子チケットでの交付を開始し、電子決済ができるようになった。1,467人(令和6年(2024年)3月末時点)を対象に交付し、登録事業者は88者となった※令和4年度(2022年度)発行分利用率98.16%(令和6年(2024年)4月末時点)。				
成 果	乳幼児を抱える世帯への経済的負担の軽減や地域の子育て環境の充実を図ることにより、子育てしやすい環境づくりに寄与することができた。 また、電子化により、利用者の利便性の向上、登録事業者の換金対応に係る業務負担の軽減及び市職員の業務効率向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	電子チケット交付後のチケット取得率が低いため、未取得者への周知を行い、取得率を向上させるとともに、電子チケット取扱い事業者を増やすことで、電子決済の環境整備を推進する必要がある。				

事務事業名	子育て応援券臨時交付事業			決算書 掲載ページ	224
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,216		6,109	0	3,107
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,109
目 的	子育て世帯が安心して子どもを産み育てられる環境の充実と、子育て応援券が使用されることによる市内の消費喚起を図る。				
取組内容・実績	市内に住所を有する0歳から18歳までの子どもがいる世帯に対し、子ども1人当たり2万円の臨時の子育て応援券を交付した。10,590人を対象に交付し、登録事業者は219者となった(利用率99.00%)。				
成 果	物価高騰により影響を受けている子育て世帯の経済的負担の軽減と、子育て応援券が使用されることによる市内の消費喚起を図ることができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和5年度(2023年度)で事業を終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	出産・子育て応援交付金事業			決算書 掲載ページ	224
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	35,487		32,250	0	3,237
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	28,342		0	0	3,908
目 的	全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境の充実を図る。				
取組内容・実績	妊娠・出産された方に対し、出産・育児の見通しを立てるために保健師及び助産師が面談（妊娠届出時：323件、出産後：312件）等を行う伴走型相談支援を実施するとともに、子育て支援サービスの利用者負担軽減を図る経済的支援（出産応援交付金：16,150千円、子育て応援交付金：15,600千円）を実施した。				
成 果	妊婦・子育て家庭に対し、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施することにより、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境づくりに寄与することができた。				
課題・今後の方向性	里帰り出産や、妊娠期・出産後の転居も一定数あるため、面談及び交付金の支給について、その都度自治体間で情報連携を行う必要がある。				

事務事業名	放課後児童健全育成事業			決算書 掲載ページ	226
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	243,832		239,500	0	4,332
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	89,324		0	99,678	50,498
目 的	放課後や学校休業日に留守家庭となる小学校の児童を預かり、適切で安全な遊びや生活の場を提供することで、子どもたちの健全育成を図る。				
取組内容・実績	市内23か所の児童クラブを民間委託（柏崎市社会福祉協議会22か所、西山福祉会1か所）し、年間延べ6,717日開設、161,291人の利用があった。				
成 果	適切な遊びと生活の場を提供することにより、児童の健全育成を図ることに加えて、保護者の就労や介護等の支援にも寄与することができた。				
課題・今後の方向性	児童クラブ支援員の安定的な人材確保や支援が必要な児童の対応方法について、専門的助言が受けられる体制作り継続して取り組む必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	児童クラブ整備事業			決算書 掲載ページ	226
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	28,564		21,112	7,452	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	19,000		0	0	2,112
目 的	児童クラブを適切に整備し、子どもたちが安心安全に過ごすことにより、健全な成長に寄与する。				
取組内容・実績	荒浜小学校の校舎棟改築工事に併せて荒浜児童クラブを併設するため、令和5年度（2023年度）～令和6年度（2024年度）継続事業の第1期工事を行った。 また、暑さに対応するため、荒浜児童クラブと新道児童クラブにおいて、エアコンの増設工事を行った。				
成 果	荒浜児童クラブの新築に係る2か年継続事業の第1期工事を計画どおり完了できたことにより、令和7年（2025年）1月19日に予定どおり完成することが見込まれる。 また、エアコンを増設したことにより、より良い環境が整備され、児童に適切で安全な生活の場を提供することができた。				
課題・今後の方向性	学校敷地外で運営している荒浜児童クラブは、荒浜小学校校舎棟改築工事に併せて荒浜小学校に併設する。 また、建築して10年以上経過する児童クラブについては、修繕等を計画的に実施する必要がある。				

事務事業名	地域子育て支援拠点事業			決算書 掲載ページ	228
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	23,944		22,199	0	1,745
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	12,190		0	99	9,910
目 的	子育て支援室及び元気館内ジャングルキッズで親子の交流の場を提供し、子どもが健やかに成長することのできる地域社会を目指すとともに、子育ての楽しさを発信する。 また、子育て中の親子が安心して過ごし、子育て不安を解消できるよう支援する。				
取組内容・実績	公立子育て支援室及び元気館ジャングルキッズにおいて、未就園児とその保護者に交流の場を提供し、延べ7,552組が利用するとともに、187件の子育て相談を受け付けた。				
成 果	未就園児とその保護者が交流する場を提供し、子育て相談を受けることで、保護者の子育て不安を軽減できた。				
課題・今後の方向性	子育て支援室に関する情報発信を行うことで保護者の利用を促すとともに、子育て相談により保護者の子育て不安を軽減できるよう支援することが必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	早期療育事業			決算書 掲載ページ	230
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子どもの発達支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	30,583		28,994	0	1,589
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	26,142	2,852
目 的	心身や言葉の発達に心配のある乳幼児とその保護者を対象に、個々の発達段階や特性に応じた発達支援を行い、保護者の子育て不安の軽減を図る。				
取組内容・実績	障害児相談支援及び児童発達支援の福祉サービスを行ったほか、キッズ・サポート園巡回相談を実施した。障害児相談支援では年間148人のサービス等利用計画を作成し、児童発達支援では132人に延べ2,153件の発達支援を行った。 また、キッズ・サポート園巡回相談では依頼を受け67人の園児に関する助言とクラス運営に関する助言4件を保育園・幼稚園等に実施した。				
成 果	専門的な知識経験を有する児童指導員や臨床心理士等を配置することにより、子どもの集団生活への適応向上や保護者の子育てに対する自信向上につながった。さらに、キッズ・サポート園巡回相談により、保育士等への支援方法を向上させることができた。				
課題・今後の方向性	発達支援に関するニーズに対応するため、療育支援機関としての体制充実が求められている。今後も職員の専門性の向上を図り、関係機関との連携を強化していく必要がある。				

事務事業名	ふれあいルーム推進事業			決算書 掲載ページ	232
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子どもの発達支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,040		5,543	0	497
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	28	5,515
目 的	登校が困難な小・中学生及び高校生へ学習の意識付け、集団生活への適応、体験活動及び自立過程を支える居場所を提供することにより、主体的に学校復帰や社会的自立を目指す。				
取組内容・実績	不登校で学校生活への適応が難しい児童及び生徒に対して、年間235日開室し、最大で13人が登録利用した。				
成 果	登録利用した児童及び生徒自らが進路を主体的に捉え、進学や部分登校ができるようになるなど、将来的な社会的自立に向けての支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	中学校から高校生、高校生から社会人へと途切れない支援を行うため、関係機関との情報共有や引継ぎを確実に実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	カウンセリングルーム運営費			決算書 掲載ページ	232
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子どもの発達支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,435		13,238	0	197
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	66	13,172
目 的	臨床心理士や相談員を配置し、不登校や発達障がい等の心身の不調やいじめ問題に悩む小・中学生や高校生、その保護者への相談を行い、悩みの早期解決を図る。				
取組内容・実績	臨床心理士及び相談員が、児童・生徒及びその保護者に対して、一人一人に応じたきめ細やかな相談支援を行った。相談支援は、152人に対して延べ1,860回実施した。 また、小・中学生の発達障がい等の児童・生徒を対象にしたソーシャルスキルトレーニングを計24回、小学生延べ25人、中学生延べ8人に実施した。				
成 果	相談者に対する専門的なカウンセリングを行うことによって不登校の長期化を予防し、発達障がいの二次障がいの防止につなげることができた。				
課題・今後の方向性	相談内容が多様化、複雑化しており、学校や関係機関との情報共有・連携を密にして相談支援を行う必要がある。				

事務事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業			決算書 掲載ページ	236
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	福祉課	
目	02	母子福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	35,051		31,532	0	3,519
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	14,847		0	0	16,685
目 的	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するとともに、親子の疾病の早期発見と早期治療を促進し、安心して生活し、子どもを育てることができる環境を作る。				
取組内容・実績	ひとり親世帯に対し医療費の一部を助成した。 ・助成件数12,701件 ・助成総額28,825,649円				
成 果	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するとともに、親子の疾病の早期発見と早期治療に寄与した。				
課題・今後の方向性	新潟県ひとり親家庭等医療費助成事業実施要領等に基づく事業であり、ひとり親世帯の経済的負担の軽減等を図るため、今後も継続して医療費助成を実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費（ひとり親世帯）			決算書 掲載ページ	236
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	福祉課	
目	02	母子福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	45,050		42,350	0	2,700
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	39,550		0	0	2,800
目 的	食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得のひとり親世帯の生活支援を行うため、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）を給付する。				
取組内容・実績	低所得の子育て世帯のうち、ひとり親世帯528世帯、児童791人を対象として、一人当たり50千円を給付した。				
成 果	給付金の給付により、低所得のひとり親世帯の生活支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和5年度（2023年度）で事業を終了する。				

事務事業名	私立保育園運営経費			決算書 掲載ページ	242
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,344,191		1,316,401	600	27,190
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	887,326		0	68,582	360,493
目 的	私立保育園に運営委託料及び補助金を交付することで、健全な保育園運営を確立し、安定した児童受入体制を整える。				
取組内容・実績	私立保育園13園に保育の実施に要する経費を委託費及び運営費補助金により支援した。				
成 果	私立保育園に委託料及び運営費補助金を交付することにより、健全な保育園運営を通じ入園希望児童の受入体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	健全な保育園運営及び安定した園児受入体制を確立するため、継続した支援が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立保育園特別保育事業補助金			決算書 掲載ページ	244
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	106,235		72,617	0	33,618
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	32,363		0	0	40,254
目 的	子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援等、安心して子育てができる環境づくりを総合的に支援するため、特別保育事業を実施し、児童の福祉の向上を図ることを目的とする。				
取組内容・実績	補助金の交付を通じて、特別保育事業を実施した私立保育園を支援した（未満児保育事業13園、障害児保育事業12園）。				
成 果	子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援等、安心して子育てができる環境づくりを通じ、未満児保育及び障害児保育の受入体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	特別保育事業を実施する私立保育園を継続支援することで、多様化する保育ニーズに対応する必要がある。				

事務事業名	私立保育園建設費補助金			決算書 掲載ページ	244
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,560		8,238	0	322
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,492		0	0	2,746
目 的	保育園の施設整備に要する経費の一部を補助することにより、子どもを安心して育てることができる体制を整備する。				
取組内容・実績	補助金の交付を通じて、私立保育園（1園）及び私立認定こども園（1園）の保育園部分に係る改修工事費の一部を支援した。				
成 果	私立保育園及び認定こども園の運営法人の施設整備に伴い、安心して児童を受け入れる環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	私立保育園及び認定こども園の健全運営を確保する上で、継続した施設整備を支援する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立保育園地域子ども・子育て支援事業			決算書 掲載ページ	244
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	35,932		29,265	0	6,667
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	17,196		0	0	12,069
目 的	子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援等、安心して子育てができる環境づくりを総合的に支援し、子ども・子育て支援の着実な推進を図ることを目的とする。				
取組内容・実績	補助金の交付を通じて、地域子ども・子育て支援事業（延長保育事業4園、地域子育て支援拠点事業5園、地域子育て支援センター事業2園、一時預かり事業6園（うち2園は自主事業））を実施した私立保育園を支援した。				
成 果	安心して子育てができる環境を整備することで、地域子ども・子育て支援体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	地域子ども・子育て支援事業を継続することで多様化する保育ニーズに対応する必要がある。				

事務事業名	保育園整備事業			決算書 掲載ページ	244
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	656,645		450,054	206,450	141
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	400,000		0	0	50,054
目 的	市民の保育ニーズに応えるため、公立保育園として必要な施設の整備を行う。				
取組内容・実績	田尻保育園の園舎改築に係る工事及び工事監理を行った。				
成 果	柏崎市保育園整備基本方針に基づき、令和6年（2024年）7月の新園舎完成に向けて、計画どおり工事を進めることができた。				
課題・今後の方向性	柏崎市保育園整備基本方針に基づき、老朽化に伴う施設整備を統廃合と併せて、適正に実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立認定こども園等運営経費			決算書 掲載ページ	244
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	470,246		429,671	150	40,425
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	294,787		0	11	134,873
目 的	国の子ども・子育て支援新制度に基づいて施設型給付費負担金を支出する。 また、運営に要する経費を補助金として助成することで、健全な運営を確立し安定した運営体制を整える。				
取組内容・実績	私立認定こども園4園と私立幼稚園1園に、教育・保育に要する費用を施設型給付費負担金及び運営費補助金により支援した。				
成 果	私立認定こども園と私立幼稚園に施設型給付費負担金と運営費補助金を交付することにより、入園を希望する児童の受入体制を確保することができた。 また、小学校就学前の児童に対して、必要な教育・保育を実施することができた。				
課題・今後の方向性	健全な園運営の確保に向けて、認定こども園等を継続支援していく必要がある。				

事務事業名	私立認定こども園等建設費補助金			決算書 掲載ページ	246
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	40,789		39,981	0	808
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	26,654		0	0	13,327
目 的	老朽化による改築等、施設整備に要する経費の一部を補助することで、児童を受け入れる環境を整備する。				
取組内容・実績	補助金の交付を通じて、私立認定こども園（1園）の幼稚園部分に係る改修工事費の一部を支援した。				
成 果	私立認定こども園の運営法人の施設整備に伴い、安心して児童を受け入れる環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	私立認定こども園の健全運営を確保する上で、継続した施設整備を支援する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	小規模保育事業運営経費			決算書 掲載ページ	246
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	32,320		30,088	75	2,157
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	21,749		0	0	8,339
目 的	園に地域型給付費負担金及び運営費補助金を支出することで、健全な運営を確立し、安定した運営体制を整える。				
取組内容・実績	小規模保育事業所（1園）に、保育の実施に要する経費の一部を地域型給付費負担金及び運営費補助金により支援した。				
成 果	小規模保育事業所に地域型給付費負担金及び運営費補助金を交付することにより、入園を希望する児童の受入体制を確保した。				
課題・今後の方向性	健全な施設運営の確保に向けて、小規模保育事業を継続支援していく必要がある。				

事務事業名	子どもの遊び場施設整備補助金			決算書 掲載ページ	248
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	04	児童福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,934		4,798	0	136
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,798
目 的	健全な遊び場の整備を促すことにより、子どもの路上遊び防止と遊び場環境の改善を図る。				
取組内容・実績	町内会等が管理する公園の整備計画について、12件の補助金を交付した。				
成 果	計画された全ての整備計画が実施され、遊具の撤去、修繕及び新設等、安全に配慮した子どもの遊び場の環境整備に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	児童が生活する身近な町内で、健全な遊びを通じて社会性や体力の向上を図るため、今後も事業を継続していく必要がある。 保護者からのニーズが高い、天候に影響されずに遊ぶことができる施設を整える必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	子どもの屋内遊び場施設利用券事業			決算書 掲載ページ	248
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	04	児童福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,150		3,779	0	371
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2,000	1,779
目 的	冬期間等の天候に影響されずに遊ぶことができる屋内遊び場の利用料を補助し、子どもの遊び場環境の充実を図る。				
取組内容・実績	0歳から8歳までの子どもがいる世帯に対し、一人5回分の利用券を交付した。対象者3,883人に交付し、5,669枚の利用があった。				
成 果	屋内遊び場の利用券を交付することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減と天候に影響されない屋内遊び場環境の充実を図ることができた。				
課題・今後の方向性	令和6年(2024年)4月から屋内遊び場施設の運営を柏崎ショッピングモールに委託し、子どもの遊び場環境の充実を図るため、本事業は令和5年度(2023年度)で終了する。				

事務事業名	病児保育事業			決算書 掲載ページ	248
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	04	児童福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	24,162		23,074	0	1,088
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	15,382		0	0	7,692
目 的	保育所入所児童等が発病した際に児童を預けることができる病児保育室を開設することにより、働きながら安心して子育てのできる環境を整備する。				
取組内容・実績	病児保育室「ムーミンハウス」の運営業務を国立病院機構新潟病院に委託し、198人の利用登録があり、延べ554人が利用した。 また、病児保育室「ぴっころ」の運営業務を柏崎総合医療センターに委託し、117人の利用登録があり、延べ229人が利用した。				
成 果	保護者の子育てと就労の両立の支援を実施することで、子育て支援の環境の充実を図ることができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、現状の病児保育体制を維持・継続していく必要がある。				

4 款 衛生費

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1 『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	生活保護費			決算書 掲載ページ	252
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	03	生活保護費	担 当	福祉課	
目	02	扶助費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	935,277		911,155	0	24,122
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	666,986		0	0	244,169
目 的	生活保護受給世帯及び中国残留邦人等支援給付金受給世帯の最低生活を維持し、自立を図る。				
取組内容・実績	対象となる方に、生活保護費及び中国残留邦人等支援給付金を支給した。 令和6年（2024年）3月現在、生活保護受給世帯497世帯（受給者602人）、中国残留邦人等支援給付金受給世帯3世帯（受給者4人）				
成 果	生活保護受給世帯及び中国残留邦人等支援給付金受給世帯の最低生活を維持し、自立に向けた支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	物価高騰等により、生活に困窮する方が増加する可能性がある。柏崎市社会福祉協議会を始めとした関係機関と緊密に連携し、必要な方に適切な支援が行き届くよう、継続して取り組む必要がある。				

事務事業名	病院群輪番制病院運営費			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	40,626		40,554	0	72
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2,109	38,445
目 的	柏崎・刈羽地域で二次救急医療を担う病院に補助金を交付することにより、地域医療を支える病院の円滑な運営を支援し、住民福祉の向上を図る。				
取組内容・実績	二次救急医療を担う病院（柏崎総合医療センター、新潟病院及び柏崎中央病院）に対して、輪番制病院の運営費を補助した。				
成 果	柏崎・刈羽地域の休日及び夜間における医療提供体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	地域における救急医療体制を確保するため、継続して支援を実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	病院群輪番制病院設備整備補助事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算 繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	97,298		53,116	34,624	9,558
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	16,680		0	1,890	34,546
目 的	柏崎・刈羽地域で二次救急医療を担う病院に補助金を交付することにより、柏崎・刈羽地域の休日・夜間における医療提供環境を整備する。				
取組内容・実績	柏崎・刈羽地域で輪番制により二次救急医療を担う病院（柏崎総合医療センター及び柏崎中央病院）に対して、救急医療に必要な医療設備の整備費を補助した。				
成 果	柏崎・刈羽地域の休日及び夜間における医療提供環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	地域における救急医療の体制を確保し、その機能の充実を図るため、継続して支援を実施する必要がある。				

事務事業名	医師確保対策事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,138		2,031	0	107
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,031
目 的	柏崎地域の医療機関に勤務する医師や臨床研修医の確保及び将来の医療従事者の増加を図り、地域医療提供体制を確保する。				
取組内容・実績	柏崎総合医療センターに勤務する臨床研修医が研修期間中に参加する国内研修に係る経費を補助した。 また、市内小学校7校・中学校4校に対し、医師を派遣し、医療の現状や仕事内容・やりがい・魅力について講話してもらった。				
成 果	柏崎総合医療センターに新たに3人の臨床研修医が赴任し、計5人の臨床研修医が勤務した。小・中学生を対象に医師講話を行うことにより、地域医療や医師の仕事に関心を持ってもらうとともに、将来、医師を始めとした医療従事者になるという進路選択への意識付けを図ることができた。				
課題・今後の方向性	柏崎総合医療センターでは常勤医師不足を補うため、非常勤医師の派遣を受けているが、非常勤医師の確保が難しくなっている上、派遣受入れに係る経済的負担も大きい。市内医療機関に勤務する医師を増やし、将来にわたり地域医療体制を確保するため、事業の継続が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	看護師就職支援事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,726		13,200	0	1,526
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	551	12,649
目 的	市内の病院、訪問看護ステーション、介護施設等に勤務する看護師を確保し、医療体制の維持・充実を図る。				
取組内容・実績	市内の病院、訪問看護ステーション、介護施設に就職した看護師54人に対し、就職助成金を交付した。				
成 果	市内に新たに就職する看護師に就職助成金を交付したことにより、病院等に勤務する看護師を確保することができた。さらに、転入者には助成金を加算することで、転入者の促進にもつなげることができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、市内の病院への就職を促すため、就職助成金事業を実施する。就職助成金の交付は3年以上の継続勤務を条件としているが、看護師は3年程度勤務すると離職するケースが多いため、長年働いてもらえるよう、雇用定着を促す支援策を検討する必要がある。				

事務事業名	勤務医・看護師子育てサポート事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,534		2,342	0	192
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,342
目 的	病院に勤務する医療従事者の子育て支援を図ることにより、出産・育児による離職防止や在宅看護師の再就職を促進する。				
取組内容・実績	柏崎総合医療センター内の託児施設の運営費に対し、補助金を交付した。 ・利用職員数8人（医師1人、看護職員7人）、延べ児童数1,382人				
成 果	託児施設への支援により、安心して医療従事者が子育てをしながら働ける環境を維持することができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して、病院に勤務する医療従事者の子育てを支援することにより、出産・育児による離職防止や在宅看護師の再就職を促進する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	看護学生確保支援事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,400		7,600	0	800
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	3,000	4,600
目 的	看護師養成所に入学者への支援や、教育内容の向上のため養成所に対する支援を行うことにより、市内唯一の看護師養成所の存続につなげ、市内の病院等で働く優秀な看護師を確保する。				
取組内容・実績	新潟病院附属看護学校に入学者39人に対し、入学祝い金を交付した。看護学校の教育内容等の向上のため、学校運営費に対し補助金を交付した。				
成 果	新潟病院附属看護学校の入学定員を充足するとともに、市内で看護教育を受けられる体制を維持することができた。令和6年(2024年)3月に卒業し、就職した22人のうち、12人が市内病院に就職した。				
課題・今後の方向性	市内に看護師養成所があることは、市内出身の看護師の養成を促し、市内で働く看護師の確保にもつながる。市内で看護教育を受けられる体制を維持するため、看護学生への支援と看護学校への運営費補助を継続する。				

事務事業名	公的病院運営支援事業			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	88,473		88,473	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	88,473
目 的	二次救急や災害時等の拠点となる中核的な公的病院に対して、運営費を補助することにより、地域において必要な医療提供体制の確保及び充実を図る。				
取組内容・実績	柏崎総合医療センターにおける救急医療や小児医療等、経費が割高となる不採算分野の運営費に対し、補助金を交付した。 ・救急医療病床利用者数1,808人 ・小児専用病床利用者数74人				
成 果	柏崎総合医療センターが、地域の基幹病院として、救急医療や小児医療を始めとした地域に必要な医療を提供することができた。				
課題・今後の方向性	JA新潟厚生連は、厳しい経営状況にあり、現在、経営改革を進めているが、新潟県や病院所在市町村に対して更なる支援も要請している。今後も引き続き、財源となる特別交付税を最大限活用し、市民が必要とする医療を確保するため、柏崎総合医療センターの運営に対し支援をしていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	物価高騰等対策事業			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	89,608		57,275	32,333	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	57,275		0	0	0
目 的	病院及び診療所は、主な収益である診療報酬が公定価格のため、物価高騰の影響を価格転嫁できず、厳しい経営状況となっている。増大している負担に対して支援し、市内の医療提供体制を堅持する。				
取組内容・実績	5病院及び44診療所に対し、電気・ガス料金の高騰分を支援金として交付した。				
成 果	病院及び診療所の負担が軽減され、医療提供体制を維持することができた。				
課題・今後の方向性	目的達成により、令和5年度（2023年度）で事業を終了する。				

事務事業名	自殺予防対策事業			決算書 掲載ページ	262
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	817		486	0	331
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	279		0	0	207
目 的	市民一人一人の気付きと見守りを促し、心の健康づくりを推進する。 また、自殺対策行動計画改訂版に沿った取組を推進し、自殺率（人口10万人当たりの自殺者数）の低下を目指す。				
取組内容・実績	高校生、大学生、教職員、地域住民、介護従事者、市職員等を対象に、こころのゲートキーパー養成研修（40回、1,072人）を実施した。 また、SOSの出し方に関する教育を、市立の小学校10校、中学校3校の児童生徒（846人）を対象に実施した。				
成 果	ゲートキーパー研修やSOSの出し方に関する教育において、早期相談の大切さの理解を深めることができた。研修を通じて、自殺対策に関わる人材育成や資質の向上、関係機関等との連携を深めることができた。				
課題・今後の方向性	幅広い年代に対してゲートキーパー養成研修やSOSの出し方に関する教育を実施し、自殺予防の普及啓発活動を推進する必要がある。 また、自殺対策に関わる人材育成や関係機関との連携強化を図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	ひきこもり支援事業			決算書 掲載ページ	262
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	16,515		15,210	0	1,305
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,129		0	60	9,021
目 的	関係機関と連携して、学齢期から成人までの切れ目のない一貫した支援を展開し、ひきこもり当事者とその家族の相談に丁寧に対応しながら、自立を支援する。				
取組内容・実績	関係機関と連携し、59人(新規11人、継続48人)に継続的に支援を実施し、延べ1,501件の相談(電話、来所、訪問等)・対応を行った。あわせて、当事者交流会(5回)、居場所支援(20回)及び家族の会(9回)を開催した。 また、リーフレットやカードの設置を医療機関や介護事業所等に依頼し、事業の周知を図るとともに、ひきこもり支援講演会を企画し啓発に努めた。				
成 果	当事者のニーズに合った専門的な機関(医療機関、相談支援事業所、就労支援等)につながったケースのほか、就労や進学に結びついたケースがあった。 また、事業の周知を継続したことから、新たに11人の支援を開始することができた。				
課題・今後の方向性	ひきこもり当事者とその家族が相談につながるように、事業の周知を継続する。必要な就労支援や生活支援が受けられるように、専門機関と連携して支援を行う。 また、8050対応や若年層の支援のために、関係機関との連携が必要となる。				

事務事業名	母子健康診査費			決算書 掲載ページ	262
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	49,590		43,954	0	5,636
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,095		0	15	33,844
目 的	妊婦、乳児・幼児の健康診査を行うことにより、母と子の健康を保持する。				
取組内容・実績	母子手帳交付時に健康相談を333件実施し、妊婦健康診査は、実人数333人、延べ3,963人に実施した。乳幼児健康診査は、4か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児健診を集団形式で、6か月児健診を医療機関委託で実施し、延べ1,756人が受診(平均受診率98.0%)した。令和4年度(2022年度)に屈折検査を受ける機会がなかった令和元年度(2019年度)生まれの幼児132人に屈折検査を実施した。				
成 果	妊婦健康診査費の助成では、出産に係る経済負担を軽減することができた。 また、3歳児健診の受診者と、令和4年度(2022年度)に3歳児健診で屈折検査を実施できなかった幼児のうち希望者に対して屈折検査を行い、屈折異常の早期発見・早期治療につながった。				
課題・今後の方向性	疾病及び異常の早期発見、適切な指導並びに経済負担の軽減のため、1か月児健康診査費の助成を開始する必要がある。 屈折検査を導入したことで、弱視等の屈折異常の早期発見・早期治療につながっており、今後も事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

事務事業名	歯科保健事業			決算書 掲載ページ	264
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,284		2,970	0	314
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	296		0	0	2,674
目 的	乳幼児や妊婦に対して歯科健診、健康教育及び相談事業を行うことにより、むし歯予防や口腔の健康の保持を図る。				
取組内容・実績	出産前のパパママセミナー（1回目：歯科健診有り）の参加者は37人（参加率11.9%）、1歳6か月児歯科健診の受診者は355人（受診率97.3%）、「2歳児子育てと歯科相談」の参加者は78人（参加率20.9%）、3歳児歯科健診の受診者は384人（受診率100%）、フッ化物歯面塗布は1歳6か月児で341人（93.4%）、3歳児で342人（89.1%）であった。				
成 果	歯科健診や相談を通して必要な方へ受診勧奨を行うとともに、妊婦や乳幼児に対する口腔ケアの意識を高めることができた。 また、1歳6か月児と3歳児の歯科健診の際、フッ化物塗布を行うことで、効果的な塗布の機会を確保し、むし歯予防につなげた。				
課題・今後の方向性	食事や会話を楽しむため、歯や口腔の健康は重要であり、妊娠期や乳幼児期はその基礎を作る時期になる。今後も、妊婦や乳幼児を対象にした歯科保健事業を継続する必要がある。				

事務事業名	未熟児養育事業			決算書 掲載ページ	264
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,202		1,828	0	374
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	829		0	436	563
目 的	低体重や早産等で、身体の発育が未熟なまま生まれたことにより、入院養育が必要な乳児の健康保持のため、医療費の一部を助成する。				
取組内容・実績	出生時体重が2,000g以下又は医師の診断により、養育医療指定医療機関において入院療養が必要と認められた6人の入院医療費の一部を助成した。				
成 果	医療費助成をきっかけに、支援が必要なお子さんの情報が得られ、退院後も切れ目のない支援を継続することができた。				
課題・今後の方向性	未熟児は正常児と比べて疾病にかかりやすく、発育不良や心身の障害を残すことも多いため、出生後速やかに適切な医療処置が必要である。保護者にとって医療費の負担が大きいことから、事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

事務事業名	産後ケア事業			決算書 掲載ページ	264
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,696		3,297	0	2,399
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,015		0	0	1,282
目 的	退院直後の母子に対して、心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する。				
取組内容・実績	産婦健康診査では、延べ528人に助成した。産後ケア事業は、市外の2医療機関を加えた3医療機関に委託を行い、実人数2人、延べ7日間の利用があった。				
成 果	産婦健康診査時の産後うつ質問票を通じて、ハイリスク者の早期把握及び支援ができた。出産後、心身の負担が大きい時期に産後ケア事業が利用されることで、母子の安心につながった。				
課題・今後の方向性	産後うつ病の早期発見、早期支援のため、産婦健康診査の助成及び産後ケア事業を継続する必要がある。産後ケア事業は、多様化したニーズに応えるため、通所型等のメニューの拡大が必要である。				

事務事業名	妊産婦医療費助成事業			決算書 掲載ページ	264
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	20,585		17,324	0	3,261
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	17,324
目 的	妊産婦の医療費を助成し、経済的負担を軽減する。 また、妊産婦の疾病の早期発見と早期治療を促進し、安心して子どもを産み育てることができる環境をつくる。				
取組内容・実績	受給者証を330件交付し、17,143,900円分の医療費を助成した。				
成 果	妊産婦の経済的負担を軽減するとともに、受診の促進を図り、疾病の早期発見と早期治療に寄与した。				
課題・今後の方向性	子どもを安心して産み育てられるように、引き続き経済的負担を軽減する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	不妊治療助成事業			決算書 掲載ページ	266
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,500		3,373	0	2,127
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,373
目 的	不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減する。 また、不育治療も対象とすることにより、妊娠を希望する夫婦の治療の選択肢を増やし、安心して妊娠を望む環境づくりにつなげる。				
取組内容・実績	令和5年（2023年）4月から、不妊治療の助成対象に、生殖補助医療（体外受精、顕微授精等）のほか一般不妊治療を加え、実組数42組、延べ66件に対し、費用の一部を助成した。 また、不育治療の費用を1件助成した。				
成 果	不妊・不育治療を行う夫婦の経済的な支援につなげることができた。				
課題・今後の方向性	不妊・不育治療は、費用が高額になりやすく、また複数回実施が必要なケースも多いことから、妊娠を望む夫婦の経済的負担を軽減するため、事業を継続する必要がある。				

事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業			決算書 掲載ページ	268
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	02	予防費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	419,282		302,035	2,195	115,052
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	286,551		0	0	15,484
目 的	国が示す新型コロナワクチンの無料接種を行うことで、感染者の重症化リスクを減らし、感染拡大を抑制する。				
取組内容・実績	医療機関、医師会及び薬剤師会の協力を得てワクチン接種体制を構築し、接種を希望する市民に接種を実施した。				
成 果	ワクチン接種の実施により、新型コロナウイルス感染症の拡大及び感染症の重症化を防ぐことができた。				
課題・今後の方向性	感染拡大防止のため、継続してワクチン接種事業を行っていく。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	予防接種事業			決算書 掲載ページ	270
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	02	予防費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	134,396		119,948	0	14,448
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	80,000		0	11	39,937
目 的	予防接種法に基づく定期接種を実施し、感染症の発生、まん延、り患した場合の重症化を防止し、公衆衛生の向上と市民の健康保持を図る。				
取組内容・実績	予防接種法に基づく乳幼児の定期予防接種について、委託医療機関において個別接種を実施した。子宮頸がん予防ワクチンの未接種者2,656人（うちキャッチアップ接種の未接種者1,938人）に勧奨はがきを送付した。				
成 果	定期予防接種の接種時期に合わせ、接種券を送付し、費用を助成することで、感染症の予防に寄与することができた。 また、キャッチアップ接種対象者にはがきで接種勧奨を行い、接種につなげることができた。				
課題・今後の方向性	令和6年(2024年)4月から五種混合が追加されるため、スムーズに接種できるよう市民及び医療機関に周知を行う必要がある。 また、キャッチアップ接種の最終年度のため、周知啓発及び接種勧奨を進める。				

事務事業名	がん検診費			決算書 掲載ページ	270
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	116,197		103,803	0	12,394
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	132		0	5,326	98,345
目 的	がん検診、がん検診無料クーポンの配布による受診勧奨を行い、がんの早期発見・治療によって市民の健康寿命を延伸させる。				
取組内容・実績	5月から11月まで（乳がん検診・子宮頸がん検診は1月まで）検診を実施した。肺がん検診は12,067人、胃がん検診は3,997人、大腸がん検診は8,284人、乳がん検診は2,640人、子宮頸がん検診は2,302人、前立腺がん検診は2,722人が受診した。無料クーポン券での受診者は、乳がん検診が73人、子宮頸がん検診が34人だった。				
成 果	肺がん検診で4人、胃がん検診で8人、大腸がん検診で20人、前立腺がん検診で2人、子宮頸がん検診で1人、乳がん検診で10人にがんが見つかり、早期発見・早期治療につなげることができた。				
課題・今後の方向性	検診の必要性を周知して受診率の向上を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

事務事業名	歯科保健事業			決算書 掲載ページ	272
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,905		8,356	0	549
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,009		0	459	4,888
目 的	生涯を通じた歯や口の健康づくりを目指し、妊娠期、青壮年期、高齢期に対する歯周病予防と、子どもたちに対するむし歯予防の推進を図る。				
取組内容・実績	歯科健康相談を5回開催し、市民の歯科に対する相談に対応した。歯周病検診は、個別1,398人、集団346人が受診した。20歳、30歳、40歳、50歳、60歳の方に無料クーポンを配布し、446人が利用した。妊婦クーポンは103人、パートナークーポンは39人が利用した。 また、フッ化物洗口について保護者へ情報提供を行った。				
成 果	節目年齢の対象者や妊婦とそのパートナーに無料クーポンを配布することで、青年期の受診につなげることができた。フッ化物洗口についての情報提供により、保護者の理解の促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	歯科保健推進会議における委員の意見を反映し、妊婦の歯周病予防、青年期の歯科健診受診者の増加及び障がいのある方への相談対応に取り組んでいく必要がある。 また、歯周病検診のクーポン配布を継続し、定期的な歯科健診の定着を目指す。				

事務事業名	高齢者保健・介護予防一体化事業			決算書 掲載ページ	274
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,752		3,619	0	133
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	3,197	422
目 的	高齢者の自立した生活の実現と健康寿命の延伸を図るため、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を推進する。				
取組内容・実績	フレイル予防の健康教育を、通いの場コソコソ貯筋体操の155会場、1,630人に実施した。令和3年度(2021年度)、令和4年度(2022年度)の健診・医療未受診者かつ介護保険未申請の77歳(10人)に対して調査票と訪問による実態把握を実施し、必要な支援につなげた。高齢者健診受診者のうち、高血圧や心房細動を指摘された未受診者31人に対し受診勧奨を行い、27人が受診した。				
成 果	高齢者に対し、広くフレイル予防(オーラルフレイル)について啓発することができた。健診・医療未受診かつ介護保険未申請の健康状態不明者の健康状態を把握し、必要な支援につなげることができた。高齢者健診受診者のうち、高血圧や心房細動を指摘された未受診者への受診勧奨を行い、医療につなげることができた。				
課題・今後の方向性	引き続き介護予防、骨折予防について啓発を行い、フレイル予防への理解を深める必要がある。健康状態不明者を把握するとともに、高血圧や心房細動、糖尿病の重症化が心配される方を、適切な医療や支援につなぐことが必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-1 地球温暖化対策を進める

事務事業名	生活環境鳥獣対策事業			決算書 掲載ページ	276
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,593		341	0	1,252
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	30		0	0	311
目 的	人身及び物損被害の未然防止を図る。 また、第1種銃猟免許の取得費用を補助し、有害鳥獣捕獲の担い手（捕獲従事者）を確保する。				
取組内容・実績	生活に係る有害鳥獣被害対策を進めるため、大型鳥獣緊急捕獲事業等を行ったほか、捕獲従事者の確保のため、銃猟免許取得者2人に対して、合計61千円を補助した。				
成 果	有害鳥獣捕獲の担い手の確保を図るとともに、集落や市街地に出没する野生鳥獣の駆除やパトロールを行うことで、野生鳥獣による人身被害及び物損被害の未然防止につなげることができた。				
課題・今後の方向性	銃猟者の減少及び高齢化が進む中で、今後も継続して、捕獲従事者の担い手の人材確保を図る必要がある。野生鳥獣が増加傾向にあるため、市民に対して野生鳥獣に遭遇した場合の対処方法等の普及・啓発に努める。				

事務事業名	地球温暖化対策普及啓発事業			決算書 掲載ページ	276
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,184		5,063	0	121
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2,000	3,063
目 的	地球温暖化に対する問題意識の醸成や脱炭素型ライフスタイルへの転換を促し、市民が環境行動を実践できるよう意識啓発を行う。				
取組内容・実績	子どもの環境意識を育むため、小・中学校向け環境教育プログラムを2校34人、保育園・幼稚園向けエコ教室を8園延べ13回計510人、クリーンセンター見学時の講話を15団体556人に実施した。自動車の温室効果ガス排出を考えるノーマイカーウィーク&エコドライブモニターは、合計で4,147人が参加し、自ら取り組める対策を考える緑のカーテンには、31人が参加した。				
成 果	子どもの環境意識育成に関しては、保育園・幼稚園向けエコ教室の受講者数が大幅に増加した。 自動車の温室効果ガス排出については、ノーマイカーウィーク&エコドライブモニターにおいて約9.6tの削減効果があり、成果の公表等により環境への理解や関心を深めることができた。				
課題・今後の方向性	ゼロカーボンシティ推進戦略に基づき、市民や事業者に対して、脱炭素社会に向けた考え方や取組の周知・啓発を強化するとともに、産業分野の再生可能エネルギー導入促進に重点的に取り組む。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-1 地球温暖化対策を進める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2 『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	低炭素型設備機器導入補助事業			決算書 掲載ページ	278
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	60,313		59,728	0	585
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	45,947		0	5,046	8,735
目 的	市民や市内事業者に対して、温室効果ガス排出量削減に有効な高効率設備機器の導入を 促し、普及促進を図る。				
取組内容・実績	低炭素型設備の補助金により、燃料電池9件、太陽光発電+HEMS・定置用蓄電池6 件、HEMS・定置用蓄電池1件、高効率給湯器23件、EV28台、PHEV18台 が市民や事業者に導入された。 また、国の交付金を活用した補助金展開により、市民のエアコン650台が省エネ型エ アコンに買い換えられた。				
成 果	補助金による設備導入により、温室効果ガス排出量が推計で75.9t/CO2の削減 につながったほか、一般家庭における低炭素エネルギーの活用例を提示することによ り、創エネ・省エネの理解促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	ゼロカーボンシティ推進戦略に基づき、脱炭素に先導的に取り組む市民や事業者を支援す る補助制度を展開していく。				

事務事業名	次世代エネルギー活用検討事業			決算書 掲載ページ	278
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	20,063		20,012	0	51
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	15,000	5,012
目 的	本市が2035年に脱炭素社会を実現するために、あらゆる手法を調査検討し、市域全 体で脱炭素に向け、取組を進めることを目的とする。				
取組内容・実績	専門的知見を持つ委託事業者と共に、市民・事業者へのヒアリングやアンケートによ り、それぞれの脱炭素ニーズを把握した上で、2035年脱炭素社会に向けた本市の取 組や考え方を示すゼロカーボンシティ推進戦略を策定した。				
成 果	ゼロカーボンシティ推進戦略の策定により、2035年の脱炭素社会実現に向けた今後 の取組項目や将来構想等、本市の考えを示すことができた。				
課題・今後の方向性	ゼロカーボンシティ推進戦略を基に、産業分野における再生可能エネルギー導入促進に 重点的に取り組むほか、市民や事業者の脱炭素行動の促進を地球温暖化対策普及啓発事 業で取り組む。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	休日急患診療所管理運営費			決算書 掲載ページ	282
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	06	休日急患診療所費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,003		6,517	0	486
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	339	6,178
目 的	柏崎・刈羽地域の休日の歯科救急医療体制を整備することにより、市民の健康増進を図る。				
取組内容・実績	柏崎・刈羽地域の歯科救急医療施設として、歯科休日急患診療所を日曜日・祝日等に71日開設し、110人（うち健診9人）が受診した。				
成 果	歯科休日急患診療所の開設により、日曜日・祝日等における歯科診療体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	今後も、柏崎・刈羽地域の歯科救急医療施設として、急に歯科受診が必要になっても、市民が適切な処置を受けられるよう、歯科休日急患診療所を開設していく。				

事務事業名	休日・夜間急患センター運営費			決算書 掲載ページ	282
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	06	休日急患診療所費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	41,764		41,764	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2,160	39,604
目 的	休日・夜間の初期救急医療体制を確保する。				
取組内容・実績	休日・夜間急患センターと休日・夜間急患センター院外薬局の運営費を補助した。休日・夜間急患センターを延べ1,241人（314日開設）、院外薬局を延べ1,102人（314日開設）が利用した。				
成 果	一般の診療所が診察していない休日・夜間に、受診が必要になった際の初期救急医療体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	医師が高齢化し、従事する医師の確保が困難になることが想定される。初期救急医療体制を確保するため、センターを開設している柏崎総合医療センター、医師を派遣している柏崎市刈羽郡医師会等、関係機関と連携し、持続可能な実施体制の構築に向け、検討・協議していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源循環型社会を実現する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

事務事業名	ごみ減量化・リサイクル対策費			決算書 掲載ページ	286
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	51,313		43,951	0	7,362
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	40,000	3,951
目 的	循環型社会への移行を実現するため、ごみの発生抑制、資源の再使用と再利用により資源の有効活用を総合的に進め、3R（スリーアール）を推進する。				
取組内容・実績	各町内の資源物ステーションやリサイクルセンター等で分別収集した資源物4,788tを選別し、ペットボトル・プラスチック製包装容器・せんでい枝・廃乾電池等の種類ごとに事業者へ引き渡し、適正なリサイクル処理を行った。あわせて、ごみの分別徹底のほか、食品ロスの発生抑制に係る意識啓発に努めた。				
成 果	人口減少やペーパーレス化等によるごみ総排出量・資源物回収量の減少が続く状況において、前年度に続いて20%を超える資源化率を維持できた。				
課題・今後の方向性	燃やすごみに混ざれている資源物の分別の促進等、市民が無理なく取り組める3Rの推進に向けて、分別の必要性や理由、効果等の周知・啓発に努める。				

事務事業名	海岸清掃費			決算書 掲載ページ	286
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	20,298		19,760	0	538
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,934		0	0	12,826
目 的	海岸を清掃することで美化と危険な漂着物の早期発見を図る。				
取組内容・実績	4月から8月まで、委託事業者による人力清掃を87日間、ビーチクリーナによる機械清掃を96日間実施し、それぞれ108,040kg、9,720kgの海岸漂着物を回収した。 また、海水浴後の海岸清掃として9月から10月に機械清掃を13日間実施したほか、次年度の海水浴シーズンに向けた人力清掃を3月に12日間実施し、計17,990kgを回収した。				
成 果	全ての海岸を常にきれいな状態に保つことは困難だが、海水浴シーズンに焦点を当てた海岸美化と環境保全を実施することができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、国や県と連携しながら海岸の清掃と美化にできる限り努めるとともに、海岸清掃の取組が活性化するような意識啓発に努める。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源循環型社会を実現する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源循環型社会を実現する

事務事業名	資源物リサイクルセンター管理費			決算書 掲載ページ	286
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	20,862		18,528	0	2,334
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	15,464	3,064
目 的	資源の有効活用を進めるために、家庭から資源物を出しやすい施設の運営を行う。				
取組内容・実績	委託事業者による常駐スタッフの配置を含め、いつでも資源物を持ち込める回収拠点として、松波リサイクルセンター、西本町リサイクルセンター、佐藤池リサイクルステーションの3か所を述べ465日間開設し、延べ248,282人の利用を受け入れた。				
成 果	市民ニーズを捉えた施設運営により、資源物回収全体量の22.1%に当たる1,058,032Kgもの効率的回収を実現できた。				
課題・今後の方向性	新ごみ処理場建設工事に伴い休止する松波リサイクルセンターの機能補完と、更なる市民ニーズに応じた資源物回収を推進するため、佐藤池運動広場への新たなリサイクルセンターの設置を進める。				

事務事業名	ごみ収集委託費			決算書 掲載ページ	288
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	217,985		217,934	0	51
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	54,489	163,445
目 的	市の責務である一般廃棄物の適正処理に向け、家庭から排出される廃棄物を適正に収集運搬する。				
取組内容・実績	委託事業者による週3回の収集業務により、各町内のごみ・資源物ステーションから廃棄物・資源物を収集した。 また、粗大ごみは各家庭への個別対応により回収した。 ・燃やすごみ：10,949t ・燃やさないごみ：350t ・資源物：3,730t ・粗大ごみ：221t				
成 果	計画に基づく収集の徹底、生ごみ等の衛生対策を考慮した午前中の収集完了の徹底、柔軟な粗大ごみの個別回収等、市民生活に支障を来すことのない適切な廃棄物の収集運搬体制を維持・運営することができた。				
課題・今後の方向性	確実かつ適切な廃棄物収集体制を維持・運営することで、健全な市民生活を支えるとともに、市民が無理なく取り組めるごみの分別や収集体制の在り方を検討していく。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	ごみ処理施設整備事業			決算書 掲載ページ	290
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	219,340		210,291	0	9,049
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	8,163	202,128
目 的	オーバーホールや修繕により、ごみ処理施設・粗大ごみ処理施設の適切な処理機能を維持する。				
取組内容・実績	設備修繕計画に基づき、ごみ処理施設・粗大ごみ処理施設に係るプラント設備の定期的オーバーホールを実施し、適切な処理機能を維持した。				
成 果	ごみ処理不能の事態を招くことなく、ごみ処理施設・粗大ごみ処理施設の稼働を維持し、搬入された廃棄物の全てを処理できた。				
課題・今後の方向性	新ごみ処理場が稼働を開始する令和11年度（2029年度）まで、ごみ処理施設・粗大ごみ処理施設の計画的な健全性維持に努める。				

事務事業名	ごみ処理施設建設事業			決算書 掲載ページ	292
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	22,760		22,711	0	49
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,085		0	585	16,041
目 的	ごみ処理場の老朽化とごみ処理量の減少に対応するため、今後のごみ処理を見据えた施設規模や合理的・経済的な処理を実現する新ごみ処理場を建設する。				
取組内容・実績	事業者選定アドバイザー業務の委託事業者と共に、新ごみ処理場の機能に係る要求水準書や事業費見込みの詳細検討、建設予定地の地質調査及び液状化リスクの確認等を実施した。あわせて、事業者に向けた実施方針・要求水準書（案）の公表、パブリックコメント及び近隣町内会等への説明による意見聴取及びごみ処理場建設検討委員会の審議を経て、事業者選定に係る必要事項を決定した。				
成 果	令和6年度（2024年度）に実施を予定する新ごみ処理場の設計・建設・運営の公募型プロポーザルによる事業者選定の準備を整えた。				
課題・今後の方向性	令和6年度（2024年度）において、ごみ処理場に係る専門的知識やノウハウを有する設計・建設・運営事業者を選定し、令和11年（2029年）4月の新ごみ処理場共用開始に向け、令和7年度（2025年度）から新ごみ処理場の建設を進める。				

5 款 労働費

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源循環型社会を実現する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	ごみ最終処分事業			決算書 掲載ページ	292
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	78,028	68,661	0	9,367	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	19,715	48,946	
目 的	一般廃棄物最終処分場の適正運用及び管理を行う。				
取組内容・実績	委託事業者により、ごみ処理場で発生した焼却灰や焼却残渣等 ^{どんき} 2,922tを適切に埋め立てた。あわせて、浸出水の測定監視及び処理、発生ガスや放射性物質等の測定監視等の最終処分場の継続的管理を専門の事業者により実施した。				
成 果	市内の一般家庭等から収集した一般廃棄物全量の最終処分により、衛生的で健全な市民生活を支えることができた。 また、環境基準を厳守した監視・処理の徹底により、周辺地域に影響を及ぼすことのない最終処分場運営を継続した。				
課題・今後の方向性	埋立物が安定化するまで適正な管理・処理を継続するほか、埋立量の減少による最終処分場の稼働期間延長を見据えた設備更新や維持管理体制の検討及び計画化を進める。				

事務事業名	雇用促進事業			決算書 掲載ページ	298
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	9,792	9,009	0	783	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	0	9,009	
目 的	柏崎職安管内雇用促進協議会への負担金の支出や市内中小企業への採用活動支援補助金の交付を通して、管内の労働力の確保と若者の定着を図る。				
取組内容・実績	柏崎職安管内雇用促進協議会の事業費の一部を負担し、企業説明会（7月：高校3年生延べ200人、3月：大学生等39人）や大学生を対象にした若手社員と学生の交流会（企業5社、学生・社会人を含む26人）を実施した。 また、市内中小企業等に対して、採用活動にかかった経費への補助を行った（交付事業者数25社）。				
成 果	各企業説明会や交流会の開催により、地元企業の魅力を伝えることができた。 また、中小企業者等の採用活動を支援することで、地元での就職を促進することができた。				
課題・今後の方向性	今後も、市内中小企業に対し補助金を交付し、管内の労働力確保と若者の定着を図る。 また、柏崎管内の仕事を知ってもらい、若者の地元定着を促進するために、柏崎職安管内雇用促進協議会が運営しているホームページ「ジョブナビかしわざき」を通じて、より具体的な情報を発信していく。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	若年者就労支援事業			決算書 掲載ページ	298
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	9,804	9,694	0	110	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	0	9,694	
目 的	若者の職業マッチングの支援及び就労促進と雇用安定化を図る。				
取組内容・実績	ハローワーク柏崎と連携し、就労に関するワンストップ窓口「ワークサポート柏崎」を設置した。職業相談員を配置し、求人情報の提供、就労サポート相談、職業適性検査、就職支援セミナー等の就労支援を行った。 求職相談：1, 0 1 1件、セミナー回数：2 2回、5 7人参加				
成 果	専門知識を有する相談員の配置や就職支援セミナーを実施することにより、2 8人の相談者を就職につなぐことができた。				
課題・今後の方向性	相談実施の後、求人への応募活動までには至らない利用者も一定数いることから、セミナーの実施や他機関との連携を図りながら、利用者に合わせて支援を実施するよう努める。				

事務事業名	女性活躍推進事業			決算書 掲載ページ	298
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	1,550	800	0	750	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	700	100	
目 的	女性の能力発揮に資するよう、女性が働きやすい職場環境づくりを促すことにより、女性の活躍推進を図る。				
取組内容・実績	中小企業等女性活躍推進事業助成金制度について、企業訪問や企業向け説明会等において周知するとともに、ホームページやチラシ等で周知を図り、2事業所に交付した。				
成 果	中小企業等女性活躍推進事業助成金を交付することにより、女性専用のトイレの設置や子の看護休暇及び育児短時間勤務に係る就業規則の改正等、女性が活躍できる職場環境の整備に向けた取組を促進することができた。				
課題・今後の方向性	中小企業等女性活躍推進事業助成金の制度について周知を図るとともに、女性活躍の取組を推進するためのアドバイザーを企業等に派遣することにより、女性が活躍できる職場環境整備等を支援する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	障がい者活躍推進事業			決算書 掲載ページ	298
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	3,991	3,186	0	805	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	0	3,186	
目 的	障がい者雇用に積極的な企業からの経験やノウハウを活用し、障がい者雇用に取組もうとする事業者への支援を行い、障がいのある方の雇を促進する。				
取組内容・実績	障がいのある方の活躍推進に向けたセミナーの開催（11月：参加企業20社）や、事業所からの障がい者雇用に係る相談に対応する障がい者活躍推進アドバイザー事業（相談件数4件）を実施した。 また、国の障害者トライアル雇用の助成金を活用した市内事業所に対して、助成金を交付した（3社）。				
成 果	セミナーの開催により、企業に障がい者雇をより身近に感じてもらうことができ、企業と福祉事業所をつなぐ機会を創出できた。 また、障がい者活躍促進アドバイザーを派遣し、企業の相談対応を行うことで、企業の障がい者雇について支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	障がい者雇についての助言や相談を必要とする企業がアドバイザーを活用できるよう、引き続き、障がい者活躍促進アドバイザーの周知に努める。				

事務事業名	育児休業取得促進事業			決算書 掲載ページ	298
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	2,450	2,450	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	0	2,450	
目 的	男性の育児参画を促進し、男女が共に働きやすく、職業生活と家庭生活が両立できる職場環境の整備を図る。				
取組内容・実績	男性の育児休業取得促進事業奨励金制度について、企業訪問や企業向け説明会等において周知するとともに、ホームページやチラシ等で周知を図り、22件（事業主：3件、男性労働者：19件）交付した。				
成 果	男性の育児休業取得促進事業奨励金を交付することにより、中小企業等における仕事と家庭生活が両立できる職場環境の整備に向けた取組を促進することができた。				
課題・今後の方向性	男性の育児休業取得促進事業奨励金の制度について周知を図るとともに、ワーク・ライフ・バランスの取組を推進するための支援を行うアドバイザーを企業等に派遣することにより、男性の育児休業取得を促進し、中小企業等における仕事と家庭生活が両立できる職場環境整備を支援する必要がある。				

6 款 農林水産業費

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農業被害鳥獣対策事業			決算書 掲載ページ	306
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	環境課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,536		6,336	0	3,200
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,336
目 的	持続的な農業を目指すため、有害鳥獣捕獲、侵入防止柵の整備、担い手確保事業等を行い、野生鳥獣による農業被害防止を図る。				
取組内容・実績	有害鳥獣駆除として、イノシシ269頭、二ホンジカ15頭の駆除を行うとともに、農業被害のあった6集落に対して、新たに17,680mの電気柵を整備した。また、既設電気柵整備事業として、4件、376千円の補助金を交付した。鳥獣被害対策実施隊23人が延べ1,431時間の被害防止活動に従事した。				
成 果	イノシシ及び二ホンジカの駆除並びに電気柵等による侵入防止対策を進めることにより、農作物被害の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	繁殖率が高いといわれるイノシシ及び二ホンジカに対して、人口減少が進む社会に適応可能な野生鳥獣管理を進めるため、有害鳥獣対策を実施する担い手の確保やICT機器の導入を進め、効果的な被害対策に努める。				

事務事業名	農林水産業総合振興事業			決算書 掲載ページ	306
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	45,760		20,074	21,042	4,644
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	20,074		0	0	0
目 的	農業者の所得の向上と安定化を図るため、機械設備等に対する費用の一部を助成し、経営規模の拡大及び品質の向上とともに販路拡大を目指す。				
取組内容・実績	市内農業者5者に対して、総額20,074千円の補助金交付を行った。				
成 果	農林水産業総合振興事業交付金の交付により、農業者5者の生産活動の活性化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も市内農林水産業の活性化を図るため、継続して補助事業を行っていく。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	新規就農者育成支援事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,274		2,844	0	430
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,844
目 的	新規就農者の雇用創出や、農業法人等の人材育成を図る。				
取組内容・実績	国の事業「雇用就農資金」で採択を受けた農業法人に対して研修費の一部に補助金を交付した。				
成 果	5つの法人に対し、2,837,589円の補助金を交付した。				
課題・今後の方向性	新規就農者の雇用促進及び技術習得の支援のため、補助事業を継続して行う。				

事務事業名	青年就農支援事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,500		4,500	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,500		0	0	0
目 的	認定新規就農者に対して就農直後の不安定な経営状態を支援するための補助を行う。				
取組内容・実績	対象者4人に対し、合計4,500千円を交付した。				
成 果	補助金の交付により、就農直後の不安定な経営状態である新規就農者の経営安定化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も新規就農者の経営安定化を図る必要があることから、補助事業を継続して行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	園芸振興支援事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,738		7,179	0	1,559
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	408		0	0	6,771
目 的	<p>水稲生産だけでなく、園芸作物を生産することによる経営規模の拡大、作業効率及び品質の向上並びに販路拡大で、農業者の所得向上を図る。 また、高温・渇水対策を行うことで、園芸作物の収量・品質低下を緩和する。</p>				
取組内容・実績	<p>園芸産地拡大支援事業では、申請17件に対し6,568千円を補助、園芸作物等高温・渇水総合対策事業では申請5件に対し611千円を補助した。</p>				
成 果	<p>補助金の交付により、作業効率や品質の向上を図り、園芸作物の生産を推進することができた。 また、高温・渇水対策等への支援を行うことにより、猛暑による園芸作物の収量・品質低下を緩和し、農業者の被害を最小限に抑えることができた。</p>				
課題・今後の方向性	<p>今後も園芸作物の生産拡大を図る必要があることから、補助事業を継続して行う。 また、異常気象への対策等への支援を検討する必要がある。</p>				

事務事業名	六次産業化支援事業			決算書 掲載ページ	—
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,000		0	0	1,000
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	0
目 的	<p>六次産業化に必要な支援を行うことで、農業経営の多角化・複合化を図り、農業所得の多様化を促進する。</p>				
取組内容・実績	<p>丁寧に事業周知を行い、3者から事業化に向けた相談を受けた。</p>				
成 果	<p>令和6年度（2024年度）に取組を開始できるよう相談業務を継続した。</p>				
課題・今後の方向性	<p>六次産業化支援を推進することで、商品のブランド化、販路拡大が期待できるため、引き続き補助事業を行う。</p>				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	柏崎産米ブランド化推進事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	17,519		8,683	0	8,836
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	8,683
目 的	柏崎市認証米「米山プリンセス」を旗艦米とした多様かつ希少な柏崎産米を消費者に訴求し、米価の影響を受けない有利販売につなげ農業所得の向上を目指す。これにより、生産者のモチベーション向上にもつなげる。				
取組内容・実績	27農業者が令和5年(2023年)産柏崎市認証米「米山プリンセス」の生産に取り組み、このうち3者、1.3トンを認証した。 また、高温・渇水による米の等級低下に対応するため、「米山プリンセス」の認証を目指して生産され、等級以外の基準を満たした米を「米山プリンセス・シスター」として認証した。令和6年(2024年)産「米山プリンセス」のための土づくりを行った31農業者に対し、1,715,160円を助成した。				
成 果	令和5年(2023年)は夏の高温、渇水により、過去に例のない米の等級低下が見られたが、農業者の高い技術により「米山プリンセス」を認証できた。首都圏での販売会では、消費者へ直接「米山プリンセス」の特徴を伝えることができ、認知度の向上に寄与した。 また、農業所得の向上に向け、消費者から「米山プリンセス」を応援いただき、購入につなげるため、市内外で「米山プリンセス・シスター」を含むキャンペーンを行った。				
課題・今後の方向性	「米山プリンセス」認証制度がより農業者の所得向上や有利販売につながるよう、農業者及び関係者で意見交換を行い、推進体制の見直しを進めることとする。 また、農業者の更なる技術向上及び柏崎産米の付加価値の向上に向け、引き続き、米の全国コンクール等への出品料補助や「米山プリンセス」の取組に必要な機械機器の導入補助を行う。				

事務事業名	経営所得安定対策等推進事業			決算書 掲載ページ	312
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,769		10,458	0	311
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,182		0	0	276
目 的	経営所得安定対策推進活動に係る経費を助成することで、生産者の農業経営の安定を図る。				
取組内容・実績	主食用米の米価安定に資する経営所得安定対策等のほか、交付金の申請・相談事務、作付現地確認及び普及活動等、柏崎市地域農業再生協議会の活動経費を支援した。				
成 果	柏崎市地域農業再生協議会が行う経営所得安定対策等の申請相談事務に係る経費の一部を支援することにより、生産者の農業経営の安定につながった。				
課題・今後の方向性	引き続き経営所得安定対策等の推進活動に係る経費を助成することで、生産者の農業経営の安定を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農業者支援事業			決算書 掲載ページ	312
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	61,347		60,599	0	748
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	60,599
目 的	農業経営体の経営努力では避けられない原因による収入減少に対して支援することで、安定的な農業経営を下支えする。				
取組内容・実績	コシヒカリの生産に取り組む815の農家に対し、10a当たり4千円、総額60,468千円を給付した。				
成 果	給付金により、市内コシヒカリ生産者の今後の営農継続及び安定的な農業経営が図られた。				
課題・今後の方向性	令和5年度(2023年度)のみの事業ではあるが、近年の農業を取り巻く異常気象・自然災害等を注視しながら、必要な措置を研究する。				

事務事業名	環境保全型農業直接支払交付金事業			決算書 掲載ページ	312
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	17,195		14,018	0	3,177
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,493		0	0	3,525
目 的	温暖化対策や生物多様性保全等に取り組むことで、より環境保全に効果の高い農業の普及を推進する。				
取組内容・実績	308.35haの農地で環境保全型農業に取り組む1団体(44農業者)に対し、13,906,540円の環境保全型農業直接支払交付金を交付した。				
成 果	補助金の交付により、農業者の環境保全に対する意識醸成を図り、環境保全型農業を推進することができた。				
課題・今後の方向性	みどりの食料システム法に基づいた「新潟県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画」において、有機農業や堆肥の施用、長期中干し、秋耕、炭の投入等を行った温室効果ガス削減生産方式取組面積の拡大を掲げていることから、環境保全型農業に積極的に取り組むとともに、取組農業者数の増加に努める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	たん水防除施設改修事業			決算書 掲載ページ	316
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,200		2,144	0	56
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,144
目 的	改修工事を行い、たん水防除施設を適切に稼働させることにより、たん水被害から農業生産基盤を守り、被害を最小限に食い止める。				
取組内容・実績	長嶺排水機場に水位監視システムを設置した。 また、五十刈排水機場の外構補修を実施した。				
成 果	水位監視システムの導入や機場敷地内の外構補修により、たん水防除施設を安全かつ適切に稼働させることに寄与した。				
課題・今後の方向性	たん水防除施設を安全かつ適切に稼働させるために、操作に支障となる設備の改修や改良を継続して実施していく必要がある。				

事務事業名	農業施設改修事業			決算書 掲載ページ	316
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	73,710		63,898	0	9,812
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,296	62,602
目 的	農業用施設の改修・工事及び費用補助を行うことで、施設の機能を維持し農業生産基盤及び農業生活環境を確保する。				
取組内容・実績	農家組合等の団体が実施した修繕工事に対し、費用の一部を負担した。				
成 果	修繕工事費用の一部を負担したことにより、農家組合等の団体の費用負担を軽減し、農業基盤の確保に寄与した。				
課題・今後の方向性	集落における人口減少、高齢化が進んでいることから、適正な維持管理を継続していくための検討が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農用地高度化事業			決算書 掲載ページ	320
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,233		14,198	0	35
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	14,198
目 的	ほ場整備を行わない地域における意欲ある農業者を支援し、担い手の確保と地域農業の維持を図る。				
取組内容・実績	農地区画の拡大集積や附帯施設の改良等の事業11件に補助金を交付した。				
成 果	農用地の小規模な基盤整備等により、生産性の高い農用地が拡大し、作業の効率化や農業経営の安定化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	ほ場整備事業の導入の可能性を検討の上、ほ場整備事業の補完を前提として適用する必要がある。				

事務事業名	農村振興総合整備事業－上条			決算書 掲載ページ	320
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算 繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	123,200		116,146	0	7,054
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	75,600		33,100	0	7,446
目 的	上条地区の各種農業用施設の整備をすることにより、農業生産基盤及び農村生活環境の改善・向上を図る。				
取組内容・実績	集落道4路線の改良工事を実施した。 また、集落防災安全施設L=41.5mの設置工事を実施した。				
成 果	集落道4路線の改良及び集落防災安全施設の設置が進み、上条地区の農村環境の改善・向上に寄与した。				
課題・今後の方向性	上条地区の農村生活環境を早期に改善するため、関係機関と連携し、本整備事業を推進する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農村振興総合整備事業—田尻			決算書 掲載ページ	320
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	24,000		22,593	0	1,407
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,500		0	0	21,093
目 的	田尻地区の各種農業用施設の整備をすることにより、農業生産基盤及び農村生活環境の改善・向上を図る。				
取組内容・実績	田尻地区の各農業用施設整備を目的として、事業計画の策定業務を実施した。				
成 果	排水路2路線や集落道2路線及び地域資源利活用施設4か所の事業計画を策定することができた。				
課題・今後の方向性	田尻地区の農業生産基盤と農村生活環境を早期に改善するため、関係機関と連携し、本整備事業を推進する必要がある。				

事務事業名	多面的機能支払交付金事業			決算書 掲載ページ	320
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	219,754		219,697	0	57
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	163,050		0	0	56,647
目 的	地域の農地・農業用水等の資源の保全管理や農村環境の保全を図ること及び水路・農道等の農業用施設の長寿命化を進める。				
取組内容・実績	保全活動に取り組む92組織に、計217,399,568円を交付した。				
成 果	補助金の交付により、地域の農地の保全や農業用施設の長寿命化が図られた。				
課題・今後の方向性	今後も農地の保全や施設の長寿命化を図る必要があることから、継続して補助事業を行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農村整備事業			決算書 掲載ページ	320
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,000		7,384	0	616
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,450		4,000	0	934
目 的	農業用施設の改修工事を行うことにより、施設の機能を維持し、農業生産基盤及び農業生活環境の改善・向上を図る。				
取組内容・実績	農免農道高田線の舗装補修(L=91.0m)、法面補修(L=120.0m)を実施した。				
成 果	農道の舗装、法面補修により、農業生活環境の改善を図ることができた。				
課題・今後の方向性	交通量の増加や経年劣化による道路、法面の損傷が進んでいることから、継続的な補修を計画的に実施する必要がある。				

事務事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業			決算書 掲載ページ	320
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,600		6,230	0	370
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,100		0	0	130
目 的	豪雨等でため池が決壊した場合に人的被害のおそれがある「防災重点ため池」は、速やかにハザードマップを作成し、地域に応じた防災・減災対策を進める。				
取組内容・実績	防災重点ため池においては、4か所のハザードマップを作成した。				
成 果	ハザードマップを作成し、周辺住民に周知したことにより、地域における防災・減災についての啓発を進めることができた。				
課題・今後の方向性	地域の防災対策の一助となるようハザードマップを、市ホームページに掲載して市民に周知していく。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農業水利施設安全対策推進事業			決算書 掲載ページ	322
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,000		6,600	0	400
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,300		1,200	0	2,100
目 的	農業用排水路における水難事故への対策を行うことで、農業用施設の安全対策の推進を図る。				
取組内容・実績	春日排水路で転落防止柵(L=118.8m)の入替えを実施した。				
成 果	排水路の安全施設を入れ替えることにより、農業用施設の安全対策を図ることができた。				
課題・今後の方向性	農業用排水路安全施設の経年劣化が進んでいることから、計画的に入替えを実施する必要がある。				

事務事業名	水利施設整備事業			決算書 掲載ページ	322
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	20,570		18,810	0	1,760
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	13,357		0	0	5,453
目 的	国営造成施設の機能の維持を図る。				
取組内容・実績	柵ヶ原ダムのたわみ計及び水位計の更新工事を行った。				
成 果	柵ヶ原ダムのたわみ及び水位を継続して適切に観測することができた。				
課題・今後の方向性	国営造成施設の効用が発揮できるように計画的な改修・更新工事によって、国営造成施設を適切に管理していく。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	中山間地域等直接支払制度事業			決算書 掲載ページ	324
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	06	中山間地域振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	134,327		134,276	0	51
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	98,441		0	0	35,835
目 的	農業の生産条件が不利な地域における農業生産活動の継続によって、荒廃農地の増加を防止し、農業・農村の有する多面的機能の発揮の維持・促進を図る。				
取組内容・実績	25の集落協定に対し、130,233,855円を交付した。				
成 果	交付金により、中山間地域の農業及び住民活動の維持・発展が図られた。				
課題・今後の方向性	過疎高齢化が進む中山間地の担い手の確保及び農地の保全を継続して図る必要がある。				

事務事業名	林道整備事業			決算書 掲載ページ	328
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	25,676		25,675	0	1
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,575		0	0	15,100
目 的	雨等で傷んだ林道の補修工事を行い、林道利用者の通行の安全を確保し、林業振興及び林道の利活用の推進を図る。				
取組内容・実績	県の補助金を活用して、林道石曾根線L=54.4m、林道黒姫山線L=31.2mの道路改良工事、林道米山線の法面補修の測量設計業務委託1件及び林道橋6橋の点検調査委託を実施した。				
成 果	林道を整備することにより、木材運搬等の作業効率を向上することができた。				
課題・今後の方向性	経年劣化及び天災による被害により、改良・補修工事が必要な路線が多いことから、林道の利用状況に応じた整備が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	市有林造林事業			決算書 掲載ページ	328
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,155		6,092	0	63
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	762		0	0	5,330
目 的	市有林について、造林事業を行うことで、市民の財産として適切な管理を行う。				
取組内容・実績	西長島、石曽根、高柳町高尾及び鯨波地区の市有林において、下刈り、枝打ち、主伐等計2.47haの施業を行った。 森林整備の啓発のため、市有林にて森林整備の市民見学会を開催した。				
成 果	森林整備を推進することで、森林が持つ多面的機能の向上が図られた。				
課題・今後の方向性	市有林には、主伐に適した林齢50年以上の人工林が市有林の60%以上を占めており、今後も計画的に主伐、間伐を進めていく必要がある。				

事務事業名	森林経営管理事業			決算書 掲載ページ	330
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	34,870		33,179	0	1,691
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	33,179
目 的	適切に管理されていない森林において、林業経営に適した人工林は森林の施業を進めることによって、林業経営に適さない森林は天然林に樹種変更等を行うことによって森林整備を進める。				
取組内容・実績	雇用促進事業による柏崎地域森林組合への支援により2人の新規雇用があり、また、職員の定着が図られた。 林道黒姫山線の道路整備や維持管理を行った。 森林所有者から森林の管理を受託した範囲の間伐を高柳町岡野町地区で行った。継続して、経営管理権集積計画を作成するための測量や調査を行った。				
成 果	森林整備の担い手の中心である柏崎地域森林組合の雇用の促進を図ることができた。 また、経営管理権集積計画の作成や意向調査により、間伐の施業をすることができた。				
課題・今後の方向性	有効な財源である森林環境譲与税を活用し、人材の確保や森林整備を進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	かしわざ“木”の力発信事業			決算書 掲載ページ	330
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	712	254	0	458	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	254	
目 的	森林が持つ多面的機能の一つである健康への効果を山林ウォーク等で体験してもらうことで、市民に対し森林の良さの気付きを促す。 森林整備の状況並びに地域産木材の活用及び流通の状況を県内の先進地において研修する。				
取組内容・実績	森林親子ウォーキングを鯨波地区で開催し、参加した親子に森林の役割、林内の植物について説明し、伐採の状況を見学してもらった。 県内の先進地である村上市を「柏崎地区つなぐプロジェクト」のメンバーで視察し、今後の取組の参考となった。				
成 果	子どもたちが実際に木に親しんでもらう機会を提供することができた。 視察において、製材に適した効率の良い伐採方法が重要であることを学んだ。				
課題・今後の方向性	森林がもたらしてくれる様々な恩恵を周知することで、市民から森林保全の重要性を認識してもらい、林業についても興味を持っていただくとともに、森林や木材に触れる機会を創出し、木材の利用促進につなげていく必要がある。				

事務事業名	漁業就業者支援事業			決算書 掲載ページ	332
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	1,200	1,200	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	1,200	
目 的	新しく漁業を始める人を支援するとともに、漁船の購入を支援し、漁業者の増加を図る。				
取組内容・実績	2人の漁業者に対し、漁船の購入資金又は新規就業に係る経費を支援した。				
成 果	経済的支援により、漁業経営の安定化と新規就業につながった。				
課題・今後の方向性	引き続き、漁船の購入支援及び新規就業者に対する経済的支援を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	漁業者物価高騰支援事業			決算書 掲載ページ	332
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,180		1,392	0	788
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,205		0	0	187
目 的	物価高騰により負担が増加した経費の一部を助成することで、漁業者の経営維持を図る。				
取組内容・実績	物価高騰により負担が増加した費用の一部を助成した。				
成 果	費用の一部を助成することで、漁業経営の安定化につながった。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和5年度（2023年度）で事業を終了する。				

事務事業名	漁港整備補助事業			決算書 掲載ページ	334
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	04	漁港建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	152,014		133,363	14,720	3,931
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	64,450		58,000	0	10,913
目 的	海岸沿いの住宅を波の被害から守るため、護岸や離岸堤を深刻な被害を受ける前に工事し、施設の長寿命化を図る。 また、漁港内の浚渫 <small>しゅんせつ</small> を行い、漁船の航行の安全を図る。				
取組内容・実績	石地漁港海岸の海岸保全施設補修工事を行った。 また、荒浜漁港の浚渫 V = 8, 561 m ³ 及び笠島漁港の浚渫 V = 5, 298 m ³ 等を行った。				
成 果	漁港海岸保全施設を補修することで、施設の長寿命化、ライフサイクルコストの低減及び背後集落の住民の安全向上が図られた。				
課題・今後の方向性	老朽化した施設においては、ライフサイクルコストを低減するため、計画的に補修する必要がある。				

7 款 商工費

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	県信用保証協会負担金			決算書 掲載ページ	340
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	29,450	17,970	0	11,480	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	17,970	
目 的	市制度融資や新潟県制度融資の借入れに係る保証料の負担を軽減することで、中小企業者の資金繰りの安定と利便性を図る。				
取組内容・実績	市制度融資や新潟県制度融資を借り入れる際の信用保証料の一部又は全額を補給した。 ・補給件数 93件				
成 果	信用保証料を補給することにより、中小企業者等の資金繰りの支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	今後も市制度融資や新潟県制度融資について、中小企業者の資金繰り支援のため、適宜内容を見直ししながら補給を行っていく。				

事務事業名	制度融資利子補給金補助金			決算書 掲載ページ	340
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	12,436	9,760	0	2,676	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	9,760	
目 的	中小企業者の資金調達に係る利子の負担を軽減することで、資金繰りの安定を図る。				
取組内容・実績	意欲ある創業者や新型コロナウイルス感染症の影響等により、経営に支障を来している中小企業に対し、融資に係る利子の一部を補給した。 ・県セーフティネット資金経営支援枠（新型コロナウイルス感染症・物価高騰等対策特別融資又は新型コロナウイルス感染症・物価高騰等対策伴走支援型資金）利子補給 200件 8,975千円 ・創業資金利子補給 29件 785千円				
成 果	中小企業者の資金調達に係る負担を軽減し、資金繰りの安定を図ることができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、創業者や新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業者等に対し、資金繰りの支援を行っていく。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

事務事業名	商業活性化推進事業			決算書 掲載ページ	340
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,199		8,326	0	2,873
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	8,326
目 的	柏崎商工会議所、市及び業界団体で組織する「柏崎あきんど協議会」等が主催する商業活性化事業等を支援することで、柏崎地域の中小事業者の活性化を図り、本市の経済発展を推進する。 また、中心市街地商店街等が実施するイベント事業を補助することで、中心市街地の活性化を図る。				
取組内容・実績	あきんど協議会負担金及び商業活性化イベント補助金を支出し、中心商店街のイベントや新規需要創出を目的とした販売促進事業、空き店舗を利活用する創業者等の支援を行った。 ・はなまるクーポン事業 209店舗参加 ・空き店舗活用創業等支援事業 1店舗 ・あきんど支援事業 2団体 ・需要創出支援事業 5社 ・人材育成事業 4事業所等				
成 果	イベント事業による集客及び新たな需要創出等の支援により、市内商業の活性化を図ることができた。あわせて、創業者支援や事業者のスキルアップにつながった。				
課題・今後の方向性	商店街・個店の魅力向上の取組や情報発信方法の検討が必要である。消費動向調査から、中心商店街の利用状況を把握し、適切な施策を展開する。				

事務事業名	商工団体支援事業			決算書 掲載ページ	342
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,300		8,300	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	8,300
目 的	商工団体の事業実施を支援することで、柏崎市の商工業等の振興を図る。				
取組内容・実績	柏崎商工会議所及び柏崎市商工会が独自に実施する商工業者振興事業を支援した。				
成 果	商工団体の事業実施を支援することで、柏崎市の商工業等の振興に寄与した。				
課題・今後の方向性	商工業者の持続的な事業継続のために、地域生活に密着している商工団体への支援継続が必要となっている。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-2 起業・創業を支援する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	創業支援事業			決算書 掲載ページ	342
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,081		4,304	0	1,777
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,304
目 的	創業塾や相談会を行うことで、創業希望者を発掘する。 また、創業の基礎知識を学んだ上での創業を促すことで、創業率と事業継続性の向上を図るほか、創業に係る経費を補助し、創業の機運を高める。				
取組内容・実績	創業塾（柏崎・社長のたまご塾）や創業経営相談事業等の運営費補助を行った。創業塾の前期は13人、後期は12人が卒業した。 また、柏崎商工会議所の創業相談の利用者は年間18人であった。ほかにも、創業者を対象とした広告宣伝費や改装費の補助は13件、事務所の家賃補助は3件の利用があった。				
成 果	創業塾や相談事業、創業者への補助を行うことで、創業の機運を高めることができた。				
課題・今後の方向性	今後も創業塾のリモート受講体制、創業の支援制度等を周知することで、潜在的な創業希望者を掘り起こすほか、関係機関と連携し、創業者への支援を行っていく。				

事務事業名	地域ブランドづくり支援事業			決算書 掲載ページ	342
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,000		2,000	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,000
目 的	本市産品によるブランド力強化を図ることで、本市の認知度向上につなげ、シティセールスに貢献する。				
取組内容・実績	かしわざき広域ビジネス応援ネットワークが「N I I G A T Aみらいプロジェクト」と連携して実施する地域ブランドづくり支援事業へ補助金の交付を行った。 ・応募件数2件、採択件数2件				
成 果	自社商品の開発や既存商品のブラッシュアップを支援し、本市の地域ブランドづくりの促進に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	本市産品によるブランド力強化や販路拡大を図るため、事業内容の検討を行っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	工業振興事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	36,405		28,900	0	7,505
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	28,900
目 的	基幹産業であるものづくり産業の生産性向上、受注開拓及び人材確保を支援し、地域経済の拡大や好循環を図る。				
取組内容・実績	設備投資に対する支援として、企業振興条例に基づき26社・総額50,570,400円の固定資産税減免及び4社・総額834万6千円の奨励金の交付を行い、さらに、中小企業等経営強化法に基づく先端設備等導入計画を23社に認定した。受注開拓では、7社に見本市出展費用を助成したほか、8社と工業見本市「機械要素技術展」に出展した。人材確保では、大学生向けに延べ24社の企業見学を実施し、137人の参加を得た。				
成 果	先端設備等の導入促進による生産性向上を図るとともに、固定資産税の免除・軽減措置及び各種助成金の交付を行い、事業者の負担を軽減することにより、企業活動を支援することができた。 また、大学生を対象とした企業見学会及び企業研究会では、市内企業に目を向けて進路を考える機会を学生に提供することができた。				
課題・今後の方向性	脱炭素社会に向けた自律的な取組、物価高騰に耐え得る企業体質の実現、DX推進に対する意識向上等の変革が事業者には求められている。新たな技術を取り入れ、生産性を向上していくための先端設備の導入、新たな販路開拓、DXの推進等、経営基盤の強化に積極的に取り組む企業を引き続き支援する。				

事務事業名	人材育成支援事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,808		4,725	0	1,083
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,725
目 的	若者の地元企業への就職率や定着率を高め、産業界で力を発揮できる若手技能者の育成とものづくり技術の継承を推進する。				
取組内容・実績	ものづくりマイスターカレッジを開講し、受講者のうち11人が2級以上の技能検定に合格した。 また、柏崎工業高校2年生による52社でのインターンシップ、4社での実務体験を支援した。資格取得費や研修受講料を助成する高度技術者育成推進助成金は、21社・延べ109人に対して交付した。				
成 果	インターンシップ支援を通じた若者の地元企業に対する認知向上や、ものづくりマイスターカレッジを通じた若手技能者の育成・技術向上を図ることができた。 また、資格取得に係る助成金の交付により、職業能力やモチベーションを高め、生産性の向上や高付加価値化に取り組む市内事業者の積極的な人材育成を後押ししてきた。				
課題・今後の方向性	ものづくりマイスターカレッジによる技術指導や資格免許取得の推奨をすることで、優れたものづくり技術の継承を推進する。 また、特に若者に対して、インターンシップや実務体験を通じた地元企業の認知向上と理解促進を図り、将来のものづくり産業を担う人材の確保・育成に取り組む。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	新技術・新製品研究開発支援事業			決算書 掲載ページ	346
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,375		5,895	0	2,480
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,895
目 的	個々の技術に磨きを掛け、更に付加価値の高い製品づくりに向けて新たな事業展開に積極的に取り組む中小事業者を支援する。				
取組内容・実績	知的財産権取得支援助成金を7社延べ32件に対して交付した。 また、柏崎技術開発振興協会が実施するものづくりチャレンジ支援事業では、新製品開発や販路開拓に対する取組を3件支援した。				
成 果	中小製造事業者の新商品開発や販路開拓への挑戦を支援し、新たな価値創造の追求を後押しすることができた。 また、知的財産の保護や権利化により、競争力が強化され、新たな産業分野への参入を目指す中小製造事業者の成長を推進することができた。				
課題・今後の方向性	異なるヒト、モノやコトの融合により新しいアイデアやチャレンジが生まれる。多様性の時代の今、新たな価値創造の追求が必要である。産学官金との連携を通じ、新商品の開発や技術の高度化を支援するとともに、知的財産や国際規格の取得も推進していく。				

事務事業名	廃炉産業調査研究事業			決算書 掲載ページ	346
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,123		327	0	796
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	327
目 的	必ず廃炉となる将来を見据え、原子力発電所の長期にわたる廃炉工程を新たな産業の創出に結び付けるため、国、県、大学、電力事業者等で構成する勉強会で調査研究を実施する。				
取組内容・実績	将来的な原子力発電所の廃炉を見据え、廃炉産業創出に関する勉強会を2回開催し、廃炉の現状把握と情報共有を行った。うち1回は、原子力関連設備の設計・製造を行う業者の視察及び実際に廃炉が進む原子力発電所の視察を、市内事業者と共に実施した。				
成 果	廃炉産業創出に関する勉強会により市内関連業者の知見が更に深まり、廃炉措置に伴う具体的な受注方法等、ビジネスにつながる活発な意見交換がなされるようになった。				
課題・今後の方向性	廃炉産業の創出は、原発立地地域が抱える固有の政策課題である。将来に向けて市、地元企業、電力会社がそれぞれの立場で主体的な取組を進める必要がある。 また、国において、原子力発電所の運転期間を原則40年、最長60年とした「40年ルール」を改め、60年超の運転を可能にする制度改正が行われたことから、廃止措置決定までの期間が不明瞭となり、事業者のモチベーション維持が課題となっている。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	I o T推進事業			決算書 掲載ページ	348
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,986		6,533	0	4,453
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,266		0	3,267	0
目 的	産学官金で構成する柏崎市DX推進ラボにおいて、市内企業への設備導入支援やデジタル人材の育成について推進する。				
取組内容・実績	柏崎市DX推進ラボでは、デジタル化啓発・相談事業、デジタル技術活用実践事業、デジタル人材育成・確保事業の3つを軸に活動を行った。設備導入に関する補助事業やセミナーの開催、人材育成に関する講座の実施等、DX推進に関する施策を展開することで市内企業を支援した				
成 果	柏崎市DX推進ラボが実施する各種事業により、ものづくり産業を始めとする市内事業者のDXが推進された。 また、DXを取り入れることの重要性や、市内事業者における取組を周知することにより、DXに対する考え方の改善や、取り組むまでの心理的ハードルを下げる事ができた。				
課題・今後の方向性	国内でもDX推進に取り組む企業は徐々に増加しており、市内でもDXに対する意識は向上しているものの、市内全体に波及している状態ではない。引き続き、柏崎市DX推進ラボで実施する事業の周知方法や関係者との連携について見直しを図り、DXについて啓発や人材育成を進める必要がある。 また、デジタル化についても考え方に差があるため、それぞれの事業者が選択できる周知方法を継続する必要もある。				

事務事業名	事業構造強化促進事業			決算書 掲載ページ	348
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算 繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	114,733		37,636	30,000	47,097
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	54	37,582
目 的	脱炭素社会やカーボンニュートラルの実現に向けた動きが急激に加速する中、基幹産業である製造業が経済社会の変化に対応し、更なる成長に向けた新分野展開、事業転換又は業態転換の実現を図るための製造業戦略的イノベーションを推進する。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも国の雇用調整助成金等を受給し、雇用を維持する製造事業者1社に対して48,970円の奨励金を交付した。 また、市内製造業の事業者に対し、新分野展開や事業転換に取り組むために必要な最新技術動向等を提供するための次世代技術研修会を全2回開催した。新分野展開や事業転換に積極的に取り組む企業への補助事業では、事業計画2件を採択した。 また、令和4年度(2022年度)に事業採択した新分野展開や事業転換に取り組む企業の事業計画3件に対し、37,533千円の補助金を交付した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、雇用を維持しようとする企業の人件費や固定費等の負担軽減を図ることができた。新分野展開や事業転換に積極的に取り組む企業に対して研修会での情報提供や補助金の交付により、事業者の前向きな変革を支援することができた。				
課題・今後の方向性	脱炭素やカーボンニュートラルへの動きが加速する中で、基幹産業である製造業が経済社会の変化に対応し、更なる成長に向けた新分野展開や事業転換に取り組む企業を引き続き支援する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-3 企業誘致を進める

事務事業名	原油価格・物価高騰等緊急対策事業			決算書 掲載ページ	348
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	85,481		63,590	21,891	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	60,311		0	0	3,279
目 的	原油・原材料価格高騰の影響を受けている市内事業者の負担を軽減するため、補助金による支援を実施する。				
取組内容・実績	エネルギー価格の高騰に耐え得る企業体質への転換を後押しするため、省エネ設備の導入に関する補助金を98件交付した。 また、省エネ設備の導入に関する補助金については、追加予算を計上し、令和6年度(2024年度)も本事業を継続している。				
成 果	補助事業及び助成事業により、市内事業者が抱える負担を一定程度軽減することができた。				
課題・今後の方向性	今後も物価の上昇や高止まりが見込まれるため、引き続き事業者への支援を検討していく必要がある。				

事務事業名	企業立地事業			決算書 掲載ページ	348
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	213,051		193,945	11,294	7,812
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	3,266	190,679
目 的	企業誘致により、雇用機会や税収の確保、地域産業の活性化による本市経済の持続的な発展を目指す。				
取組内容・実績	産業団地適地調査により選定された鯨波地区を対象に、産業団地造成に向けた基本構想策定業務を実施した。 また、新規企業立地事業者(6社)へ企業立地促進助成金を交付した。				
成 果	基本構想策定業務の業務期間を令和6年(2024年)7月31日までとしているため、今後、当市の自然条件の抽出や開発エリアの設定等について委託業者と議論を交わし、基本構想の策定を行う。				
課題・今後の方向性	産業団地造成には多くの経費や期間が必要となることから、様々な可能性についてスピード感をもって進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	地域活性化イベント支援事業			決算書 掲載ページ	350
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,300		3,300	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,300
目 的	柏崎地域のにぎわいに寄与するイベントを支援することで、本市への誘客・認知度向上につなげ、地域活性化に貢献する。				
取組内容・実績	「かしわざき風の陣」の実行委員会へ、1,800千円の補助金を交付した。 「どんGALA!まつり」の実行委員会へ、1,500千円の補助金を交付した。				
成 果	「かしわざき風の陣」が2年連続で、「どんGALA!まつり」が4年ぶりに開催されたことにより、柏崎の元気・楽しさを市内外に発信し、地域の活性化に貢献することができた。				
課題・今後の方向性	両イベントとも、実行委員会の経済的環境の悪化やマンパワーの低下が顕在化しているが、事務局体制の再構築等に取り組み始めており、更なる組織体制の強化・充実や自己資金の確保に向け、協議を進めていく必要がある。				

事務事業名	海水浴場環境整備費			決算書 掲載ページ	352
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	39,394		37,137	0	2,257
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	37,137
目 的	海水浴場利用者の利便性向上と、安全対策に努める。				
取組内容・実績	市内5海水浴場でライフセーバーによる監視を実施した。 また、仮設トイレ6基の設置、海水浴場駐車場及び管理棟の清掃委託等、環境整備に取り組んだ。 ・海水浴客数 327,530人 ・救護実績(監視期間中) 軽傷303件 重傷0件 病院送致1件 計304件 ・ライフセーバーの監視人数 63人(延べ442人)				
成 果	監視期間中において、海水浴中の溺水、軽傷等に対して迅速に対応する体制を整備したため、重大な事故を未然に防ぐことができた。 また、トイレや管理棟の清掃及び管理を行うことで、海水浴客の利便性が向上した。				
課題・今後の方向性	不足しているライフセーバーの人材確保のため、業務環境改善に加え、市外からの人材募集等の営業活動を実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	登山道遊歩道整備事業			決算書 掲載ページ	354
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	37,512		28,357	0	9,155
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	28,357
目 的	登山道や遊歩道の整備を行い、利用者にとって安全で快適な環境を提供する。				
取組内容・実績	米山登山道大平口におけるバス駐車場及び休憩施設整備に係る設計、用地測量並びに物件調査算定を行った。 また、米山山頂避難小屋の柱補強及び東側扉の修繕並びに山頂公衆トイレのバイオマス浄化槽の健全性等に関する点検調査を行った。さらに、御野立トンネル封鎖工事をするための設計業務を行った。				
成 果	米山登山道大平口におけるバス駐車場及び休憩施設整備に向けた基本設計資料並びに地権者交渉に向けた資料を整えることができた。 また、米山山頂避難小屋の健全性を確保するとともに、山頂公衆トイレのバイオマス浄化槽の汚泥引き抜き処理を速やかに実施する必要があることが分かった。さらに、御野立トンネル封鎖工事に向けた基本設計資料を整えることができた。				
課題・今後の方向性	米山登山道大平口におけるバス駐車場及び休憩施設整備に向けた地権者交渉を速やかに実施していく必要がある。 また、米山山頂公衆トイレを継続して使用していく上で、バイオマス浄化槽の汚泥引き抜き処理を早急に行う必要がある。さらに、御野立トンネル封鎖工事も速やかに実施していく必要がある。				

事務事業名	情報発信・商品開発戦略事業			決算書 掲載ページ	354
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,723		4,702	0	21
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,702
目 的	観光誘客促進の取組を通じて、関連する観光産業等を活性化させる。				
取組内容・実績	市内三庭園（松雲山荘、秋幸苑（飯塚邸）及び貞観園）を中心とした観光素材のPRを強化し、ツアー誘致を展開した。 ・ツアー誘致6社21件 市内宿泊事業者との連携による宿泊割引キャンペーンを実施し、閑散期における宿泊需要の取り込みに取り組んだ。 ・利用宿泊者858人				
成 果	三庭園を中心とした観光ツアー誘致及び宿泊割引キャンペーンに取り組んだことで、観光消費を生み出し、観光産業の活性化に寄与することができた。 ・ツアーによる市内直接消費額 3,952千円 ・キャンペーンによる市内宿泊消費額 11,334千円				
課題・今後の方向性	市外・県外旅行会社との新たな連携構築を進め、日帰り及び宿泊ツアー誘致を促進する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	観光振興経費			決算書 掲載ページ	354
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	47,097	46,680	0	417	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	34	46,646	
目 的	柏崎市への誘客・宣伝活動を展開して、観光客の誘客につなげていく。				
取組内容・実績	観光関連団体に対し負担金を支出し、連携を図りながら、誘客・宣伝活動を行った。				
成 果	5月の新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えながら、関係団体との連携により観光産業の維持や活性化に寄与することができた。 また、行政と関係団体の連携の在り方・役割分担についても、協議・検討を進めることができた。				
課題・今後の方向性	ウィズコロナ・アフターコロナにおける本格的な観光産業の復活を見据えながら、その一層の振興と当市への観光誘客の増加を図るため、行政と関係団体の連携を強化・推進していく必要がある。 また、引き続き、柏崎市観光ビジョンに基づいて、行政と関係団体の連携の在り方・役割分担を検討していく必要がある。				

事務事業名	ぎおん柏崎まつり事業			決算書 掲載ページ	354
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	44,178	43,968	0	210	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	11,011	32,957	
目 的	柏崎市最大のイベントである「ぎおん柏崎まつり」及び越後三大花火として全国的にも知名度がある「海の大花火大会」を安全かつ盛大に開催する。				
取組内容・実績	マーチングパレード及び海の大花火大会を開催した。 【人出】 ・マーチングパレード 1,218人 ・海の大花火大会 170千人				
成 果	マーチングパレード及び海の大花火大会を安全かつ無事に開催することができたことで、柏崎の元気を市内外に発信し、地域の活性化に貢献することができた。				
課題・今後の方向性	海の大花火大会の観覧者及び運営規模が増加している中で、花火大会の安全性を確保していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	えんま市花市運営事業			決算書 掲載ページ	356
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	18,696		18,555	0	141
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2,279	16,276
目 的	200年以上の歴史や伝統があるえんま市の来場者及び出店者の安全確保や利便性の向上を図る。 また、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、感染症の拡大防止に努めるとともに、コロナ禍前の規模で開催することを目指す。				
取組内容・実績	【えんま市】 ・露店出店数 408店 ・来場者数(3日間) 296,702人 【花市】 令和5年度(2023年度)から花市の開催を中止とした。				
成 果	新型コロナウイルス感染症が第5類に引き下げられたことに伴い、露店出店者の対象を県内外とし、飲食に関する制限(食べ歩き・飲み歩きの禁止、アルコールの提供禁止等)は特に行わなかった。 また、えんま市期間における来場者数は、過去最高を記録した令和4年(2022年)の280,749人を上回り、296,702人という結果となった。				
課題・今後の方向性	コロナ禍前と同規模の開催に伴い、来場者数が増加している中で、安全対策や周辺の警備等に更なる改善が必要となる。				

事務事業名	松雲山荘整備費			決算書 掲載ページ	358
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,133		9,385	0	748
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,512		0	0	4,873
目 的	日照確保のための樹木伐採や干渉し合っている枝の剪定及び樹勢回復のための土壌改良を行うことで樹木の長寿命化を図り、通年観光の拠点及び秋の市内観光の目玉としての価値を高める。 また、松雲山荘施設の設備管理を行うことで安全性の確保及び景観の維持を図る。				
取組内容・実績	樹木伐採及びモミジの土壌改良を実施した。				
成 果	松雲山荘の安全性確保に加え、景観保全及び庭園の魅力向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	施設設備の老朽化及び樹木の劣化に対応していく必要がある。 また、土壌改良を施したモミジの色づきに関して、長期的に注視していく。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	インバウンド推進事業			決算書 掲載ページ	358
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,000		1,000	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,000
目 的	インバウンド推進事業を通して交流人口を拡大させることで、地域経済を活性化させるとともに、住民が誇りや愛着を持てる地域づくりを実現することを目指す。				
取組内容・実績	公衆無線LAN（ポケットWi-Fi）の貸出しを実施した。 また、台湾・香港向け日本観光情報サイト「ラーチーゴー！日本」において、情報発信を行うとともに、2月末に当該サイトページ情報のリニューアルを図った。				
成 果	メインターゲットである台湾・香港に向けて、柏崎の観光をPRできた。				
課題・今後の方向性	柏崎ならではの観光素材を活用したツアー商品造成及び販売を行い、インバウンド観光客の増加を図る必要がある。				

事務事業名	新たな海の柏崎モデル事業			決算書 掲載ページ	358
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,047		13,350	0	697
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	400		0	4,157	8,793
目 的	海辺でのキャンプ、バーベキュー、マリンスポーツ、ビーチスポーツ、海洋生物観察等が楽しめる環境を整備し、海水浴を中心とした夏季の観光からの転換を図る。				
取組内容・実績	キャンプ、バーベキュー、マリンスポーツ、ビーチスポーツ、海洋生物観察等を楽しむことができる環境を整備した。 ・利用者数 番神自然水族館 651人 かしわざきセントラルビーチ 2,074人				
成 果	多くの市民及び観光客に海辺でのキャンプ等を楽しんでいただき、これまでになかった体験を提供することができた。 また、柏崎の海は美しく、多様な生物が生息していることを知ってもらう機会とすることができた。				
課題・今後の方向性	環境を生かしたアクティビティを展開し、安定的・継続的な運営の確立に取り組んでいく。				

8 款 土木費

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	道の駅風の丘米山整備事業			決算書 掲載ページ	360
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	道の駅「風の丘米山」整備推進室	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	53,072		52,816	0	256
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	26,367		0	0	26,449
目 的	一定の集客力を有する日本海フィッシャーマンズケープの一部を道の駅に加え、民間と連携して道の駅「風の丘米山」の再整備を進めることで、集客効果を促進し、魅力ある柏崎市の観光拠点を構築する。				
取組内容・実績	道の駅「風の丘米山」の再整備に向けて、プロポーザル方式により基本設計業務受託者を選定し、用地測量、地質調査、造成及び建築基本設計を連携先である民間事業者との協議を重ねながら行った。				
成 果	再整備後の道の駅全体の基本設計を取りまとめた。				
課題・今後の方向性	再整備後の道の駅「風の丘米山」に隣接する商業地に建設予定であり、現在、検討が進められている新たな商業施設の規模や営業形態等との整合性を図る必要がある。令和6年度（2024年度）の実設計の中で、民間事業者と協議を重ねながら、新たな商業施設を含めた道の駅全体の具体化に取り組む。				

事務事業名	住まい快適リフォーム事業			決算書 掲載ページ	370
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	01	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	50,289		49,452	0	837
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	633		0	0	48,819
目 的	市民が快適に安心して暮らせる居住環境の維持及び向上並びに本市への移住定住の促進を図る。あわせて、市内住宅関連産業の活性化を促進する。				
取組内容・実績	住宅のリフォームを実施した287件（そのうち子育て世帯分15件、二世帯分25件）に補助金を交付した。また、空き家のリフォームを実施した6件に補助金を交付した。				
成 果	住宅のリフォームを行うことにより、市民の居住環境の向上及び空き家を有効活用した移住定住の促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	リフォームによる居住環境の向上を望まれる方が多く、引き続き必要な支援を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	空き家対策事業			決算書 掲載ページ	372
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	01	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	69,717		53,933	0	15,784
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	21,883		0	3	32,047
目 的	空き家の所有者に行政指導を行うことにより、市民の良好な生活環境の保全を図る。 また、空き家バンク事業を行うことにより、空き家の活用を促し、管理不全な空き家の発生を防止する。				
取組内容・実績	特定空家の適正管理を促す指導・助言27件、勧告24件を行い、16件の特定空家を削減できた。 また、空き家の有効活用として空き家バンクの新規登録件数は25件で、13件の成約があった。				
成 果	行政指導により、特定空家を削減し、良好な生活環境を保全することができた。 また、空き家バンクの成果により、空き家を利活用することができた。				
課題・今後の方向性	所有者に行政指導を継続して行い、特定空家の削減を図るとともに、空き家バンクによる利活用を推進する。 また、所有者の管理者意識を醸成するために、適切な情報提供と広報活動を行っていく必要がある。				

事務事業名	道路管理費			決算書 掲載ページ	376
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	160,125		144,298	0	15,827
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	522	143,776
目 的	道路を適切に管理し、人や車が安全に通行できる環境を整備する。				
取組内容・実績	市道実延長1,156kmについて業務委託により補修作業を実施した。 また、トンネルの電気料やアスファルト合材等の原材料購入費を支出した。				
成 果	道路施設の適切な管理により、安全で安心な道路交通を確保することができた。				
課題・今後の方向性	安全で安心な道路交通確保のために、今後も継続して道路施設を適切に管理していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	道路修繕事業			決算書 掲載ページ	378
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	313,118		301,838	6,926	4,354
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		216,600	30,000	55,238
目 的	道路施設の補修工事を行うことにより、安全な道路網を確保する。				
取組内容・実績	道路補修工事を14件、舗装補修工事を20件、側溝補修工事を64件、橋りょう補修工事を7件実施した。				
成 果	道路施設の補修工事により、安全な道路網を確保することができた。				
課題・今後の方向性	安全な道路網を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

事務事業名	道路舗装修繕事業			決算書 掲載ページ	378
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	151,000		149,336	0	1,664
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		149,200	0	136
目 的	幹線市道の舗装補修工事を行うことにより、安全な道路網を確保する。				
取組内容・実績	舗装補修工事を17件実施した。				
成 果	幹線市道の舗装補修工事により、安全な道路網を確保することができた。				
課題・今後の方向性	安全な道路網を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	除雪経費			決算書 掲載ページ	378
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	117,031		97,172	0	19,859
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	97,172
目 的	冬期間の安全で快適な道路交通を確保する。				
取組内容・実績	新規に除雪車2台をリース契約により調達し、市道除雪に使用した。 また、町内会が実施した道路除排雪について経費の75%を補助した。				
成 果	除雪車のリースによる調達で市道除雪に必要な機材が確保され、冬期間の道路交通を維持することができた。 また、町内会が実施する道路除排雪について、157町内会に対して補助することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通確保のために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

事務事業名	除雪経費（社会資本整備総合交付金事業）			決算書 掲載ページ	378
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	588,319		483,773	0	104,546
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	84,658		0	0	399,115
目 的	冬期間の安全で快適な道路交通を確保する。				
取組内容・実績	市が実施する除雪路線延長である642.7kmについて除雪事業者に委託し、冬期間における道路交通を確保した。				
成 果	除雪事業者に委託したことにより、冬期間の道路交通を維持することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通確保のために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	消融雪施設整備事業（社会資本整備総合交付金事業）			決算書 掲載ページ	380
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算 繰越明許予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	131,476		115,793	0	15,683
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	68,984		43,100	0	3,709
目 的	消融雪施設の整備工事を行うことにより、冬期間の道路交通を確保する。				
取組内容・実績	消雪パイプ用の井戸の掘り換え工事を2件、消雪パイプの打ち換え工事を5件実施した。繰越事業においては消雪パイプの打ち換え工事を1件実施した。				
成 果	消融雪施設の整備工事により、冬期間の道路交通を確保することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

事務事業名	除雪車購入国庫補助事業			決算書 掲載ページ	380
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	26,336		25,003	0	1,333
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	16,668		4,400	3,841	94
目 的	除雪車を計画的に更新し、修理費の削減や機械性能の向上により、安全な除雪体制の維持を図る。				
取組内容・実績	国庫補助事業により除雪ドーザ14t級1台を購入した。				
成 果	老朽化した除雪車を更新したことにより、冬期間の道路交通を確保することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通確保のために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	除雪車購入市費事業			決算書 掲載ページ	380
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	88,638		88,638	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	30,000		0	0	58,638
目 的	除雪車を計画的に更新し、修理費の削減や機械性能の向上により、安全な除雪体制の維持を図る。				
取組内容・実績	除雪ドーザ11t級1台、8t級1台、ロータリー除雪車2.2m級1台を購入した。				
成 果	老朽化した除雪車を更新したことにより、冬期間の道路交通を確保することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通確保のために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

事務事業名	小型除雪機購入費補助金			決算書 掲載ページ	380
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,960		4,960	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,960
目 的	大型除雪車が入れない袋小路や狭い道路について、小型除雪機の購入補助を実施することにより地域住民による除雪を推進する。				
取組内容・実績	12件の小型除雪機械の購入に対して補助した。				
成 果	補助金の交付により整備した小型除雪機で、狭い市道等を地域住民で除雪したことにより、冬期間の道路交通を維持することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通確保のために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	交通安全施設修繕事業			決算書 掲載ページ	380
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算 繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	86,496		77,541	7,558	1,397
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	32,000		30,800	0	14,741
目 的	交通安全施設等を新設・更新することにより、道路交通安全の安全・安心を確保する。				
取組内容・実績	区画線設置工事を9件、照明設置工事を12件、防護柵設置工事を12件実施した。繰越事業においては路肩拡幅工事を1件実施した。				
成 果	交通安全施設等を新設・更新することにより、歩行者等が安全に通行できるようになり、道路交通安全の安全・安心を確保することができた。				
課題・今後の方向性	道路交通安全の安全・安心を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

事務事業名	交通安全施設修繕事業（社会資本整備総合交付金事業）			決算書 掲載ページ	380
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	19,424		17,059	0	2,365
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	8,758		6,400	0	1,901
目 的	路肩拡幅工事や歩道新設工事を行うことにより、歩行者の安全を確保する。				
取組内容・実績	市道柏崎7-104号線の路肩拡幅工事を実施した。				
成 果	交通安全施設等を新設・更新することにより、歩行者等が安全に通行できるようになり、道路交通安全の安全・安心を確保することができた。				
課題・今後の方向性	道路交通安全の安全・安心を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	橋りょう・トンネル修繕事業（道路メンテナンス事業）			決算書 掲載ページ	382
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算 繰越明許予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	307,155		295,838	0	11,317
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	150,050		93,200	0	52,588
目 的	橋りょうやトンネルの損傷を調査し、修繕工事等を行うことにより、安全な道路網を確保する。				
取組内容・実績	橋りょうの修繕工事を18件、修繕設計委託を4件、点検委託を5件、横断歩道橋点検委託を1件、橋りょう塗膜にあるPCBの廃棄物運搬委託を1件実施した。 また、トンネルの点検委託を1件実施した。繰越事業においては橋りょう修繕工事を2件、トンネル修繕工事を1件実施した。				
成 果	橋りょうやトンネルの修繕工事を実施し、長寿命化を図ることにより、歩行者や車両の通行の安全を確保することができた。				
課題・今後の方向性	安全な道路網を確保するために、市道橋・トンネルを5年の周期で計画的に点検し、その結果に応じた修繕を行うことにより、施設の機能を維持する必要がある。				

事務事業名	道路新設改良市費事業			決算書 掲載ページ	382
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路河川課	
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	115,440		88,424	17,000	10,016
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	10	88,414
目 的	道路改良事業を行うための調査・測量設計を行い、生活環境の整備や交通の安全対策を推進する。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・市道柏崎3-6号線他17路線の測量設計調査 ・市道柏崎7-9号線他8路線の土地調査測量 ・市道柏崎7-9号線他4路線の物件調査算定 ・市道柏崎11-107号線他1路線の道路工事				
成 果	改良予定路線の調査・測量を行うことにより、生活環境の整備や交通の安全対策を推進することができた。				
課題・今後の方向性	未改良の道路が多く残っていることから、今後も計画的に事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	道路新設改良地方道路等整備事業			決算書 掲載ページ	382
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路河川課	
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	280,300		250,537	12,000	17,763
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	176,474		59,300	0	14,763
目 的	地域住民が日常生活に利用する道路の拡幅工事を行い、生活環境の向上と交通の安全確保を図る。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・市道柏崎伊毛鎌田線他9路線の道路拡幅工事				
成 果	道路の拡幅工事を実施したことにより、生活環境の向上と交通の安全確保を図ることができた。				
課題・今後の方向性	未改良の道路が多く残っていることから、今後も計画的に事業を継続する必要がある。				

事務事業名	道路新設改良電源立地地域対策交付金事業			決算書 掲載ページ	384
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路河川課	
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	148,423		134,432	0	13,991
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	120,000		0	11,992	2,440
目 的	国の交付金を活用し、集落と集落を結ぶ道路の拡幅や新設を行い、生活環境の向上と交通の安全確保を図る。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・市道柏崎9-55号線他1路線の道路拡幅工事及び橋りょう工事				
成 果	道路を整備したことにより、幹線道路のネットワークの整備が進み、生活環境の向上と交通の安全確保を図ることができた。				
課題・今後の方向性	未改良の道路が多く残っていることから、今後も計画的に事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

事務事業名	河川改修市費事業			決算書 掲載ページ	386
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	03	河川費	担 当	道路河川課	
目	03	河川改修費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	87,721		79,705	0	8,016
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	50,000		8,900	0	20,805
目 的	河川の幅が狭く、水が流れにくい箇所の改修を行うことにより、浸水被害の軽減を図る。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・下野川他5河川の河川改修工事 ・釜蓋川の河川浚渫 ^{しゅんせつ} 工事				
成 果	河川改修を行うことにより、浸水被害の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	浸水被害の軽減を図るため、今後も計画的に事業を継続する必要がある。				

事務事業名	河川改修電源立地地域対策交付金事業			決算書 掲載ページ	386
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	03	河川費	担 当	道路河川課	
目	03	河川改修費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	85,330		79,956	0	5,374
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	20,000		0	0	59,956
目 的	国の交付金を活用し、河川の幅が狭く、水が流れにくい箇所の改修を行うことにより、浸水被害の軽減を図る。				
取組内容・実績	大日川の河川改修工事を実施した。 ・工事延長 L = 9.0m				
成 果	河川改修を行うことにより、浸水被害の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	浸水被害の軽減を図るため、今後も計画的に事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	宅地耐震化推進事業			決算書 掲載ページ	390
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	01	都市計画総務費	現年度・繰越の別	現年度予算 繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	32,000		25,616	0	6,384
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,567		0	0	15,049
目 的	大規模盛土造成地の状況を調べて公表することにより、市民の地震防災への意識を高める。				
取組内容・実績	大規模盛土造成地の安全性を把握するため、2か所で大規模盛土造成地変動予測調査を実施した。 繰越事業においても、2か所で大規模盛土造成地変動予測調査を実施した。				
成 果	調査した大規模盛土造成地について、基準安全率を満たしていることを確認した。 また、ホームページで公表することにより、市民の地震防災への意識を高めることができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、市民の地震防災への意識を高めるため、大規模盛土造成地の状況を調べて公表する必要がある。				

事務事業名	街路事業電源立地地域対策交付金事業			決算書 掲載ページ	390
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	02	まちづくり事業費	現年度・繰越の別	現年度予算 繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	43,000		40,680	0	2,320
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	20,000		0	0	20,680
目 的	都市計画道路宝田北斗町線を整備し、国道8号柏崎バイパスと中心市街地のアクセスの向上を図る。				
取組内容・実績	都市計画道路宝田北斗町線の整備に必要な仮畦畔、仮排水路設置工事を547m実施した。 繰越事業においては、都市計画道路宝田北斗町線の整備に必要な用地取得を実施した。				
成 果	都市計画道路宝田北斗町線の事業進捗を図ることができた。				
課題・今後の方向性	国道8号柏崎バイパスと中心市街地のアクセスを向上させるため、事業を計画的に進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	都市公園管理事業			決算書 掲載ページ	390
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	04	公園管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	68,069		64,796	0	3,273
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	145	64,651
目 的	公園施設の維持管理を行うことにより、安全で安心して利用できる憩いの場を提供する。				
取組内容・実績	25か所の都市公園の維持管理を町内会等に委託し、清掃や除草、施設の保守等を行った。				
成 果	安全で安心して利用できる憩いの場を提供することができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、安全で安心して利用できる憩いの場を提供するため、適切に公園を維持管理する必要がある。				

事務事業名	都市公園整備事業			決算書 掲載ページ	394
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	04	公園管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	61,034		59,199	0	1,835
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	20,000		15,700	6,022	17,477
目 的	都市公園施設を計画的に改築更新することにより、利用者の安全性の確保と利便性の向上を図る。				
取組内容・実績	常盤台公園他1か所の遊具改修工事、赤坂山公園他9か所の施設改修工事を実施した。また、駅前公園他23か所の点検を実施したほか、都市公園施設の計画的な維持管理とライフサイクルコストの削減を図るため、柏崎市都市公園施設長寿命化計画を策定した。				
成 果	柏崎市都市公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に改築更新を行い、公園施設の安全性の確保と利便性の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	都市公園施設は、建設後40年を経過し、老朽化が進んでいる施設もあるため、今後も計画的な施設の維持修繕、改築更新を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

事務事業名	柏崎・夢の森公園施設管理費			決算書 掲載ページ	394
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	06	柏崎・夢の森公園事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	64,921	64,864	0	57	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	361	0	47,627	16,876	
目 的	柏崎・夢の森公園の維持管理を行うことにより、安全で安心して利用できる憩いの場を提供する。				
取組内容・実績	環境学校プログラムや各種イベントの実施及び市民協働による雑木林の再生等の里山環境の復元や動植物の保全管理を実施した。				
成 果	指定管理者制度の導入により、施設の維持管理、市民との協働による里山の復元等の取組を強化することができた。				
課題・今後の方向性	安心して利用できる環境学校プログラムを検討し、来園者数の増加及び参加者の環境意識の向上を図る。				

事務事業名	中心市街地活性化推進費			決算書 掲載ページ	394
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	07	中心市街地活性化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算 繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	15,237	8,379	0	6,858	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	8,379	
目 的	コンパクトなまちづくりを進め、将来にわたって持続可能なまちを目指す。 旧市役所庁舎跡地等の大規模公有地を活用し、中心市街地の活性化と魅力づくりを推進する。				
取組内容・実績	中心市街地の活性化と魅力づくりを推進するために、他市の取組事例を視察し、実施について検証した。				
成 果	中心市街地の活性化と魅力づくりを推進するために、他市の取組事例を視察し、実施について検証した。 繰越事業においては、旧庁舎跡地利活用事業公募型プロポーザルを開始したが、申込事業者の辞退により中止となった。その後、ヒアリングを実施し、辞退理由や社会情勢等の検証を行った。				
課題・今後の方向性	立地適正化計画に基づき、持続可能でコンパクトなまちづくりを進める必要がある。 中心市街地のにぎわいを創出し、魅力を高めるために、社会情勢等の変化を見ながら事業を進める。 また、旧庁舎跡地の利活用について、社会情勢等の変化を見ながら事業手法を再検討し、事業を進める。				

9 款 消防費

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	市営半田住宅B号棟改修事業			決算書 掲載ページ	398
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	06	住宅費	担 当	建築住宅課	
目	02	住宅建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	131,700		111,463	0	20,237
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	55,731		0	0	55,732
目 的	建物や設備の老朽化によって生じる不具合を解消し、誰もが住みやすい住宅となるよう大規模改修を行う。				
取組内容・実績	屋上防水及び外壁の改修、サッシの複層化、階段防滑シート改修、照明器具のLED化等の改修工事を実施した。				
成 果	建物や設備を更新し、快適に過ごせるように改修し、住宅の長寿命化を図った。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和5年度（2023年度）で事業を終了する。				

事務事業名	消防団員研修費			決算書 掲載ページ	406
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	02	非常備消防費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	17,455		14,819	0	2,636
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	14,819
目 的	訓練、研修等に参加する消防団員に、費用弁償を支払う。 また、各種の研修に参加することで、消防団員の知識、資質の向上を図り、地域の安全安心に貢献する。				
取組内容・実績	訓練、演習等に参加した消防団員延べ7,159人に費用弁償として、手当を支払った。 また、消防学校等の研修に参加した11人の消防団員にも費用弁償を支払った。				
成 果	研修を受講することにより、消防団員の災害に対する知識、資質が向上した。				
課題・今後の方向性	多種多様な災害に対応するため、研修を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	分団活動費			決算書 掲載ページ	406
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	02	非常備消防費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,315		8,890	0	1,425
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	8,890
目 的	柏崎市消防団を構成する団本部・ラッパ隊・女性消防隊・学生消防隊・方面隊・分団等が、それぞれの立場で独自の防火広報活動等を行うことにより、地域の安全安心に貢献する。				
取組内容・実績	柏崎市消防団を構成する団本部・ラッパ隊・女性消防隊・学生消防隊・方面隊・分団等が、それぞれの立場で独自の防火広報活動等を行った。				
成 果	独自の防火広報活動等を行うことにより、地域の安全安心に貢献できた。				
課題・今後の方向性	今後も、それぞれが独自の防火広報活動を通じて地域の安全安心に貢献するため、支援を継続する必要がある。				

事務事業名	防火水槽整備事業			決算書 掲載ページ	408
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	25,800		23,493	0	2,307
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		22,100	0	1,393
目 的	地震時に対応可能な耐震性の貯水槽を計画的に設置することにより、住民に安心感を与えるとともに、消防団を含めた消防機関の強固な火災防御体制を構築する。				
取組内容・実績	40m ³ の耐震防火水槽1基を新設（柏崎市鯨波二丁目）した。そのほか、ボーリング調査を1か所（柏崎市南半田）、防火水槽の修繕を1か所（柏崎市大字森近）で実施した。				
成 果	耐震性防火水槽を設置することにより、大規模災害における火災発生時、水道管の破裂等による消火栓使用不能時に、住民を火災被害から保護することが可能になった。				
課題・今後の方向性	今後、住宅が密集していない地区等であっても、消防水利を整備し、地域の実情に応じた適正な水利を配置していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	消火栓整備事業			決算書 掲載ページ	408
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	25,000		24,646	0	354
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		17,800	0	6,846
目 的	消火栓を計画的に設置して維持管理することにより、住民に安心感を与えるとともに強固な火災防御体制を構築する。				
取組内容・実績	消火栓2基を新設（柏崎市大字剣野、大字中田）した。消火栓改良を13か所（柏崎市北半田一丁目他）、修繕を20か所（柏崎市荒浜三丁目他）で実施した。				
成 果	「消防力の整備指針」、「消防水利の基準」に基づき、消防水利が不足している箇所へ消火栓を設置することにより、住民に安心感を与えるとともに、強固な火災防御体制を進めることができた。				
課題・今後の方向性	今後、住宅が密集していない地区等であっても、消防水利を整備し、地域の実情に応じた適正な水利を配置していく必要がある。				

事務事業名	常備消防施設整備事業			決算書 掲載ページ	408
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	18,029		16,060	0	1,969
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	3,371	12,689
目 的	災害対策拠点施設を整備することにより消防力を充実させ、多様化する住民のニーズに対応できる体制を構築する。				
取組内容・実績	GHP1系統（受付室、防火衣室、女子更衣室・仮眠室、会議室）の空調設備を更新した。 また、消防テレホン案内を継続するための音声応答装置を購入、設置した。				
成 果	空調設備を更新することにより、故障の懸念が払拭され労働環境を改善することができた。 また、音声応答装置を設置することで、火災等の災害情報をお知らせする消防テレホン案内を継続して提供することができた。				
課題・今後の方向性	既存の施設や装備の老朽化が進み、順次更新が必要となっており、計画的に進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	防災訓練費			決算書 掲載ページ	412
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,492		1,195	0	297
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	534		0	0	661
目 的	洪水や土砂災害等の災害時の対応や、日頃の備え等の防災活動に関心を持ってもらう。また、地域が主体的に取り組む訓練とし、地域防災力の向上を図る。				
取組内容・実績	6月18日に西山町西山及び二田地区を対象に「水害対応総合防災訓練」を実施し、1,900人が参加した。住民訓練と職員訓練を初めて同じタイムスケジュール上で行った。 市民一斉地震対応訓練は、津波警報装置の試験放送（津波警報の発報）を行った。沿岸9地区の自主防災会が音の到達状況を確認した。 27の全コミセン地区及び304の全町内会を対象に「出水期における避難説明会」を実施し、あわせて、令和6年能登半島地震を受け、災害対応全般に係る説明会を開催した。				
成 果	訓練を住民及び市職員が同一タイムスケジュールで実施することで、更に実践的な訓練となった。 市民一斉地震対応訓練の実施により、地震に対する防災意識の醸成が図られた。 町内会長（自主防災会長）が年次交代すること、令和6年能登半島地震で津波避難が課題となったことを踏まえ、説明会を継続実施することで、災害への備えや防災意識・知識が向上した。				
課題・今後の方向性	次年度以降も引き続き、地区を対象とした総合防災訓練及び説明会を実施する。職員訓練は、隔年で実施し、地区訓練との連携を図る。 市民一斉地震対応訓練で明らかとなった、津波サイレンの音が届かない区域へ情報を伝える手段を構築する必要がある。				

事務事業名	防災ガイドブック作成事業			決算書 掲載ページ	412
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,003		6,493	0	510
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,589		0	0	904
目 的	自分の住んでいる場所は浸水想定に含まれているか、災害時はどうやって避難すればよいのかなどを市民の方が確認できるよう周知する。				
取組内容・実績	防災ガイドブック（自然災害編）を今後の配布予定に基づき増刷した。 防災ガイドブック（原子力災害編）を一部修正し、全戸配布した。				
成 果	防災ガイドブック（自然災害編）を必要とする方に配布し、災害時の避難行動を市民の方が確認できるよう周知することができた。 一部修正した防災ガイドブック（原子力災害編）を全戸配布したことで、市民の方が災害時の避難行動を確認できるよう周知することができた。				
課題・今後の方向性	防災ガイドブック（自然災害編）については、今後、新潟県から公開される中小河川の浸水想定区域図や令和6年能登半島地震の反省等を踏まえて、更新する必要がある。 今後も最新の知見を防災ガイドブック（原子力災害編）の内容に反映させることで、市民の方が避難行動を確認できるよう周知していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

事務事業名	災害時備蓄品等管理事業			決算書 掲載ページ	412
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,212		9,556	0	656
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		2,000	0	7,556
目 的	災害時、自宅の倒壊又は交通網の混乱等により、住民及び一時的滞在者が食料品や生活必需品等を調達できなくなることが予想される。市民の方に対して、備蓄の普及啓発を行うとともに、市として、想定避難者数に対する必要最小限の現物備蓄を行う。				
取組内容・実績	災害時備蓄品の賞味期限切れによる一部更新を行った。 夏季や冬季の各季節に合わせた備蓄品（扇風機やストーブ等）を購入し、停電等の災害発生時に適切に配備した。 人口5千人以上のコミュニティ7地区に防災備蓄品の倉庫を設置した。				
成 果	災害に備えた備蓄品を追加及び更新できたほか、一部のコミュニティ地区には市の倉庫を設置したことで、初動体制を強化することができた。				
課題・今後の方向性	災害時における備蓄品の分散備蓄、集中備蓄の実効性を検証する。 また、想定避難者数に対する現物備蓄管理を継続していく。				

事務事業名	洪水ハザードマップ作成事業			決算書 掲載ページ	414
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	27,000		7,500	19,500	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,828		0	0	3,672
目 的	これまでの洪水指定河川（鵜川・鯖石川・別山川）に加えて、中小河川のハザードマップを作成することで、水害時の避難情報や避難行動にいかす。				
取組内容・実績	新潟県から公開された浸水想定区域図に基づき、1河川、2つのハザードマップを公開した。				
成 果	これまでリスク周知がなされていなかった中小河川の洪水リスクについて、周知を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も中小河川の浸水想定区域図は、随時、新潟県から公表される予定であり、それを受けてハザードマップを作成していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	原子力防災研修事業			決算書 掲載ページ	416
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,412		2,851	0	561
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,851		0	0	0
目 的	消防団、自主防災組織等、地域の防災リーダーに対し、放射線、原子力防災の正しい知識の習得と原子力災害時の防災活動の普及啓発を図る。市職員においては、原子力発電所立地自治体職員としての自覚を再認識することで危機管理体制の強化を図る。				
取組内容・実績	原子力地域防災リーダー研修として消防団（5回・91人）、学生消防隊員（2回・37人）を対象に開催したほか、採用1年目の市職員を対象とした研修（2回・26人）を実施した。 また、原子力防災職員研修（5回・81人）を開催した。				
成 果	研修を通じて、消防団員、市職員等が放射線や原子力防災に関する知識を習得することで、原子力防災意識の向上を図り、原子力防災体制の強化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	消防団を対象とした地域防災リーダー研修においては、学生消防団を加えて実施するなど、更なる地域防災力の向上や要配慮者の避難支援体制の整備が必要である。				

事務事業名	放射線防護施設整備事業			決算書 掲載ページ	416
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算 繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	409,010		320,959	17,820	70,231
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	320,959		0	0	0
目 的	早期の避難が困難である住民等が一時的に退避する放射線防護施設を整備することで、原子力防災対策の充実・強化を図る。				
取組内容・実績	中通コミュニティセンターの放射線防護対策工事を実施した。				
成 果	中通コミュニティセンターを放射線防護化することができた。				
課題・今後の方向性	放射線防護施設が良好な状態で稼働できるよう維持管理していく必要がある。 放射線防護施設を速やかに稼働できるよう市職員及び地域住民による稼働訓練を行う必要がある。 また、更なる原子力防災対策の充実・強化を図るために、放射線防護施設の数を増やしていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	広域避難対策事業			決算書 掲載ページ	416
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,865		695	0	3,170
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	671		0	0	24
目 的	原子力災害時を想定した住民参加による避難訓練を新潟県と合同で行い、広域避難計画の検証と住民の広域避難の意識向上を図る。				
取組内容・実績	国の原子力総合防災訓練と一体となった新潟県原子力防災訓練を行った。国、県及び関係機関が参加した本部運営訓練のほか、前年度より規模を拡大し、4地区約500人が参加した住民避難訓練等を行った。 また、個別訓練として実動組織と連携した冬季住民避難訓練を行った。				
成 果	原子力災害時における体制・対応について、関係機関との連携や各自の役割を確認し、対応力の向上を図ることができた。 広域避難の実効性を高めるため、住民避難訓練参加者等にヒアリングを行い、訓練で見えた問題点や今後の課題を明らかにすることができた。				
課題・今後の方向性	様々な想定による訓練を継続的に実施し、広域避難の実効性の向上を図って行く必要がある。 また、訓練で明らかになった課題等については、県、関係市町村及び国と共有し、協議検討を進める必要がある。				

事務事業名	防災情報通信システム整備事業			決算書 掲載ページ	416
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	193,415		190,196	0	3,219
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	99,039		0	118	91,039
目 的	緊急告知ラジオを設置することで、災害時等の緊急情報を市民に対し伝達することを目的とする。 また、緊急告知放送の受信環境を整え、情報伝達体制を強化する。				
取組内容・実績	緊急告知ラジオや屋外スピーカーの受信状況が悪い5つの地域に対して中継局を増設し、受信環境の改善を行った。 また、放送の対災害性強化を目的とした、親局設備の多重化を調査した。				
成 果	中継局の増設により、緊急告知ラジオや屋外スピーカーの受信を改善し、情報伝達体制を強化した。				
課題・今後の方向性	親局設備多重化のための設計を実施する。 また、沿岸地区や河川遡上の可能性がある地区に津波サイレンを増設するための設計を実施する。				

10款 教育費

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	学区等審議会経費			決算書 掲載ページ	422
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	教育総務課	
目	02	教育委員会事務局費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,126		2,105	0	21
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,105
目 的	教育委員会からの諮問に対して調査や審議を行い、教育委員会に意見を申し立てる。				
取組内容・実績	教育委員会からの小学校統合の諮問に対して調査や審議を行い、令和5年（2023年）12月26日に二次答申を受領した。 委員数は20人、任期は令和6年（2024年）3月31日までの2年間。 令和5年度（2023年度）の審議会を12回開催した。 二次答申に向けた他の活動実績としては、小学校5校の学校訪問を行ったほか、地域との意見聴取会を6回開催した。				
成 果	令和3年（2021年）12月に教育委員会が策定した市立小・中学校学区再編方針のうち、令和8年（2026年）に示した小学校の統合の諮問について、令和5年（2023年）12月26日に学区等審議会から答申を受領することができた。				
課題・今後の方向性	教育委員会からの学校統合の諮問に対して、全ての答申を受領したため、令和5年度（2023年度）で終了する。				

事務事業名	奨学金貸付事業			決算書 掲載ページ	422
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	教育総務課	
目	02	教育委員会事務局費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	38,091		38,071	0	20
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	37,200	871
目 的	成績優秀な学生で経済的理由により大学等への就学が困難な方に対して、奨学金の貸付けを行うことにより、教育の機会均等を図る。				
取組内容・実績	令和5年度（2023年度）における貸付者総数56人のうち、新規貸付者は、21人であった。 また、新規貸付者のうち、大学等在学生（編入生含む。）は、1人であった。				
成 果	教育の機会均等の向上を図ることができた。 また、令和3年度（2021年度）から他の奨学金制度との併給を可能にしたことや、大学等在学生の申請を認めた。これにより、1人の大学等在学生から申請があり、更に幅広く学生への支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	学生が更に利用しやすい制度とするために、返済期間の延長や採用人数の拡大等、社会情勢等に合わせた制度の見直しを行っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	特別支援学級介助事業			決算書 掲載ページ	428
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	95,012		92,509	0	2,503
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	55,000		0	14,473	23,036
目 的	特別支援教育介助員を配置し、特別な教育的支援を必要とする児童に対して、身の介助や学習活動を補助することにより、充実した学校生活を送れるよう支援する。				
取組内容・実績	小学校15校に、36人の特別支援学級介助員を配置し、特別支援学級に在籍する児童の教育的ニーズに応じた身の介助や学習指導を実施した。				
成 果	特別支援学級に在籍する児童が安心して充実した学校生活を送れる体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	小学校の在籍児童数は年々減少しているが、特別支援学級在籍児童数は、ほぼ横ばいで推移している。介助員の配置は、その学校での特別支援学級在籍児童数の増減と特性を考慮しながら、検討する必要がある。				

事務事業名	特別支援教育推進事業			決算書 掲載ページ	428
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,907		6,651	0	256
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	27	6,624
目 的	特別な教育的ニーズのある児童生徒及び就学予定者に対して就学相談を行い、適正な就学に向けた判断を行う。 また、通常学級における特別な教育的ニーズのある児童生徒について、要請のあった学校の授業改善や巡回相談等の校内支援を実施する。				
取組内容・実績	特別支援教育会議では、幼児部会・小中部会合わせて、163件の審議を行った。 特別支援教育推進嘱託指導主事は幼児部会を中心に対応した。				
成 果	専門員の丁寧な調査により、就学先判断の保護者理解を得ることができた。特別支援教育推進嘱託指導主事が調査に加わることで、専門員の負担軽減につながった。				
課題・今後の方向性	依頼件数の増加、依頼案件の複雑化・多様化に対応できるよう担当者の増員と質の向上を行う必要がある。依頼件数増加に伴い、必要な発達検査数や保護者面談件数も増加し、専門員の負担が増えてきているため、解消する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	キャリア教育推進事業			決算書 掲載ページ	428
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,199		2,926	0	273
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	510	2,416
目 的	各種キャリア教育の実施により、ふるさと柏崎に誇りと愛着を持ち、夢と希望に向かってたくましく生き抜く児童生徒を育てる。				
取組内容・実績	キャリア教育講演会やキャリア教育モデル校事業を行った。講演会は、コロナ禍の影響が残る中ではあったが、30の個人・団体を講師に招いて、職業や生き方の講演を行った。				
成 果	モデル校事業では、外部講師との連携や実施校同士の交流の場を設定することにより、取組の充実が図られた。 講演会では、市内の多様な人々の生き方に触れることができた。				
課題・今後の方向性	モデル校での学びを他の学校に共有するための情報交換の機会の創出や教職員研修等の工夫をする必要がある。 キャリア教育講演会は、年度始めに立てた計画に基づき確実に進行する必要がある。				

事務事業名	学校教育活動推進事業			決算書 掲載ページ	428
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,603		14,044	0	559
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	14,044
目 的	学校教育活動推進事業奨励金を交付し、小・中学校と家庭・地域が協働して子どもの健全育成を図る。総合学力調査の一部費用を負担し、結果を指導方針策定に役立てる。学校サポート嘱託指導主事を1人任用し、学校教育活動を支援する。				
取組内容・実績	特色ある教育活動の充実を図るため、全小・中学校に奨励金を交付したことによって、各学校で工夫ある実践が行われた。				
成 果	各学校が体験活動、キャリア教育、小・中学校と地域が連携した取組等を工夫して実践したことによって、特色ある教育活動を推進することができた。				
課題・今後の方向性	各学校が目指す子ども像を明確にし、今まで以上に工夫した取組を実践する。 また、今後も、感染予防策を講じたり、活動方法を工夫したりしながら、事業を推進する。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	スクール・サポート・スタッフ配置事業			決算書 掲載ページ	430
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,023		4,918	0	105
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,674		0	27	3,217
目 的	市立小学校にスクール・サポート・スタッフを配置することで、教員が児童への指導や教材研究により力を注げる環境を整える。				
取組内容・実績	非常勤4人のスクール・サポート・スタッフを配置し、教員が児童への指導や教材研究により力を注げるようにするための補助を行った。				
成 果	教員が児童への指導や教材研究により注力することができ、業務負担の軽減につながった。				
課題・今後の方向性	業務分担をより明確にし、業務負担を軽減するため、今後も教員とスクール・サポート・スタッフとの連携を更に深める必要がある。				

事務事業名	学力向上推進プロジェクト事業			決算書 掲載ページ	430
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,437		3,992	0	445
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	18	3,974
目 的	学校訪問や研修の実施により、小中学生の思考力・判断力・表現力や、知識・技能を活用する力を伸ばし、学力向上を図る。				
取組内容・実績	学力向上推進員を含む4人の指導主事による学校訪問と、ICTツールの活用方法の提案等を行った。 また、学力向上先進校の県外視察（6月2日～3日富山県堀川小学校3人参加、7月6日～7日福井県敦賀市教育委員会4人参加）を行い、9月25日に市内小中学校を対象として視察報告会を行った。				
成 果	学力向上推進員による、ICTツールの活用方法の提案や、良い実践事例紹介の発信は、授業力・ICTスキル向上へつながった。 また、多くの学校が、他県の先進的な取組を後期の授業に役立てたり、自校の研究に取り込んだりすることができた。				
課題・今後の方向性	全国学力・学習状況調査の過去問題の具体的ないかし方に関する研修や、教科・学年を絞った学力向上研修も必要であるため、小・中学校ともに、国語・算数・数学の授業力を高める研修を設定する。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	英語教育推進事業			決算書 掲載ページ	430
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	30,126		27,461	0	2,665
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,185	26,276
目 的	A L T (外国語指導助手)を配置し、英語によるコミュニケーション能力の向上を図り、グローバル社会で活躍する人材を育てる。				
取組内容・実績	常勤5人、非常勤1人のA L Tを配置し、小・中学校の全クラスで月2回以上、外国語活動やチームティーチング授業を行った。				
成 果	A L T との様々な活動を通して、児童生徒のコミュニケーション能力向上や異文化理解を深めることができた。				
課題・今後の方向性	小学校の外国語指導が軌道に乗ってきたところである。今後も英語専科教員やA L T との連携を更に深める必要がある。				

事務事業名	指導補助事業			決算書 掲載ページ	430
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	130,031		124,458	0	5,573
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,423		0	27,598	93,437
目 的	指導補助員を配置し、通常学級で支援を必要とする児童生徒に対して、学習指導や生徒指導を行う。 また、日本語指導を必要とする児童生徒の就学体制を整備する。さらに、中学校に部活動指導員を配置し、指導の充実と教職員の負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	小・中学校27校に、46人の指導補助員を配置し、学習指導や生徒指導の充実に向けた支援を行った。 2人の日本語指導員を配置し、外国にルーツを持つ児童3人、生徒3人の日本語指導に向けた支援を行った。 中学校9校に16人の部活動指導員を配置し、部活動の充実に向けた支援を行った。				
成 果	指導補助員の配置により、授業のねらいの達成に結び付ききめ細やかな支援を行い、児童生徒一人一人の能力を伸ばす教育が推進された。 また、対人関係の構築が苦手な児童生徒への個別の指導・支援を充実させることができた。 日本語指導員の配置により、該当児童生徒の日本語指導や就学支援で成果が見られた。 部活動指導員の配置により、教員の負担軽減につながった。				
課題・今後の方向性	通常学級における特別な教育的ニーズに応じた指導・支援のために、指導補助員を必要とする場が増加している。 日本語指導員は、今後も必要に応じた配置が求められる。 部活動指導員は、今後も継続的に関わってくれる人材の確保に努める。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	科学技術教育事業			決算書 掲載ページ	434
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	04	教育センター費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,436		7,679	0	757
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,636	6,043
目 的	理科担当教員の指導力向上、児童生徒の適切な科学概念の形成及び地域の科学技術教育振興を図る。				
取組内容・実績	教職員の理科・生活科・総合・環境教育等の専門研修・相談支援のため研修会を32回行い、237人が参加した。 科学教育振興として科学作品展、科学研究発表会及び科学のえんま市2023等の事業を12回行い、延べ2,010人が参加した。 科学教育支援として、学校等の要請研修(74回・2,150人)、教材機器等貸出し(112件)、理科教育相談支援(374件)を実施した。				
成 果	教科研修参加者からは、「研修内容は分かりやすい」81.9%、「教材の提案は妥当である」81.9%、「指導にいかしたい」67.3%と高評価を得ており、現場のニーズに即した研修を実施することができた。				
課題・今後の方向性	研修内容としてすぐにかしやすく、かつ、児童生徒の学力向上につながる手立てを検討し、実施していく必要がある。 また、科学研究発表会や作品展への参加児童生徒数を維持及び増加させるため、科学研究を指導する教員及び保護者への具体的な支援が必要となる。				

事務事業名	学校管理運営費			決算書 掲載ページ	436
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	337,720		305,238	0	32,482
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	43,000		0	833	261,405
目 的	教育活動が安定的かつ円滑に行われるように小学校の維持管理を行い、教育環境の充実を図る。				
取組内容・実績	学校における教育活動が円滑に行われるよう、施設の維持管理を行った。 また、校舎の戸締まり業務を行うため、日直業務員を5校(柏崎、比角、枇杷島、新道及び田尻)に配置した。				
成 果	施設の維持管理により、教育活動が安定的かつ円滑に行われた。 また、日直業務員を配置したことにより、教職員の負担軽減が図られた。				
課題・今後の方向性	施設の維持管理を行い、教育環境の充実を図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	通学支援事業			決算書 掲載ページ	438
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	69,595		56,975	0	12,620
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	56,975
目 的	遠距離通学地区の児童に対して通学支援を行うことで、円滑な義務教育を実施する。				
取組内容・実績	遠距離通学の児童421人に対し、通学支援としてスクールバスの運行や通学定期券の支給、通学費の補助を行った。 また、登下校のほか、校外学習等の移動手段としてスクールバスを利用した。 スクールバスの校外利用申請の受付及び運行手配業務を運行委託事業者に委託した。				
成 果	学校から提出されたスクールバスの運行計画に基づき、運行ルートの再編を行うことにより、遠距離通学の児童の負担軽減が図られた。 また、スクールバス校外利用申請受付業務を運行委託事業者に委託し、業務の効率化を図った。				
課題・今後の方向性	児童の安全な通学支援を行うために、適正な運行管理を行うとともに、車両を良好な状態で運行するため、老朽化した車両を計画的に更新する必要がある。 また、学校の意見を聞きながら児童が通学しやすい環境を整備する必要がある。				

事務事業名	情報機器管理費			決算書 掲載ページ	438
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	134,384		134,384	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	28,000	106,384
目 的	児童の教育ICT環境を整備し、学習環境の充実を図る。				
取組内容・実績	教務室、教室等の情報環境の整備及び情報機器の保守管理を令和5年(2023年)4月1日から5年間の契約で包括的に外部委託し、効率的に実施した。				
成 果	学校教育におけるICTの促進及び校務の効率化が図られた。 また、GIGAスクール構想を推進するため、引き続き、ICT支援室を設置し、児童及び教職員が情報機器を有効に活用する支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	ICTを活用した情報教育の更なる促進のため、必要な情報機器等の活用方法や支援策をICT連絡会議で検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	就学援助費			決算書 掲載ページ	440
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	40,825		31,388	0	9,437
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	17		0	155	31,216
目 的	経済的理由で就学が困難な児童に対し就学援助費を支給することで、就学環境を保障し義務教育を円滑に実施する。				
取組内容・実績	要保護16人、準要保護338人、計354人の児童の保護者に就学援助費を支給した。				
成 果	就学援助費を支給し、学用品等の費用を援助したことで、義務教育を円滑に行うことに貢献した。				
課題・今後の方向性	小学校の在籍児童数は年々減っているが、在籍児童数に占める認定者の割合はほぼ変わりなく、今後も継続して事業を進める必要がある。 また、学校と連携しながら、保護者への制度周知を徹底していく必要がある。オンライン申請フォームを改善し、保護者が申請しやすい環境を整える。				

事務事業名	就学奨励費			決算書 掲載ページ	440
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,040		4,942	0	4,098
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,470		0	0	2,472
目 的	特別支援学級等に在籍する児童の就学環境を保障するため、学用品等の費用の一部を助成する。 また、適正な就学の確保と特別支援教育の振興を図る。				
取組内容・実績	特別支援学級に在籍する児童126人の保護者に、小学校の必要経費（学用品費、学校給食費等）の一部を支給した。 また、児童50人の保護者に他校の通級指導教室へ通うための交通費の一部を支給した。				
成 果	特別支援学級に在籍する児童や、他校の通級指導教室へ通う児童の保護者の経済的な負担を軽減することができた。				
課題・今後の方向性	小学校の在籍児童数は年々減少しているが、特別支援学級在籍児童数は、ほぼ横ばいで推移している。今後も特別支援学級等に在籍する児童を持つ保護者の経済的負担を軽減し、就学環境を保障する必要がある。 また、オンライン申請フォームを改善し、保護者が申請しやすい環境を整える。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	小学校施設整備事業			決算書 掲載ページ	440
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算 繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	441,428		238,630	116,800	85,998
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一般財源
	49,800		185,700	0	3,130
目 的	施設の整備を適切に行うことにより、学校施設利用者の安全確保と教育環境の向上を目指す。				
取組内容・実績	二田小学校及び鯖石小学校のトイレ改修工事、大洲小学校の体育館外壁改修工事、鯖石小学校及び田尻小学校の体育館照明改修工事並びに旧石地小学校体育館解体工事を行った。				
成 果	施設の改修により、児童の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備ができた。				
課題・今後の方向性	老朽化により、早急な改修を要する施設が増加していることから、児童の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備を継続して進めていく必要がある。				

事務事業名	荒浜小学校改築事業			決算書 掲載ページ	440
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算 継続費・通次繰越予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,965,000		376,722	1,588,278	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一般財源
	132,240		220,675	0	23,807
目 的	安全で優れた学習環境及び地域の交流・防災拠点機能を有する施設を整備するため、老朽化が進んでいる校舎棟を建て替える。				
取組内容・実績	校舎棟の改築工事（令和5年度（2023年度）・令和6年度（2024年度）継続工事）のⅠ期工事及び工事監理を実施した。				
成 果	老朽化した校舎の改築工事を進め、安全・安心で、かつ、快適で高質な教育環境を整備するとともに、適正規模の学校施設となるよう計画的に改築事業を進めることができた。				
課題・今後の方向性	校舎棟の改築工事（Ⅱ期）、体育館の改修工事、旧校舎の解体設計及びグラウンド改修設計を計画的に進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	学校管理運営費			決算書 掲載ページ	442
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算 繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	254,761		223,027	0	31,734
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	43,000		0	779	179,248
目 的	教育活動が安定的かつ円滑に行われるように小学校の維持管理を行い、教育環境の充実を図る。				
取組内容・実績	学校における教育活動が円滑に行われるよう、施設の維持管理を行った。 また、校舎の戸締まり業務を行うため、日直業務員を5校（第一、第三、鏡が沖、松浜及び東）に配置した。繰越事業においては、第二中学校のGHP空調機の修繕を行った。				
成 果	施設の維持管理により、教育活動が安定的かつ円滑に行われた。 また、日直業務員を配置したことにより、教職員の負担軽減が図られた。				
課題・今後の方向性	施設の維持管理を行い、教育環境の充実を図る。				

事務事業名	通学支援事業			決算書 掲載ページ	444
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	48,578		44,039	0	4,539
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	982		0	0	43,057
目 的	遠距離通学地区の生徒に対して通学支援を行うことで、円滑な義務教育を実施する。				
取組内容・実績	遠距離通学の生徒162人に対し、通学支援としてスクールバスの運行や通学定期券の支給、通学費の補助を行った。 また、スクールバスを登下校のほか、校外学習等の移動手段として利用した。 スクールバスの校外利用申請の受付及び運行手配業務を運行委託事業者に委託した。				
成 果	学校から提出されたスクールバスの運行計画に基づき、運行ルートの再編を行うことにより、遠距離通学の生徒の負担軽減を図ることができた。 また、スクールバス校外利用申請受付業務を運行委託事業者に委託し、業務の効率化を図った。				
課題・今後の方向性	生徒の安全な通学支援を行うために、適正な運行管理を行うとともに、車両を良好な状態で運行するため、老朽化した車両を計画的に更新する必要がある。 また、学校の意見を聞きながら生徒が通学しやすい環境を整備する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	情報機器管理費			決算書 掲載ページ	444
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	73,912	73,911	0	1	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	20,000	53,911	
目 的	生徒の教育ICT環境を整備し、学習環境の充実を図る。				
取組内容・実績	教務室、教室等の情報環境の整備及び情報機器の保守管理を令和5年（2023年）4月1日から5年間の契約で包括的に外部委託し、効率的に実施した。				
成 果	学校教育におけるICTの促進及び校務の効率化が図られた。 また、GIGAスクール構想を推進するため、引き続き、ICT支援室を設置し、生徒及び教職員が情報機器を有効に活用する支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	ICTを活用した情報教育の更なる促進のため、必要な情報機器等の活用方法や支援策をICT連絡会議で検討する必要がある。				

事務事業名	就学援助費			決算書 掲載ページ	444
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	43,285	34,871	0	8,414	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	69	0	108	34,694	
目 的	経済的理由で就学が困難な生徒に対し就学援助費を支給することで、就学環境を保障し義務教育を円滑に実施する。				
取組内容・実績	要保護10人、準要保護234人、計244人の生徒の保護者に就学援助費を支給した。				
成 果	就学援助費を支給し、学用品等の費用を援助したことで、義務教育を円滑に行うことに貢献した。				
課題・今後の方向性	中学校の在籍生徒数は年々減っているが、在籍生徒数に占める認定者の割合はほぼ変わりなく、今後も継続して事業を進める必要がある。 また、学校と連携しながら、保護者への制度周知を徹底していく必要がある。オンライン申請フォームを改善し、保護者が申請しやすい環境を整える。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	就学奨励費			決算書 掲載ページ	446
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,469		3,042	0	4,427
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,520		0	0	1,522
目 的	特別支援学級等に在籍する生徒の就学環境を保障するため、学用品等の費用の一部を助成する。 また、適正な就学の確保及び特別支援教育の振興を図る。				
取組内容・実績	特別支援学級に在籍する生徒55人の保護者に、中学校の必要経費（学用品費、学校給食費等）の一部を支給した。 また、生徒9人の保護者に他校の通級指導教室へ通う際の交通費の一部を支給した。				
成 果	特別支援学級に在籍する生徒や、他校の通級指導教室へ通う生徒の保護者の経済的な負担を軽減することができた。				
課題・今後の方向性	中学校の在籍生徒数は年々減少しているが、特別支援学級在籍生徒数は、ほぼ横ばいで推移している。今後も特別支援学級等に在籍する生徒を持つ保護者の経済的負担を軽減し、就学環境を保障する必要がある。 また、オンライン申請フォームを改善し、保護者が申請しやすい環境を整える。				

事務事業名	心の教室相談員事業			決算書 掲載ページ	446
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,433		1,340	0	93
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,340
目 的	心の教室相談員の配置を通して、悩みやストレスを抱える生徒が相談しやすい環境をつくり、生徒が安心して学校生活を送れるようにする。				
取組内容・実績	学校の実態に応じたよりきめ細やかな相談支援業務を実施した。生徒の悩み軽減や自己肯定感の向上につながるよう、校内での何気ない場面での声掛けや、相談対応を丁寧に行った。				
成 果	生徒との関わり（声掛け等）は延べ2,587件、個々に相談した教育相談件数は215件と昨年度よりも増加した。生徒が安心して過ごせる環境づくりに寄与した。				
課題・今後の方向性	相談内容が多様であり、学校と連携した対応がより求められる。相談員の確保も課題である。今後も相談しやすい環境の整備を継続して行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	中学校施設整備事業			決算書 掲載ページ	446
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算 繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	355,200		221,835	101,100	32,265
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	33,556		65,800	51,273	71,206
目 的	施設の整備を適切に行うことにより、学校施設利用者の安全確保と教育環境の向上を目指す。				
取組内容・実績	第一中学校及び北条中学校のトイレ改修工事、瑞穂中学校の食堂改修工事・受水槽改修工事、松浜中学校の外構フェンス等設置工事・倉庫棟改築工事並びに西山中学校の空調・受変電設備改修工事を行った。				
成 果	施設の改修により、生徒の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備ができた。				
課題・今後の方向性	老朽化により、早急な改修を要する施設が増加していることから、生徒の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備を継続して進めていく必要がある。				

事務事業名	中学校グラウンド補修事業			決算書 掲載ページ	448
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	257,815		11,567	244,815	1,433
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	11,567
目 的	排水・表面舗装等のグラウンド機能の回復や運動設備を設計・改修することで、屋外教育環境の改善を図る。				
取組内容・実績	瑞穂中学校の経年劣化したグラウンドの排水機能向上及びテニスコートの改修を行うための測量設計を行った。				
成 果	改修工事に必要な測量設計を実施し、安全・安心な屋外教育環境整備のための準備ができた。				
課題・今後の方向性	経年劣化により早急な改修を必要とする施設が増加していることから、生徒の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備を継続して進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	学校施設長寿命化事業			決算書 掲載ページ	448
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	472,000	12,980	458,000	1,020	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	0	12,980	
目 的	老朽化部分の改修工事を行うことで、施設の長寿命化を図る。				
取組内容・実績	鏡が沖中学校大規模改修工事の実施設計を行った。				
成 果	大規模改修工事の設計を実施し、安全・安心な教育環境整備のための準備ができた。				
課題・今後の方向性	学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、適正な規模での学校配置や財政負担の平準化も考慮し、計画的に改修等を行っていく必要がある。				

事務事業名	東中学校改築事業			決算書 掲載ページ	448
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算・継続費 通次繰越・事故繰越予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	1,008,517	469,347	536,971	2,199	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	176,559	233,259	0	59,529	
目 的	安全で優れた学習環境及び地域の交流・防災拠点機能を有する施設を整備するため、老朽化が進んでいる校舎棟と体育館を建て替える。				
取組内容・実績	旧校舎等の解体工事及びグラウンド整備工事（令和5年度（2023年度）・令和6年度（2024年度）継続工事）のⅠ期工事を行った。 また、部室倉庫棟を整備した。				
成 果	解体工事及びグラウンド整備工事を計画的に進めたことにより、安全・安心な教育環境を整備するとともに、適正規模の学校施設となるように改築事業を進めることができた。				
課題・今後の方向性	令和6年度（2024年度）に行うⅡ期工事の旧校舎等の解体工事及びグラウンド整備工事を計画的に行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域の人・もの・資源を生かして若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-2 市民の主体的な文化活動を支援する

事務事業名	地域学校協働活動推進事業			決算書 掲載ページ	450
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,900		2,477	0	1,423
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,650		0	0	827
目 的	学校と地域との連携・協働を促進し、地域の教育力向上を図る。				
取組内容・実績	5月17日に学校担当者に向けた説明会、12月6日にコーディネーター・学校担当者を対象とした合同研修会を実施した。説明会には学校担当者30人、研修会には地域コーディネーター23人及び学校担当者25人の計48人が参加した。				
成 果	講義の受講とグループワークにより、学校と地域の課題を整理、共有することができた。共に地域づくりに関わる活動に取り組むことで、学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみでの子どもの育成につながった。				
課題・今後の方向性	学校や地域の課題を整理し共有することで、地域の人材を効果的に結び付けながら、地域ぐるみで子どもの育成に携わっていく必要がある。				

事務事業名	市美術展覧会費			決算書 掲載ページ	452
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,111		1,793	0	318
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	375	1,418
目 的	市民の創作活動の成果を発表する機会を提供するとともに、市民の美術への関心を高めることを目的とする。				
取組内容・実績	中学生から出展できるよう募集要項を見直した結果、若い世代が芸術活動に対する興味関心を持つきっかけをつくることができた。				
成 果	出展者数は287人で、前年度より50人増となった。また、1日当たりの来場者数は前年度より104人増となり、市民の美術への関心を高めることができた。				
課題・今後の方向性	市展運営委員の若返りを進めることで視点を新たにし、様々な年齢層に興味関心を持ってもらう必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-2 市民の主体的な文化活動を支援する

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

事務事業名	文化振興事業			決算書 掲載ページ	454
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	25,624		25,174	0	450
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	23,000	2,174
目 的	花をモチーフとした美術品等を3つのテーマに分けて展示し、鑑賞した方に一足早い春を感じていただくことを目的とする。				
取組内容・実績	市が新たに購入した絵画を中心に、約150点の作品を展示するとともに、絵画制作の実演会を開催した。開催期間5日間で3,123人の入場者があった。				
成 果	会場内で行ったアンケートの結果、96%の来場者から「満足した」との評価を得た。また、市内宿泊施設との連携により来場者限定の宿泊プランを用意し、市外からの集客にも貢献した。				
課題・今後の方向性	市外への情報発信を強化し、より多くの誘客を目指す必要がある。また、多くの鑑賞者に満足していただけるよう展示を工夫する必要がある。				

事務事業名	綾子舞保存振興事業			決算書 掲載ページ	458
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	02	文化財保護費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,901		11,960	0	941
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	8,723	3,237
目 的	綾子舞を鑑賞する機会を広く市民に提供し、その保存伝承活動を充実させる。				
取組内容・実績	綾子舞の保存振興活動を支援することを目的として、柏崎市綾子舞保存振興会に対して補助金を交付した。				
成 果	柏崎市綾子舞保存振興会に補助金を交付することで、保存伝承活動が円滑に進められ、市民から綾子舞の認識を深めてもらうことができた。				
課題・今後の方向性	少子高齢化が進む中、後継者育成を図るために今後も柏崎市綾子舞保存振興会に対して支援を継続していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-1 学びの機会を充実させる

事務事業名	埋蔵文化財調査費			決算書 掲載ページ	460
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	02	文化財保護費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	20,031	18,066	0	1,965	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	91	17,975	
目 的	埋蔵文化財の調査を行う。				
取組内容・実績	非常勤職員等9人を雇用し、埋蔵文化財調査や資料整理を円滑に行うことができた。				
成 果	円滑な埋蔵文化財調査を実施することができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して埋蔵文化財調査を実施する必要がある。				

事務事業名	公民館講座運営事業			決算書 掲載ページ	464
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	03	公民館費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	2,632	2,033	0	599	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	1,159	874	
目 的	市民の学習意欲の向上、興味関心の目覚めや発展を促す講座を行い、「学ぶ喜び」を享受し、豊かな人生を構築する生涯学習の推進を図る。				
取組内容・実績	シニア世代対象のシニアコース（35講座、延べ695人受講）、全年齢対象のエイジレスコース（39講座、延べ645人受講）、小学生対象のこども向けコース（16講座、延べ256人受講）を設け、講座を開講した。				
成 果	各世代のニーズに合わせ、交流を通じて生きがいや学ぶ楽しさを見いだす学習機会を提供することができた。				
課題・今後の方向性	より多くの市民に学習機会を提供するため、引き続き講座内容や周知方法等を工夫し、魅力ある講座にしていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-1 学びの機会を充実させる

事務事業名	図書館サービス事業			決算書 掲載ページ	464
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	図書館	
目	04	図書館費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	59,130		57,999	0	1,131
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	403	57,596
目 的	図書館利用者が快適に資料の借用や返却を行えるよう環境整備を図る。				
取組内容・実績	図書館の利用環境の整備に取り組み、本館で97,938人に、281,696点の資料を貸し出した。入館者は258,668人だった。 また、学校読書支援員5人が小学校20校を巡回し、読書支援を行った。				
成 果	レファレンス対応やテーマに沿った資料展示により、図書館利用者の生涯学習を支援することができた。学校読書支援員の小学校巡回により、学校図書館の整備や読書支援を充実させることができた。				
課題・今後の方向性	より多くの方から図書館を利用していただくため、読書環境の充実を継続し、積極的に情報を発信する必要がある。 また、学校読書支援では、中学校図書室の現状を把握し、環境整備の必要性を検討する必要がある。				

事務事業名	プラネタリウム管理運営費			決算書 掲載ページ	470
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	05	博物館等費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,106		7,905	0	201
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	483	7,422
目 的	プラネタリウム投影や星空観察会等を通して、星空や宇宙を中心とした市民の学習、自然科学への興味関心を育み、博物館への来館につなげる。				
取組内容・実績	投影回数は284回（定期投影178回、団体投影・イベント投影等68回、小中学校学習投影38回） 利用者数は7,210人				
成 果	定期投影や学習投影での利用に加え、イベント投影では子ども向けの「キッズプラネタリウム」、夏季イベント投影「星空入門ーわくわく！惑星のひみつ」、冬季イベント投影「クリスマスイベント」等、幅広い世代のニーズに対応した投影を行い好評を得た。				
課題・今後の方向性	定期投影を機軸に、多様なイベント投影を行うことで満足度の高い投影を継続する。 また、イベント投影利用者のリピーター化のほか、学習投影を通して児童生徒の天文への興味を高め、家族での再来館の機会を創出する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

事務事業名	WEBミュージアム推進事業			決算書 掲載ページ	470
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	05	博物館等費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,733		6,721	0	12
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,721
目 的	文化的価値のある所蔵品等をデジタルアーカイブ化及びデータベース化し、インターネット上で公開することにより、市民の生涯学習や地域学習の活動場面の一助とする。				
取組内容・実績	大人向け及び子ども向けのWEBミュージアムの運用を継続するとともに、大人向けのWEBミュージアムでは新たに5件の文化財等を高精細画像で撮影し、公開した。また、構築業者のサポート終了により令和5年度(2023年度)末で子ども向けWEBミュージアムが閲覧できなくなるため、システム移行を実施した。				
成 果	大人向けWEBミュージアムでは、画像の撮影及び公開により、文化財等のデジタル化を推進した。また、子ども向けのWEBミュージアムは、サポート終了に伴うシステム移行を行い、引き続き地域の文化、風土を学習できるようにした。				
課題・今後の方向性	文化財等の高精細画像撮影費が高額であることから、単年度における新規更新件数は限定的であり、計画的に継続する必要がある。また、GIGAスクール事業により児童生徒のインターネット利用環境が充実したことから、学校でのWEBミュージアム活用促進に取り組む必要がある。				

事務事業名	スポーツ事業支援経費			決算書 掲載ページ	480
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	30,505		29,639	0	866
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,583		0	3,500	24,556
目 的	市の競技スポーツ選手強化や市民向け登山・スポーツ行事を(一財)柏崎市スポーツ協会に委託し、加盟競技団体との連携で効率的な事務運営を図る。また、地区体育協会への補助金交付や柏崎潮風マラソンの実施により、スポーツ振興や地域交流、経済波及効果の増大を図る。				
取組内容・実績	(一財)柏崎市スポーツ協会、各地区体育協会、マラソン大会等の活動を支援するため、運営費の補助を行った。また、(一財)柏崎市スポーツ協会に市民スポーツ・行事に関する事業を委託したことにより、選手強化、公認スポーツ指導者制度の確立、市民スポーツ・行事の円滑な運営を図ることができた。				
成 果	新規の取組を行いながら、市民スポーツ活動の活性化や生涯スポーツの普及・振興を図ることができた。				
課題・今後の方向性	少子高齢化が加速する中、時代や市民ニーズに合ったスポーツの推進、地域のスポーツ活動を牽引するために、関係団体、関係機関との連携が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-1 スポーツによる地域づくりや生きがいづくりを進める

事務事業名	選手強化事業			決算書 掲載ページ	480
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,000		5,000	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,477		0	0	3,523
目 的	県の強化指定を受ける3競技種目団体（水球・陸上・ハンドボール）に選手強化補助金を交付し、小・中・高のジュニア世代選手の強化を図る。				
取組内容・実績	新潟県の強化指定を受けている3競技（水球、陸上、ハンドボール）団体に対し、地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業補助金を交付し、小・中・高生の選手強化を図った。				
成 果	新潟県の強化指定を受けている3競技（水球、陸上、ハンドボール）へ選手強化補助金を交付したことで、選手強化につながった。水球は、全日本ジュニア（U17）水球競技選手権において、ブルボンウォーターポロクラブ柏崎（女子）が4位となったほか、第11回アジアエージ（ニュークラークシティ2023）にU17女子選手1人が参加し、1位であった。陸上は、令和5年度（2023年度）全国高等学校総合体育大会の女子七種競技に出場した選手が11位であった。				
課題・今後の方向性	今後も県の強化指定を受けている3競技の活動支援、選手強化を継続し、ジュニア世代の競技力の維持・向上を図る必要がある。				

事務事業名	水球のまち柏崎推進事業			決算書 掲載ページ	482
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	水球のまち推進室	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	20,323		20,159	0	164
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	999	19,160
目 的	水球のまち柏崎としての価値を高めるため、各種水球大会の開催や合宿誘致、国際交流の推進を行い、水球によるまちづくりを推進する。				
取組内容・実績	柏崎水球事業実行委員会に負担金を支出し、各種大会の開催・合宿誘致事業、ホストタウン事業、水球を支え育むまちづくり事業を行い、水球によるまちづくりを推進した。また、（一社）ウォーターポロクラブ柏崎に対して社会人水球クラブ強化補助金を交付し、活動を支援することで選手強化につなげた。				
成 果	ホストタウン事業（セルビア共和国、モンテネグロ水球代表チーム合宿）やアジア圏を始めとする海外チームの合宿を受け入れたことで、国内外で水球の聖地としての知名度が向上し、国際交流にもつながった。また、参加型イベント「海で水球」を開催したことで、スポーツによる交流人口の拡大につながった。				
課題・今後の方向性	今後、アジア圏の水球チームのつながりを更に強めていく必要がある。「水球のまち柏崎」の世界的な知名度の向上を図り、併せて水球を通じた国際交流を推進していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

事務事業名	体育施設管理運営経費			決算書 掲載ページ	482
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	409,248		388,486	0	20,762
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	108,835		0	13	279,638
目 的	指定管理者が管理している16体育施設と直営2施設からなる柏崎市の全体育施設を、安全かつ快適に利用していただくための維持管理・運営を行う。				
取組内容・実績	体育施設の指定管理に関する基本協定に基づく業務を指定管理者が適切に行った。 また、西山総合体育館の非常用照明や武道館のトイレ修繕を行い、施設の維持管理に努めた。18施設の年間利用者数は510,080人であった。				
成 果	利用者が安全・安心に施設を利用できるように運営管理を行った。西山総合体育館は非常用照明、武道館はトイレの修繕を行い、施設を適切に管理できた。				
課題・今後の方向性	少子高齢化に伴い、時代のニーズに合致した施設利用や運営の工夫が必要である。 また、古い公共施設の計画的な改修や施設の統廃合等も検討が必要である。				

事務事業名	陸上競技場整備事業			決算書 掲載ページ	484
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	71,500		2,800	68,700	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,800
目 的	陸上競技場を適切に維持管理するため、スタンドの耐震改修工事を行う。				
取組内容・実績	陸上競技場を適切に維持管理するため、スタンドの耐震改修を実施した。工期の延長に伴い、令和6年度(2024年度)へ繰り越した。				
成 果	当初想定していた以上に老朽化していたため、工期を大幅に延長し、令和6年度(2024年度)へ繰り越した。				
課題・今後の方向性	適切な維持管理を行うため、耐震改修工事を引き続き実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	県立柏崎アクアパーク整備事業			決算書 掲載ページ	484
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,000		10,948	0	52
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	10,948
目 的	新潟県立柏崎アクアパークを適切に維持管理するため、施設改修等を行う。				
取組内容・実績	老朽化により落下する恐れがある50mプールの軒天の改修工事を実施した。				
成 果	改修工事を実施したことにより、適切な維持管理が図られ、施設の安全性の確保や利用者の利便性の向上につながった。				
課題・今後の方向性	引き続き、安全、快適な施設を利用者に提供するため、適切な維持管理を行う必要がある。				

事務事業名	給食業務運営経費			決算書 掲載ページ	484
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	教育総務課	
目	04	学校給食運営費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	308,088		301,289	0	6,799
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	261,000		0	22	40,267
目 的	共同調理場の維持管理運営に必要な業務を専門業者に委託し、安全・安心な学校給食を提供する。衛生検査及び設備の入替え等を行い、衛生事故や異物混入を未然に防止する。				
取組内容・実績	共同調理場の維持管理運営に必要な業務を専門業者に委託し、安全・安心な学校給食を提供した。衛生検査及び設備の入替え等を行い、衛生事故や異物混入を未然に防止した。				
成 果	共同調理場の維持管理運営に必要な業務を専門業者に委託することにより、安全・安心な学校給食が提供できた。				
課題・今後の方向性	今後も共同調理場の維持管理運営に必要な業務を専門業者に委託し、児童生徒に安全・安心な学校給食が提供できるようにする必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	給食施設整備事業			決算書 掲載ページ	486
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	教育総務課	
目	04	学校給食運営費	現年度・繰越の別	現年度予算 繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	887,000		826,457	0	60,543
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	82,500		459,600	0	284,357
目 的	共同調理場施設での衛生事故を未然に防ぐために、学校給食衛生管理基準（文部科学省）及び大量調理マニュアル（厚生労働省）に沿った整備を行う。あわせて、調理場施設内の労働環境を改善することで、従業員の安全を確保する。				
取組内容・実績	共同調理場施設での衛生事故を未然に防ぐために、学校給食衛生管理基準（文部科学省）及び大量調理マニュアル（厚生労働省）に沿った整備を行った。調理場施設内の労働環境を改善することで、従業員の安全を確保した。				
成 果	学校給食衛生管理基準（文部科学省）及び大量調理マニュアル（厚生労働省）に沿った整備を行い、共同調理場施設での衛生事故や労働災害を未然に防いだ。				
課題・今後の方向性	今後も、学校給食衛生管理基準（文部科学省）及び大量調理マニュアル（厚生労働省）に沿った整備を行い、共同調理場施設での衛生事故や労働災害を未然に防ぐ必要がある。				

事務事業名	学校給食費			決算書 掲載ページ	486
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	教育総務課	
目	04	学校給食運営費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	405,008		376,997	0	28,011
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	16,303		0	347,840	12,854
目 的	学校給食費の徴収を市が行うことにより、学校教職員の給食費徴収業務の負担をなくし、安定した事業の継続を図る。口座振替可能な金融機関が増えることや、口座振替手数料を市が負担することで、保護者の負担を軽減する。				
取組内容・実績	学校給食費の徴収を市が行うことで学校教職員の給食費徴収業務の負担をなくし、安定した事業の継続を図った。口座振替可能な金融機関が増え利便性が増し、また、口座振替手数料を市が負担することで、保護者の負担が軽減した。				
成 果	学校給食費の徴収を市が行うことで学校教職員の給食費徴収業務の負担をなくし、また、安定した事業の継続を図れた。口座振替可能な金融機関が増え利便性が増し、また、口座振替手数料を市が負担することで、保護者の負担が軽減された。				
課題・今後の方向性	今後も学校給食費の徴収を市が行うことで学校教職員の給食費徴収業務の負担をなくし、安定した事業の継続を図る。学校給食費の口座振替手数料を市が負担することで、保護者の負担軽減を図る必要がある。				

【国民健康保険事業特別会計事業勘定】

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

事務事業名	特定健康診査等実施事業			決算書 掲載ページ	525
款	04	保健事業費	会 計	国民健康保険事業 特別会計 事業勘定	
項	01	保健事業費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生普及費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	71,415		58,944	0	12,471
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	28,562		0	30,382	0
目 的	柏崎市国民健康保険被保険者を対象に、特定健診と特定保健指導を行うことで、メタボリックシンドロームを始めとする生活習慣病予防を図る。 また、健診の結果から必要な方に糖負荷試験を行い、糖尿病の早期発見・予防を図る。				
取組内容・実績	国民健康保険加入者の40歳から74歳までを対象に、集団健診56回と医療機関での個別健診を実施し、5,757人が受診した。特定保健指導は、積極的支援対象者72人、動機付け支援対象者286人に初回面接を実施した。健診の結果から糖負荷試験を受けた人は125人であった。				
成 果	受診者の健康管理及び生活習慣の改善、健康増進と医療費抑制に役立てることができた。				
課題・今後の方向性	特定健診受診率や特定保健指導実施率の向上に向けて、効果的な普及啓発を図る必要がある。				

【介護保険特別会計】

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護保険事業計画策定業務費			決算書 掲載ページ	592
款	01	総務費	会 計	介護保険特別会計	
項	05	運営協議会等費	担 当	介護高齢課	
目	01	運営協議会等費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,288		4,146	0	142
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	4,146	0
目 的	老人福祉法及び介護保険法に基づき、高齢者福祉及び介護保険に係る事業の施策とその目標を示す高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定する。				
取組内容・実績	各種調査の実施や分析により、介護の実態や施策ニーズを把握し、柏崎市地域包括ケア計画（高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画・認知症施策推進計画）を策定した。				
成 果	介護事業者等意見交換会や若手職員ワークショップを開催し、事業者の抱える課題や意向、若手職員の意見等を適切に捉え、柏崎市地域包括ケア計画に反映した。				
課題・今後の方向性	計画策定時には、計画策定支援の専門業者の協力を得て、各種調査の実施や介護事業者との連携を図り、介護の未来を見据えた精度の高い計画策定を行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	訪問型サービス事業			決算書 掲載ページ	602
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	01	介護予防・生活支援サービス事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	介護予防・生活支援サービス事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	37,304		31,278	0	6,026
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	17,379		0	13,899	0
目 的	要支援認定を受けられた方等に対して、訪問型の介護予防サービスを行う。				
取組内容・実績	年間延べ2, 118件の利用があり、従前相当サービスの実人数68人、サービスAの実人数185人に対して支援を実施した。くわえて、市内2団体によるサービス提供を支援した。				
成 果	対象者の心身状態及び生活環境による多様なニーズに即したサービスを提供することができた。				
課題・今後の方向性	NPOや住民等が主体となったサービスの創出を推進していく必要がある。				

事務事業名	通所型サービス事業			決算書 掲載ページ	602
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	01	介護予防・生活支援サービス事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	介護予防・生活支援サービス事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	93,697		87,932	0	5,765
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	47,308		0	40,624	0
目 的	要支援認定を受けられた方等に対して、通所型の介護予防サービスを行う。				
取組内容・実績	年間延べ4, 512件の利用があり、従前相当サービスの実人数57人、サービスAの実人数459人に対して支援を実施した。				
成 果	対象者の心身状態及び生活環境による多様なニーズに即したサービスを提供することができた。				
課題・今後の方向性	NPOや住民等が主体となったサービスの創出を目指す。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護予防教室事業			決算書 掲載ページ	604
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,582		13,532	0	2,050
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,628		0	7,904	0
目 的	要支援・要介護状態になることを防ぐために、体力や筋力を向上させ、活発で自立した生活を送ることを目指す。				
取組内容・実績	パワーリハビリを3会場にて計753回実施し、実人数525人、延べ23,276人の利用があった。 また、西山いきいき教室を48回実施し、実人数19人、延べ531人の利用があった。				
成 果	運動プログラムの実施により、高齢者の加齢に伴う運動機能の低下を防ぐことができた。				
課題・今後の方向性	コツコツ貯筋体操センターのパワーリハビリ会場において、コツコツ貯筋体操との連携を強化し、更なる介護予防事業の推進を図る。				

事務事業名	コツコツ貯筋体操センター事業			決算書 掲載ページ	604
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	22,699		20,465	0	2,234
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,288		0	10,177	0
目 的	高齢者等がコツコツ貯筋体操を始めとする介護予防活動を通じて、活発でいきいきとした生活を送ることを支援し、要介護状態になることや、要介護状態が悪化することを予防する。				
取組内容・実績	コツコツ貯筋体操を中心に実施し、実人数253人、延べ11,072人の利用があった。 また、土曜日に試行開催し、27人が利用した。				
成 果	コツコツ貯筋センターの利用をきっかけに、新規にコツコツ貯筋体操を開始した人は48人で、体操人口の増加につながった。				
課題・今後の方向性	健康講座等、体操以外のメニューの充実や、土曜日の開催等を検討し、新規利用者の増加を目指す。コツコツ貯筋体操センターとパワーリハビリとの連携を図り、更に市民が気軽に体操にアクセスできる環境の整備を進める。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	地域活動支援事業			決算書 掲載ページ	604
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,449		4,523	0	1,926
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,735		0	2,788	0
目 的	コツコツ貯筋体操等を通じて、体を動かすことの楽しさを実感し、足腰の筋力及び体力を向上することにより、転倒しにくい体づくり、自立した生活を送ることを目指す。また、参加者同士が主体的に取り組む体操の場づくりと健康な地域づくりを目指す。				
取組内容・実績	令和6年（2024年）3月末でコツコツ貯筋体操は184会場で実施しており、実人数2,773人、延べ97,763人が参加した。体操普及の担い手である高齢者運動サポーターには276人が登録し、そのうち212人が年間10,089回活動した。また、コツコツ貯筋体操まつりを開催し、550人が参加した。				
成 果	コツコツ貯筋体操を実施する会場が新たに3会場立ち上がり、延べ参加人数が増加した。コツコツ貯筋体操まつりを開催し、多くの方に体操を周知できた。また、市の理学療法士や看護師が会場訪問等を実施し、市民が主体的に取り組む体操の場を支援するとともに、体操を通じて支え合う地域づくりに寄与した。				
課題・今後の方向性	今後も会場支援を継続するとともに、新規の会場や参加者の模索、高齢者運動サポーターの育成に取り組む。				

事務事業名	くらしのサポートセンター事業			決算書 掲載ページ	606
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	76,802		75,499	0	1,303
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	37,244		0	38,255	0
目 的	高齢者が住み慣れた地域や家庭で暮らし続けていけるよう、地域住民が主体となり介護予防のための活動を行う。また、住民ボランティア等を育成し、地域での支え合い体制を構築する。				
取組内容・実績	市内23地区に対して、くらしのサポートセンターを運営するための補助金を支出し、実人数879人、延べ24,889人が利用した。また、11地区ではボランティアによる助け合い活動等を実施した。				
成 果	交流や体操等を行う通いの場の支援により、閉じこもりや要介護状態の悪化を防ぐことができた。また、共に支え合う地域づくりへの意識が高まった。				
課題・今後の方向性	くらしのサポートセンター事業の実施地区について、引き続き活動支援を行っていく。また、未実施地区においては、機会を捉えて事業実施の働きかけを行っていく。さらに、地区の中でくらしのサポートセンターが担う役割と、地区に合った居場所づくりや支え合い活動の形を引き続き検討していく。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	包括的支援事業			決算書 掲載ページ	606
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	包括的支援事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	143,890		143,530	0	360
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	82,877		0	60,653	0
目 的	地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するため、包括的支援事業を地域において一体的に実施する役割を担う中核機関として、地域包括支援センターを設置する。				
取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談件数 延べ4,814件 ・権利擁護事業 延べ535件 ・高齢者虐待への対応 延べ241件 ・介護支援専門員への支援 延べ1,083件 				
成 果	高齢者やその家族の相談への対応、高齢者の権利を守るための取組、地域の専門職への支援及びネットワーク構築を行うことにより、地域住民の保健医療の向上と福祉の増進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	高齢者、その家族等の相談内容が多様化、複雑化している。医療、介護及び地域の関係者と連携し、今後も継続して支援を行う。				

事務事業名	成年後見制度利用支援事業			決算書 掲載ページ	608
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	02	任意事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,289		3,094	0	2,195
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,787		0	1,307	0
目 的	認知症等により、判断力が十分でない高齢者が、成年後見制度を利用することについて支援を行い、高齢者の権利を保護する。				
取組内容・実績	成年後見人等へ支払う報酬に係る費用に対する助成を16件行った。また、成年後見制度の活用支援をした(延べ55件、実人数24人)。				
成 果	成年後見制度の活用支援により、判断力が不十分な方の財産と権利保護に寄与した。				
課題・今後の方向性	成年後見制度は、今後も利用者の増加が見込まれる。権利擁護センターと連携し、成年後見制度が必要な方に対して適切な後見人等が選任されるよう支援を行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	生活支援体制整備事業			決算書 掲載ページ	608
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	04	生活支援体制整備事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,485		14,968	0	517
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	8,644		0	6,324	0
目 的	協議体（関係機関の連携会議）やくらしのサポートセンターえきまをを設置し、生活圏域を担当する生活支援コーディネーターを配置することにより、生活支援サービスの充実や地域の支え合いの体制づくりを推進する。				
取組内容・実績	くらしのサポートセンターえきまにおいて、延べ4,762人が介護予防や支え合いの活動に取り組んだ。 また、生活支援コーディネーターが支え合い体制推進のために2,303回地域で活動した。				
成 果	生活支援サービスの充実及び地域における支え合い活動の推進により、地域の見守り支援体制の強化や担い手となる高齢者の生きがいの創出を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も生活支援サービスの充実や地域で支え合う体制づくりを推進していく。				

事務事業名	認知症初期集中支援推進事業			決算書 掲載ページ	610
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	05	認知症総合支援事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,165		3,895	0	270
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,246		0	1,649	0
目 的	認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症の人やその家族に対し、関わりの初期段階で集中的な支援を行うための体制を構築する。				
取組内容・実績	認知症初期集中支援チームが11件の相談に対応し、チーム員（看護師及び作業療法士）による初回訪問を4回、継続訪問を24回実施した。				
成 果	チーム員による集中的な支援により、適切な医療受診、介護保険サービスにつながり、支援者の連携が図られ、当事者、家族の負担が軽減された。				
課題・今後の方向性	対象者が適切な医療受診及び介護サービスにつながり、家族の負担が軽減されるように、地域包括支援センターの職員及び介護支援専門員に事業の周知を行い、事業の活用を進めていく。				